琉球大学法文学部規程

(1972年3月31日制定)

(趣旨)

- 第1条 この規程は、琉球大学学則(1972年3月27日制定。以下「学則」という。)に定めるもののほか、琉球大学法文学部(以下「本学部」という。)の授業科目、単位、履修方法その他必要な事項を定める。
- (教育内容等の改善のための組織的な研修等)
- 第1条の2 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。 (学科及び昼夜開講制)
- 第2条 本学部に、総合社会システム学科、人間科学科及び国際言語文化学科を置く。
- 2 各学科に、主として昼間において授業を行うコース(以下「昼間主コース」という。)と総合社会システム学科及び国際言語文化学科に主として夜間において授業を行うコース(以下「夜間主コース」という。)を置く。 (教育研究上の目的)
- 第2条の2 各学科の人材育成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

| 学科 | 教 育 研 究 上 の 目 的 |
|----------|--|
| 総合社会システム | 社会科学の幅広い知識を持ち、現代社会の諸問題を総合的かつ多角的に分析できる人材や、問題の発見及びその解決の能力を有し、情報処理能力及び実践的言語能力を備えた国際性豊かな人材の育成。それを支える法律、経済、政治・国際関係の各分野の基礎的及び応用的研究。 |
| 人 間 科 学 | 人間の本質や行動を理解するという共通の目標に向かって、認知・行動科学の立場から、 さらに文化や歴史や地域を学ぶ立場からさまざまなアプローチを加えることによって、 人間と社会と文化との関係を複眼的にとらえることができる人材の育成。それを支える 人間行動、社会学、地理歴史人類学の各分野の基礎的及び応用的研究。 |
| 国際言語文化 | 琉球・アジアおよび英米をはじめとする英語圏・ヨーロッパなどの言語・文学・文化・社会・歴史を深く理解し、異文化理解に不可欠な幅広い知識とコミュニケーション能力を身につけ、かつ各研究分野の専門知識を備えた、社会で幅広く活躍できる人材の育成を図る。 |

(講座)

第3条 本学部の学科に、次の講座を置く。

| 学科 | i.i. | 座 |
|----------|-----------------------------|---|
| 総合社会システム | 法学、数量経済分析、比較経済分析、政策科学、国際関係論 | |
| 人 間 科 学 | 人間行動、社会学、地域科学 | |
| 国際言語文化 | 琉球アジア文化、英語文化、ヨーロッパ文化 | |

(専攻課程)

第4条 各学科に、教育上の組織として、次の専攻課程を置く。

| 学科 | | 専 | | | | 攻 | | 課 | | | 程 | | |
|--------|-----|------|-----|------|------|--------------|-------|------|---|---|---|---|---|
| 子 | 什 | 昼 | 間 | 主 | コ | _ | ス | 夜 | 間 | 主 | コ | Ţ | ス |
| 総合社会シス | ステム | 法学、経 | 済学、 | 政治 | • 国際 | 関係 | | 経済学 | | | | | |
| 人 間 科 | - 学 | 人間行動 | 、社会 | 学、比 | 也理歷 | 史人類 | 学 | | | | | | |
| 国際言語 | 文化 | 琉球アジ | ア文化 | ź、英語 | 吾文化 | , <u>a</u> – | ロッパ文化 | 英語文化 | í | | | | |

2 各専攻課程には、次の講座の教官が配置されるものとする。

| 専 | 攻 | 課 | 程 | 講 | 座 |
|---|-------------|-----|-------|---------------|---|
| 法 | | | 学 | 法学 | |
| 経 | : | 斉 | 学 | 数量経済分析、比較経済分析 | |
| 政 | 治· | 国際 | 関係 | 政策科学、国際関係論 | |
| 人 | 間 | 行 | 動 | 人間行動 | |
| 社 | | 会 | 学 | 社会学 | |
| 地 | 理 歴 | 史 人 | . 類 学 | 地域科学 | |
| 琉 | 球ア | ジア | 文化 | 琉球アジア文化 | |
| 英 | 語 | 文 | 化 | 英語文化 | |
| 3 | <u></u> – п | ッパ | 文化 | ヨーロッパ文化 | |

- 3 学生は、入学後所属する学科のいずれかの専攻課程に属するものとする。 (履修コース)
- 第5条 各学科に、履修上の区分として、次の履修コースを置く。

| 学科 | | 昼 | 間 | 主 | コ | <u> </u> | ス | | 夜 | 間 | 主 = | . — | ス |
|------------|---|---|-------------------|-------|------|-------------------------|-------|-----|---|---|-----|----------|---|
| 子科 | | 履 | 修 | コ | | <u> </u> | ス | | 履 | 修 | コ | <u> </u> | ス |
| 総合社会システム | 専 | 修 | 法律 経済学 政治・国 | 国際関係 | | | | | 専 | 修 | 経済生 | 学 | |
| 人間科学 | 専 | 修 | 臨床心理 | 里学、社会 | 学、社 | 牟、社会心 会福祉学、 歴史学、人 | 地域福祉 | :学、 | | | | | |
| | 総 | 合 | 人間行動 | 功論、生活 | 5福祉部 | À | | | | | | | |
| 国際言語 文化 | 専 | 修 | 日本文学 | | (学、5 | ¬琉関係史 流球語学、 総合 | | | | | 英語 | 文化 | |
| | | | 英語文化 | と、日本・ | 国際事 | 事情 | | | | | | | |
| | | | ドイツ言 言語文化 | | フラン | /ス言語文 | 化、スペノ | イン | | | | | |
| | 総 | 合 | 総合 | | | | | | | | | | |

- 2 各専攻課程に所属する学生が履修できるコースは、次のとおりとする。
 - (1) 昼間主コース

| 専 攻 課 程 | 履修コース |
|---------|---|
| 法 学 | 法律 |
| 経 済 学 | 経済学 |
| 政治・国際関係 | 政治・国際関係 |
| 人 間 行 動 | 哲学・倫理、教育社会学、社会心理学、臨床心理学、人間行動論 |
| 社 会 学 | 社会学、社会福祉学、マスコミ学、生活福祉論 |
| 地理歷史人類学 | 地理学、歴史学、人類学 |
| 琉球アジア文化 | 琉球史、琉球民俗学、中琉関係史、琉球文学、日本文学、中国文学、琉球語学、 日本語学、中国語学、朝鮮文学、総合 |
| 英 語 文 化 | 英語文化、日本・国際事情 |
| ヨーロッパ文化 | ドイツ言語文化、フランス言語文化、スペイン言語文化 |

(2) 夜間主コース

| 専 | 攻 | 課 | 程 | 履 | 修 | コ | <u> </u> | ス |
|---|---|---|---|------|---|---|----------|---|
| 経 | ð | 脊 | 学 | 経済学 | | | | |
| 英 | 語 | 文 | 化 | 英語文化 | | | | |

(昼夜間主コース等の変更)

第6条 昼夜間主コースの変更については、琉球大学転学部、転学科、転課程に関する規定(1972年3月27日 制定)を準用する。

(専攻課程の決定及び変更)

第7条 学生の専攻課程の決定及び変更については、別に定める。

(授業科目の区分、履修方法等)

- 第8条 専門教育の授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分ける。
- 2 各学科の授業科目の種類及び履修方法は、別表のとおりとする。

(授業科目の公示)

第9条 各学期に開講する授業科目、授業時間、単位数及び担当教官は、学期の始めに公示する。ただし、臨時に 開講する授業科目については、この限りでない。

(単位の計算方法)

- 第10条 専門教育の授業科目の単位の計算方法は、次のとおりとする。
 - (1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、演習については、教育上必要があると認める場合には、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験及び実習については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育上必要があると認める場合には、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 一つの授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち二以上の方法の併用により行う場合において、講義及び演習については係数 3 (ただし、演習については、教育上必要とあると認める場合には係数 1.5)、実験及び実習については係数 1 (ただし、教育上必要とあると認める場合には係数 1.5)に対し、それぞれの授業時間を乗じて得た数値の和が 45 時間の授業を持って 1 単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位 を授与することが適当と認める場合には、これらに必要な学修を考慮して、単位数を定めるものとする。
- 3 前2項に基づく各授業科目の単位数及び週時間については、別表のとおりとする。

(卒業の要件)

第11条 卒業するには、本学に4年以上在学し、次に示す単位を修得しなければならない。

| 学 科 | 昼間主 夜間主 | 履修 コース | 共通教育 | 専 | 門 教 | 育 | 計 |
|----------|------------|---|--------|--------|--------|--------|----------|
| 子 | 校削土 の別 | 履 修 コ ー ス | 共进教育 | 必修科目 | 選択科目 | 自由科目 | iT |
| 総合社会システム | 昼間主 | 法律 | 40単位 | 16単位 | 4 6 単位 | 2 2 単位 | 1 2 4 単位 |
| | | 経済学 | 40単位 | 28単位 | 3 0 単位 | 26単位 | 1 2 4 単位 |
| | | 政治・国際関係 | 40単位 | 2 0 単位 | 4 2 単位 | 2 2 単位 | 1 2 4 単位 |
| | 夜間主 | 経済学 | 40単位 | 28単位 | 3 0 単位 | 2 6 単位 | 1 2 4 単位 |
| 人間科学 | 昼間主 | 哲学・倫理、教育社会学、 社会心理学、臨床心理学 | 40単位 | 18単位 | 3 6 単位 | 3 0 単位 | 1 2 4 単位 |
| | | 社会学、社会福祉学、地域福祉学、マスコミ学、人間行動 論、生活福祉論 | 40単位 | 18単位 | 3 4 単位 | 3 2 単位 | 1 2 4 単位 |
| | | 地理学、歴史学、人類学 | 3 2 単位 | 2 3 単位 | 3 0 単位 | 3 9 単位 | 1 2 4 単位 |
| 国際言語 文化 | 昼間主 | 琉球史、琉球民俗学、中琉関 係史、琉球文学、日本文学、 中国文学、琉球語学、日本語 学、中国語学、朝鮮文学、総 合 | 40単位 | 1 4 単位 | 40単位 | 30単位 | 1 2 4 単位 |
| | | 英語文化 | 40単位 | 4 7 単位 | 1 1 単位 | 2 6 単位 | 1 2 4 単位 |
| | | 日本・国際事情 | 40単位 | 2 0 単位 | 3 4 単位 | 3 0 単位 | 1 2 4 単位 |
| | | ドイツ言語文化、フランス言 語文化、スペイン言語文化 | 40単位 | 2 4 単位 | 3 4 単位 | 26単位 | 124単位 |
| | 夜間主 | 英語文化 | 40単位 | 4 7 単位 | 1 1 単位 | 2 6 単位 | 1 2 4 単位 |

2 学則第29条の2の規定に基づく第3年次特別編入学者の卒業の要件は、前項の就業年限にかかわらず、本学に2年以上在学し、前項の表に掲げる単位数(第3年次特別編入学以前に在学していた大学、短期大学及び高等専門学校等で修得した単位のうち、本学の卒業要件に係る単位数のうちの一部として換算する単位(以下「換算単位」という。)を含む。)を修得しなければならない。この場合における換算単位については、教授会において判定する。

(卒業の判定)

第12条 卒業資格の判定は、教授会が行う。

(教員免許)

第13条 本学部学生で、教育職員免許法(昭和24年5月31日法律第147号)に基づく教員の免許状を取得しようと する者は、教科に関する科目及び教職に関する科目について、所要の単位を修得しなければならない。

(転学)

第14条 本学部の学生で、他大学へ転学を希望する者があるときは、指導教官及び学部長を経て学長の許可を得な ければならない。

(編入学)

- 第15条 編入学については、琉球大学編入学規程(1972年3月27日制定)の定めるところによる。 (転入学)
- 第16条 転入学については、琉球大学転入学規程(1972年3月27日制定)の定めるところによる。 (再入学)
- 第17条 再入学については、琉球大学再入学規程(1972年3月27日制定)の定めるところによる。 (転学部、転学科等)
- 第I8条 転学部及び転学科については、琉球大学転学部、転学科、転課程に関する規程(1972年3月27日制定)の 定めるところによる。

(研究生)

第19条 研究生については、琉球大学研究生規程(昭和56年11月28日制定)の定めるところによる。 (科目等履修生)

- 第20条 科目等履修生については、琉球大学科目等履修生規程(平成5年10月12日制定)の定めるところによる。 (外国人学生)
- 第21条 外国人学生については、琉球大学外国人学生規程(昭和53年12月2日制定)の定めるところによる。 (留学等及び特別聴講学生)
- 第22条 留学等及び特別聴講学生については、琉球大学留学等及び特別聴講学生に関する規程(昭和48年3月23日制定)の定めるところによる。

(指導教員)

第23条 学生の勉学その他の相談に応ずるため、各学科の年次ごとに指導教員を置く。

附 則(略)

附 則(平成9年1月22日)

- 1 この規程は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成9年3月31日に法文学部の法政学科、経済学科及び人文学科に在学していた者については、従前の例による。
- 3 法文学部の法政学科、経済学科及び人文学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成9年3月31日に法文学部の当該学科に在学するものが在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 4 第2項の規定にかかわらず、必要と認める場合には、在学者に平成9年度以降の入学者のために開設される授業科目を履修させることができる。この場合の授業科目の読み替え、単位、その他履修方法等については、別に定める。

附 則(平成16年4月1日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成16年3月31日に法文学部の総合社会システム学科法学専攻課程(夜間主コース)に在学していた者については、なお従前の例による。
- 3 法文学部の総合社会システム学科法学専攻課程(夜間主コース)は、改正後の第4条の規定にかかわらず、平成16年3月31日に当該専攻課程に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 4 この規程の施行以前に在学する学生に係る卒業に必要な取得単位数に関しては、なお従前のとおりとする。

附 則(平成17年4月1日)

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成18年4月1日)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年4月1日)

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に法文学部の総合社会システム学科に在学していた者については、なお従前の例による。

附 則(平成20年4月1日)

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

(法文学部総合社会システム学科経営学専攻の経過措置)

2 法文学部総合社会システム学科経営学専攻は、改正後の第4条の規程にかかわらず、平成20年3月31日に 法文学部総合社会システム学科経営学専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものと する。

(法文学部産業経営学科の経過措置)

3 法文学部産業経営学科は、改正後の第2条の規程にかかわらす、平成20年3月31日に法文学部産業経営学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則(平成20年4月1日)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年2月5日)

この規程は、平成22年2月5日から施行する。

(1) 授業科目表 法文学部共通授業科目表

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|--------|--------------------|-----|----------------|------------|------|--|
| 法共 101 | 教職実践演習 | 2 | (2-0) | 4 | 後 | 教職科目や社会・公民・福祉科の教科指導に関する既習内容の省察、現地調査、模擬授業、事例研究等 |
| 法共 102 | n | 2 | (2-0) | 4 | 後 | 教職科目や社会・公民・商業科の教科指導に関する既習内容の省察、現地調査、模擬授業、事例研究等 |
| 法共 103 | II | 2 | (2-0) | 4 | 後 | 教職科目や地歴科の教科指導に関する既習内容の 省察、現地調査、模擬授業、事例研究等 |
| 法共 104 | II | 2 | (2-0) | 4 | 後 | 教職科目や国語科の教科指導に関する既習内容の 省察、現地調査、模擬授業、事例研究等 |
| 法共 105 | II . | 2 | (2-0) | 4 | 後 | 教職科目や英語科の教科指導に関する既習内容の 省察、現地調査、模擬授業、事例研究等 |
| 法共 201 | 国語科教育法B | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 中・高校の国語科教育の具体的課題についての 考究 |
| 法共 202 | 国語科教育法C | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | n |
| 法共 203 | 社会科教育法A | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会科教育の目標、内容、方法等に関する指導 |
| 法共 204 | 社会科教育法B (地理歴史系) | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会科教育(地理歴史系)の目標、内容、方法等 に関する指導 |
| 法共 205 | 社会科教育法C (公民系) | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会科教育(公民系)の目標、内容、方法等に関 する指導 |
| 法共 206 | 英語科教育法B | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 指導計画、指導案作成、模擬授業、授業研究 |
| 法共 207 | 英語科教育法C | 2 | (2 - 0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | n . |
| 法共 208 | 福祉科教育法A | 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | 福祉科教育の目標、内容、方法等に関する指導 |
| 法共 209 | 福祉科教育法B | 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | 福祉科教育に関する具体的指導計画・指導案作成、模擬授業、授業研究 |
| 法共 301 | キャリア演習 I | 2 | (0-2) | 2 | 前又は後 | 今後のキャリアデザインを見据え、自ら就職活動 をスタートさせることができるようになることを 目的とする。 |
| 法共 302 | キャリア演習Ⅱ | 2 | (0-2) | 3 | 前又は後 | 本格的な就職活動に向け、具体的な活動をスタートさせることができるようになることを目的とする。 |

注1: 教員免許取得希望者は、総合演習についてはそれぞれ所属する専攻の提供する科目を修得すること。注2: 福祉科教育法 $\mathbf{A} \cdot \mathbf{B}$ は社会福祉援助技術現場実習 $\mathbf{I} \cdot \mathbf{II}$ を履修するもののみ履修可能である。

学科共同提供

| 科目番号 | 授業 | 科 | 1 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 | 業 | 内 | 容 |
|--------|---------|---|---|-----|----------------|------------|------|---------|------|-------|-----|
| 総社 007 | 日本史概論 I | | | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 日本史の基本的 | 的事項に | 関して概括 | する。 |
| 総社 008 | 日本史概論Ⅱ | | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | | ı | I | |
| 総社 009 | 東洋史概論I | | | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 東洋史についる | ての基礎 | 知識を養う | 0 |
| 総社 010 | 東洋史概論Ⅱ | | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | | ı | I | |
| 総社 011 | 西洋史概論 I | | | 2 | (2 - 0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 古代から中世 | までの西 | 洋史を概観 | する。 |
| 総社 012 | 西洋史概論Ⅱ | | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 近現代の西洋リ | 史を概観 | する。 | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

法学講座

| 辞目番号 授業 科 目 単位数 週時間 受講年於 字 期 授業 内 容 接換 習 I 日本 | 10-1 1111/22 | | | | | | | | | |
|--|---|--------------------------------------|-----|--------------------|------------|------|---------|-------|------|-----------|
| 法学 102 基礎演習 I | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 | 業 | 内 | 容 |
| 法学 102 基礎演習 II 2 | 法学 101 | 基礎演習 I | 2 | (0-2) | 1 | 前又は後 | | を学ぶた | めの基礎 | 的技能を身につ |
| 法学 103 法学基礎演習 I 2 | 法学 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | (0 - 2) | 1 | 前又は後 | 大学で社会科学 | を学ぶた | めの基礎 | 的知識を身につ |
| 法学 104 法学基礎演習 I | 法学 103 | 法学基礎演習 I | 2 | (0-2) | 2 | 前 | 法律学を専門的 | に学ぶた | めの基礎 | 的技能を身につ |
| 法学 110 法学演習 I A 2 | 法学 104 | 法学基礎演習Ⅱ | 2 | (0-2) | 2 | 後 | 法律学を専門的 | に学ぶた | めの基礎 | 的知識を身につ |
| 法学 111 法学演習 I B | 法学 110 | 法学演習 I A | 2 | (0-2) | 3 | 前又は後 | 法学の個別分野 | の特定問題 | 題につい | て研究・討論・ |
| 法学 112 法学演習 II A | 法学 111 | 法学演習 I B | 2 | (0-2) | 3 | 前又は後 | 法学の個別分野 | の特定問題 | 題につい | て研究・討論・ |
| 法学 201 法学概論 (教職) | 法学 112 | 法学演習Ⅱ A | 2 | (0-2) | 4 | 前又は後 | 法学の個別分野 | の特定問題 | 題につい | て研究・討論・ |
| 法学 201 法学概論(教職) | 法学 113 | 法学演習ⅡB | 2 | (0-2) | 4 | 前又は後 | 法学の個別分野 | の特定問題 | 題につい | て研究・討論・ |
| 法学 220 倒産処理法 2 (2-0) 3~4 前又は後 する。 被産手続を中心に倒産処理手続全般について講義する。 法学 240 家族法 2 (2-0) 2~4 前又は後 家族関係に関する法律の諸問題について講義する。 家族関係に関する法律の諸問題について講義する。 家族関係に関する法律の諸問題について講義する。 家族関係に関する法律の諸問題について講義する。 家族関係に関する法律の諸問題について講義する。 家族関係に関する法律の講読・解説 と (2-0) 2~4 前又は後 英語による法律文献の講読・解説 と (2-0) 2~4 前又は後 大ツ語、フランス語等による法律文献の講読・解説 と (2-0) 2~4 前又は後 大津学の中の特定の分野について講義する。 法学 261 法学 特殊講義 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 563 法学 543 は 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 566 法学 543 法学 544 は 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 266 法学 543 法学 544 は 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学 548 法学 548 法学 548 法学 548 まや 548 まか 548 まか 548 まや 548 まか 54 | | | | | | | 法学の基礎知識 | | | |
| 法学 230 刑事政策 2 (2-0) 3~4 前又は後 次 | | | | (, | | | する。 | | | |
| 法学 240 家族法 2 (2-0) 2~4 前又は後 家族関係に関する法律の諸問題について講義する。 法学 251 外国書講読Ⅱ 2 (2-0) 2~4 前又は後 英語による法律文献の講読・解説 2 (2-0) 2~4 前又は後 大学 261 法学 262 法学 454 表学 263 法学 454 表学 263 法学 454 表述 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 263 法学 454 表述 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 265 法学 454 表述 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 265 法学 454 表述 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 266 法学 454 表述 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学 454 法学 454 表述 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学 454 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学 454 法律学の中の特定の分野について講義する。 法律学 268 法学 454 表述 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学 454 表述 454 | ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | | | (, | | | する。 | | | |
| 法学 251 外国書講読 I 2 (2-0) 2 ~ 4 前又は後 英語による法律文献の講読・解説 2 (2-0) 2 ~ 4 前又は後 大字 254 大字 261 法字 54 大字 262 法字 54 大字 263 法字 54 大字 264 法字 264 法字 265 法字 54 大字 265 法字 54 大字 266 法字 54 大字 266 法字 54 大字 267 大字 267 大字 267 大字 268 大字 2 | | | | . – - , | _ | | 家族関係に関す | | | |
| 法学 253 外国書講読Ⅲ 2 (2-0) 2~4 前又は後 英語による法律文献の講読・解説 ドイツ語、フランス語等による法律文献の講読・解説 法学 261 法学特殊講義 I 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 262 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 263 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 264 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 265 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 265 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 266 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | | | (- 0 / | | | 英語による法律 | | | |
| 法学 254 外国書講読IV 2 (2-0) 2~4 前又は後 ドイツ語、フランス語等による法律文献の講読・解説 接学 261 法学特殊講義 I 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 262 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 263 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 264 法学特殊講義 IV 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 265 法学特殊講義 VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 266 法学特殊講義 VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法律学の中の特定の分野について講義する。 2 (2-0) 2~4 前又は後 3 (2-0) 2~4 1 (2-0) 2~4 1 (2-0) 2~4 1 | | | | . – . , | | | | | | |
| 接受 261 法学特殊講義 I 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 262 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 263 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 264 法学特殊講義 IV 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 265 法学特殊講義 V 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 266 法学特殊講義 VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学特殊講義 VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 | | | | . – . , | | | | | | |
| 法学 261 法学特殊講義 I 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 262 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 263 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 264 法学特殊講義 IV 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 265 法学特殊講義 V 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 266 法学特殊講義 VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学特殊講義 VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法律学の中の特定の分野について講義する。 2 (2-0) 2~4 前又は後 3 (2-0) 2~4 1 (2-0) 2~4 1 (2-0) 2~4 1 (2-0) 2~4 1 (2-0) 2~4 1 | 広子 Z54 | 7 10 11 11 11 11 11 11 | 2 | (2-0) | 2.04 | 削入は仮 | | ノハ莳寺 | による伝 | 1年文版(グ語記・ |
| 法学 262 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 263 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 264 法学特殊講義 IV 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 265 法学特殊講義 IV 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 266 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義 II 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法律学の中の特定の分野について講義する。 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 法学 261 | 法学特殊講義 [| 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | | 定の分野 | について | 講義する。 |
| 法学 263 法学特殊講義III 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 264 法学特殊講義IV 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 265 法学特殊講義VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 266 法学特殊講義VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学特殊講義VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 | 法学 262 | 法学特殊講義Ⅱ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | | | |
| 法学 265 法学特殊講義V 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 266 法学特殊講義VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学特殊講義VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 | | | | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 法律学の中の特 | 定の分野に | について | 講義する。 |
| 法学 266 法学特殊講義VI 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 267 法学特殊講義VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 法学 268 法学特殊講義VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 | 法学 264 | 法学特殊講義IV | | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | | | |
| 法学 267 法学特殊講義VII 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 | | | | \ - - / | | | | | | |
| 法学 268 法学特殊講義♥■ 2 (2-0) 2~4 前又は後 法律学の中の特定の分野について講義する。 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 前又は後 | 法律学の中の特 | 定の分野 | について | 講義する。 |
| $\begin{bmatrix} \text{仏子 209} \text{ 体子 行外講義IX} \end{bmatrix}$ $\begin{bmatrix} 2 & (2-0) & 2 & 1 \end{bmatrix}$ $\begin{bmatrix} 2 & 4 & 1 \end{bmatrix}$ 別人は後 $\begin{bmatrix} \text{仏律子の中の特定の分野について講義する} \end{bmatrix}$ | | | | · / | | | | | | |
| | 法字 269 | 冶字特殊講義IX | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 削又は後 | 仏伴字の甲の特 | 正の分野! | について | 講義する。 |

| 法字講座 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学期 | 授 | 業 | | 容 |
|------------------|--|--------|----------------|---|---------|--------------------|--------|-----|------------------------|
| | 法学特殊講義X | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 法律学の中の特 | | - | |
| 法学 271 | 法学特殊講義X I | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は後 | 法律学の中の特 | 定の分野 | につい | て講義する。 |
| | 法学特殊講義XⅢ 法学特殊講義XⅢ | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | 法律学の中の特 法律学の中の特 | | | |
| 法学 274 | 法学特殊講義XIV 法学特殊講義XV | 2 | (2-0) (2-0) | $2\sim 4$ | | 法律学の中の特 | | | |
| 法学 256 | 法学特殊講義XVI | 2 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前又は後 | 法律学の中の特 法律学の中の特 | 定の分野 | につい | いて講義する。 |
| 法学 277 法学 278 | 法学特殊講義XⅦ 法学特殊講義XⅧ | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $1 \sim 4$ | | 法律学の中の特 法律学の中の特 | | | |
| 法学 279 | 法学特殊講義XIX | 2 | (2-0) | $1 \sim 4$ | 前又は後 | 法律学の中の特 | 定の分野 | につい | いて講義する。 |
| 法学 281 | 法学特殊講義XX 法学特殊講義XXI | 2 2 | (2-0) (2-0) | $ \begin{array}{c c} 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \end{array} $ | 前又は後 | 法律学の中の特 法律学の中の特 | 定の分野 | につい | いて講義する。 |
| 法学 282 法学 283 | 法学特殊講義XXⅢ 法学特殊講義XXⅢ | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | 法律学の中の特 法律学の中の特 | | | |
| 法学 284 | 法学特殊講義XXIV | 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 法律学の中の特 | 定の分野 | につい | いて講義する。 |
| | 法学特殊講義XXV 基礎憲法 | 2 2 | (2-0) | $ \begin{array}{c c} 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \end{array} $ | | | | | な理解を目的とす |
| 法学 311 | 基礎行政法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | | | | 対象とする。公務 |
| 法学 321 | 基礎刑事法 | 2 | (2-0) | $1 \sim 4$ | 前又は後 | 員試験に対応で 刑法、刑事訴訟 | | | 「義する。 【策についての基礎 |
| 法学 331 | 基礎民法 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 4$ | | 知識を習得させ 民法総則につい | る。 | | |
| 法学 332 | 基礎民法Ⅱ | 2 | (2-0) | $1 \sim 4$ | 前又は後 | 物権について基 | 礎的なこ | とを学 | : Z: |
| 法学 334 | 基礎民法Ⅲ 基礎民法Ⅳ | 2 2 | (2-0) (2-0) | $ \begin{array}{c} 1 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \end{array} $ | 前又は後 | 債権総論につい 債権各論につい | て基礎的 | な事項 | を学ぶ。 |
| 法学 341 | 商取引法 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 商法総則および 得する。 | 商取引法 | に関す | る基礎的知識を修 |
| 法学 351 | 基礎民事手続法 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 多様な民事紛争 色を比較検討し | | | て、それぞれの特に概説する。 |
| 法学 361 | 基礎労働法 | 2 | (2 - 0) | $1\sim4$ | 前又は後 | 現在の判例法理 | をもとに、自 | 育単な | 事例を設定して解説 |
| W. W. 054 | ++ *\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ | | (0.0) | | ****** | ることを目指す。 | | | |
| | 基礎社会保障法 | 2 | (2-0) | $1 \sim 4$ | | とする。 | | | 本的な理解を目的 |
| · | 基礎国際法 | 2 | (2-0) | $1 \sim 4$ | | 義する。 | | | ※法全体の概観を講 |
| 法学 401 | 展開憲法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | る。 | | | 的理解を目的とす |
| 法学 411 | 展開行政法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 基礎行政法の履いて深める。 | 修を前提 | に行政 | は法の重要論点につ |
| 法学 421 | 展開刑事法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | | | 訴訟法 | についての体系的 |
| | 民法(総則)特別講義 民法(債権)特別講義 I | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | 民法総則におけ | る重要な | | を深く学ぶ。 な諸制度を深く学 |
| 法学 441 | | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | ぶ。 会社法に関する | | | |
| 法学 451 | 展開民事手続法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民事の第一審訴 | 訟手続を | 中心に | 「概論する。 |
| | 展開労働法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | 例を設定して解記 | 兑を行う。 | | をもとに、簡単な事 |
| 法学 471 | 展開社会保障法 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会保障法につめとする。 | いて、よ | り発展 | 的な法的理解を目 |
| | 展開国際法 応用憲法 | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | 国際法の各論を | | | 〔をあてて講義をす |
| | 応用行政法 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | る。 | | | は法の重要論点につ |
| . , | 応用刑事法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | いて深める。 | | | 点を取り扱い、す |
| · | 民法(物権)特別講義 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | | でに習得した知民法物権におけ | 識を深め | させる | 0 0 |
| 法学 532 | 民法(債権)特別講義Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 債権総論・各論 | における | 重要論 | a点を検討する。 |
| | 手形法・小切手法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | る。 | | | 礎的知識を修得す |
| 法学 551 | 応用民事手続法 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | | | | がある、強制執行手 と事保全手続を概説 |
| 法学 561 | 応用労働法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | する。 | | | 比較的検討を行い |
| ,, 001 |) in / 14 / V 1994 libert | | 0) | _ ^ | 1147715 | ながら、日本の | 労働法理 | | 微と現在の変容を |
| 法学 571 | 応用社会保障法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | | | テーマ | に焦点をあてて講 |
| 法学 581 | 応用国際法 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 義をする。 国際法の特殊問 | 題につい | て講義 | きする。 |

政策科学・国際関係論講座共通

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|--|--|--|---|---|---|--|
| 政国 112 政国 121 政国 141 政国 412 政国 413 政国 515 政国 516 | 政策情報基礎演習 専門基礎演習 I 専門基礎演習 I 専門基礎演習 I 専門基礎演習 I 卒業研究 原典・外書講読 I 原典・外書講読 II 原典・外書講読 IV 海外・国内研修 I 海外・国内研修 II 海外・国内研修 II | 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{c} (0-2) \\ (0-2) \\ (0-2) \\ (0-2) \\ (0-2) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ \end{array} $ | 1後期又 2 4 2 ~ 4 2 ~ 4 2 ~ 4 2 ~ 4 2 ~ 4 2 ~ 4 2 ~ 4 | は2 前前前前前前前前前前前前前前前前期 後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後 | 情報処理の基礎的研究方法 政策科学・国際関係論向けの英語能力の育成 政策科学・国際関係論の基礎ゼミ 政策科学・国際関係論の基礎ゼミ 特定問題の論文作成 原典・外国語文献の講読 原典・外国語文献の講読 原典・外国語文献の講読 原典・外国語文献の講読 原典・外国語文献の講読 原典・外国語文献の講読 原典・外国語文献の講読 将定地域・国の総合的現地調査 特定地域・国の総合的現地調査 特定地域・国の総合的現地調査 |

政策科学講座

| 科目番号 | <u> </u> | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 | 業 | 内 | 容 |
|----------------|------------------------------|--------|----------------|--------------------------|----------------|----------------------|---|--------------|----------------------------|
| | 政策科学演習 I | 4 | (0-2) | 3 | 通年 | 政策科学におけ | | | |
| 政策 141 | 政策科学演習Ⅱ | 4 | (0-2) | | 通年 | 政策科学におけ | | | |
| | 現代日本の政治 | 4 | (4-0) | | | 戦後から現代ま | での日本 | 政治の | 児状と課題 |
| | 政治過程論 日本政治外交史 | 4 4 | (4-0) (4-0) | $2 \sim 4$ $1 \sim 4$ | 前又は後 | | | | ・外交の史的分析 |
| 政策 213 | 政策科学概論 | 4 | (4-0) | | 前又は後 | 政策科学の理論 | ショル | が政行 | * 7 |
| 政策 222 | | 4 | (4-0) | | | 現代行政の理論 | | > 149/L 14HI | |
| 政策 223 | 政治社会学 | 4 | (4-0) | | 前又は後 | 政治社会学の理 | 論と分析 | ŕ | |
| 政策 224 | 日本政治思想史 | 4 | (4 - 0) | | 前又は後 | 近・現代におけ | る日本の |)政治思 | 想史の概観 |
| 政策 225 | 西洋政治思想史 | 4 | (4-0) | | | 西洋における政 | | | |
| | 西洋政治史 | 2 | (2-0) | | 前又は後 | 近・現代におけ | る欧米諸 | 国の政 | 台史 |
| | 現代政治理論 | 2 2 | (2-0) | | 前又は後 | 現代政治の分析 | に関する | 一般的 | ・基礎的埋論 |
| 政東 322 | 都市政治学 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 削又は俊 | 郁巾を中心とし の理解を図る | に地力目 | お行につい | ハての理論と実態 |
| 政第 393 | 地方自治論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前マ暦後 | 地方自治の現状 | ・レ無期 | | |
| | 沖縄の政治と行政 | 2 | (2-0) | | 前又は後 | 近代以降の沖縄 | の政治・ | 行政に | 型する諸問題 |
| | 公共政策学総論 | 2 | (2-0) | | | 公共政策に関す | | | |
| 政策 326 | 福祉政策論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 福祉政策の現状 | と課題 | | |
| | 環境政策論 | 2 | (2-0) | | | 環境政策の現状 | | | |
| 政策 328 | 政治文化論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | | | | を読み解く事によ |
| TI-85 000 | 14 14 47 37 3V | | (0 0) | | →+ | って、現実を捉 | える眼力 | 」と感性: | を培う |
| 政東 329 | 地域経営論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 地万目冶体など 論と実践を理解 | | こした地域 | 或づくり政策の理 |
| 政策 331 | 計量政治学 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前マ暦後 | | | 数量デ | ータを用いた初歩 |
| 以来 551 | 可 | | (2 0) | 2 4 | 門人は区 | 的な政治分析の | | | 7 Z/11 V /C/10/9V |
| 政策 332 | 沖縄政治社会思想史 | 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | 近代以降の沖縄 | の政治思 | 想、社会 | 会思想の概観 |
| | ジェンダーと政治 | 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ | | ジェンダーの視 | | | |
| 政策 334 | 政策評価研究 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 政策における事 | 事後評価. | 、ならて | ドに評価関連行為 |
| | | | | | | (監査、監察、 | 予算查定 | ヹなど)(| こついて一般的な |
| <i>र⊬‱</i> २२೯ | ± ₽ ¼ △३◇ | 2 | (2-0) | 0 - 4 | 共立は後 | 理解を図る | | 1 カ. ヘ の: | 卒羊 |
| 政東 335 | 市民社会論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 現代氏王政にお て、理論的・実 | 1リる甲戌 | 「任芸の」 | 意義・機能につい ^{強士ス} |
| 政策 336 | 議会政治論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 議会政治の歴史 | | | 祝する 現状などについて |
| 22/1000 | MX A SA TO HIII | | | | 1117/15/2 | 考察する | . , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | 1111/200 | |
| 政策 521 | 政策科学特殊講義 I | 4 | (4 - 0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | | る特殊間 | 周題 | |
| 政策 522 | 政策科学特殊講義Ⅱ | 4 | (4 - 0) | | 前又は後 | " | | | |
| 政策 523 | 政策科学特殊講義Ⅲ | 4 | (4-0) | | 前又は後 | " | | | |
| | 政策科学特殊講義IV | 4 | (4-0) | | 前又は後 | " | | | |
| | 政策科学特殊講義V | 2 | (2-0) (2-0) | | 前又は後 前又は後 |]]]] | | | |
| | 政策科学特殊講義Ⅵ 政策科学特殊講義Ⅶ | 2 2 | (2-0) | | 前又は後 | ", | | | |
| | 政衆科子特殊講義VII 政策科学特殊講義VII | 2 | (2-0) | | 前又は後 | " | | | |
| | 政策科学特殊講義IX | | (2-0) | | 前又は後 | ,, | | | |
| | 政策科学特殊講義X | 2 | (2-0) | | 前又は後 | n, | | | |
| 政策 531 | 政策科学特殊講義XI | 2 | (2-0) | | 前又は後 | IJ | | | |
| | 政策科学特殊講義XⅡ | 2 | (2-0) | | 前又は後 | IJ. | | | |
| 政策 533 | 政策科学特殊講義XⅢ | 2 | (2-0) | | 前又は後 | JJ | | | |
| | 政策科学特殊講義XIV | 2 | (2-0) | | 前又は後 | " | | | |
| | 政策科学特殊講義XV 政治学概論(教職) | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | ″ 国際政治を含む | 租件业业 | シの製用目 | 珥 |
| 以來 911 | | | (2 - 0) | $1 \sim 4$ | 刑人は仮 | 四际収佰を召む | が八収作 | コマノ語 同 | 변 |

国際関係論講座

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 | 期 | 授 | 業 | 内 | 容 |
|-----------|-----------------------------|----------------|----------------|---|------|-------|--------------------|---------|----------|------------|
| | 国際関係論演習I | 4 | (0-2) | 3 | 通年 | | 国際関係論にお | | | |
| | 国際関係論演習Ⅱ | 4 | (0-2) | 4 | 通年 | | 国際関係論にお | | | 卅 究 |
| 国際 211 | 国際政治学 | 4 | (4-0) | $1 \sim 4$ | | | 国際政治分析の | | | |
| | 国際関係史 | 4 | (4-0) | $1 \sim 4$ | | | 現代国際関係の | | | |
| | 国際政治経済論 国際社会学 | $\frac{4}{4}$ | (4-0) (4-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | | 国際政治経済論 国際社会学の理 | | | |
| | 比較政治学 | 4 | (4-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | | 比較政治学の理 | | | |
| | 沖縄をめぐる国際関係 | 4 | (4-0) | $1 \sim 4$ | | | 沖縄を取りまく | | | 公析と車例研究 |
| | 東アジア国際関係史 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 東アジアにおけ | | | |
| | ヨーロッパ国際関係史 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | ヨーロッパにお | | | |
| | 国際紛争論 | $\overline{2}$ | (2-0) | $2\sim 4$ | | | | | | 生会で生起する紛 |
| | | | , | | .,,, | | 争についての分 | | | |
| 国際 614 | 国際組織論 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は | 後 | 国連、NGOな | | | ついての分析と事 |
| 国際 615 | 安全保障論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は | | 例研究 安全保障の理論 | ふと事例の | の分析 | |
| | 国際協力論 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は | 後 | 国際協力の政治 | 計的・経済 | 斉的・社会 | 会的側面に関する |
| E d Priva | Left or D. will Felicia. | 0 | (0.0) | | | - // | 分析 | | | |
| 国際 617 | 地球環境論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 町又に | | 環境をめぐって 分析 | 、展開する | 5 政治・7 | 社会・社会関係の |
| 国際 721 | 東アジア地域研究I | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は | | 東アジアの政治 | ・社会道 | 過程の具 | 体的分析 |
| 国際 742 | 東アジア地域研究Ⅱ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は | | | IJ | | |
| | 東アジア地域研究Ⅲ | 2 | (2 - 0) | $2 \sim 4$ | 前又は | t後 | | IJ | | |
| 国際 722 | 東南アジア地域研究 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は | は後 | 東南アジアの政 | な治・社会 | 会過程の。 | 具体的分析 |
| | 太平洋地域研究 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 太平洋地域の政 | | | |
| | 南北アメリカ地域研究 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | | | 南北アメリカの | | | |
| | ロシア・東欧地域研究 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | | ロシア・東欧の | | | |
| | 西ヨーロッパ地域研究 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | | | 西ヨーロッパの | | 土会 遺程(| // 具体的分析 |
| | 平和研究 I 平和研究 Ⅱ | 2 2 | (2-0) (2-0) | $ \begin{array}{c c} 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \end{array} $ | | | 平和研究の理論平和研究におけ | | 7 . 7 h: | = , |
| | 国際関係理論 | 4 | (2-0) | $2\sim 4$ $2\sim 4$ | | | 国際関係論の理 | | | 7 1 |
| 国際 802 | 外交政策論 | 4 | (4 - 0) | $2 \sim 4$ | 前又は | 1後 | 外交政策の分析 | に冊 こ カゼ | ム 平空 | |
| | アメリカン・スタディーズ | 4 | (4-0) | $2\sim 4$ | | | アメリカ研究の | | | |
| 国際 831 | 比較社会文化論I | 2 | (2-0) | | | | 比較社会文化論 | | | |
| | 比較社会文化論Ⅱ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 比較社会文化論 | | | ディ |
| 国際 833 | グローバル・ポリティクス | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は | t後 | グローバリゼー | ーションに | こよる21† | 世紀の政治変容 |
| | 歷史政策学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 政策に歴史を活 | | | 究と事例分析 |
| 国際 521 | 国際関係論特殊講義I | 4 | (4-0) | $2 \sim 4$ | | | 国際関係論にお | さける特殊 | 朱問題 | |
| 国際 522 | 国際関係論特殊講義Ⅱ | 4 | (4-0) | $2 \sim 4$ | 前又は | | " | | | |
| | 国際関係論特殊講義Ⅲ | 4 | (4-0) | | 前又は | | " | | | |
| 国際 524 | 国際関係論特殊講義IV | 4 | (4-0) | $2\sim 4$ | 前又は | | " | | | |
| | 国際関係論特殊講義V | 2 | (2-0) | | 前又は | | וו וו | | | |
| | 国際関係論特殊講義VI 国際関係論特殊講義VII | $\frac{2}{2}$ | (2-0) (2-0) | | 前又は | | " | | | |
| 国際 592 | 国際関係論特殊講義Ⅷ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前又は | | " | | | |
| | 国際関係論特殊講義IX | $\frac{2}{2}$ | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は | · [2] | " | | | |
| | 国際関係論特殊講義X | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は | | " | | | |
| 国際 531 | 国際関係論特殊講義XI | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は | | " | | | |
| | 国際関係論特殊講義XⅡ | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は | | " | | | |
| 国際 533 | 国際関係論特殊講義ⅩⅢ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は | | " | 1 | | |
| 国際 534 | 国際関係論特殊講義XIV | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は | | " | | | |
| 国際 535 | 国際関係論特殊講義XV | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は | 後 | " | 1 | | |

数量経済分析·比較経済分析講座共通

| 3/1 E/IL/// | 70 70 次在7737 77 117 元八色 | | | | | |
|-------------|-------------------------|-----|-------|------------|------|--|
| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
| 経済 001 | 基礎演習 I | 2 | (0-2) | 1 | 前 | 経済学、また広く社会科学を学んで行くうえで必要な、ワープロ、表計算、データベース、インタ |
| 経済 002 | 基礎演習Ⅱ | 2 | (0-2) | 1 | 後 | ーネット等の情報処理技術を修得させる。 経済学、または広く社会科学を学ぶうえで必要な 基礎知識を修得させる。 |
| 経済 003 | 情報処理実習I | 2 | (0-2) | $2\sim4$ | 前又は後 | 情報処理の基礎知識とコンピュータの使い方について講義する。 |
| | 情報処理実習Ⅱ | 2 | (0-2) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | |
| 経済 005 | 情報処理実習Ⅲ | 2 | (0-2) | $2\sim4$ | 前又は後 | JJ |
| 経済 006 | 情報処理実習IV | 2 | (0-2) | $2\sim4$ | 前又は後 | IJ |
| 経済 101 | 外国書講読 I | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前 | 外国経済文献の原書による講読・解説。 |
| 経済 102 | 外国書講読Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | 外国経済文献の原書による講読・解説。 |
| 経済 300 | 経済学演習I | 4 | (0-4) | 3 | 通年 | 分野毎の個別研究・討議・発表・論文提出。 |
| 経済 400 | 経済学演習Ⅱ | 4 | (0-4) | 4 | 通年 | 分野毎の個別研究・討議・発表・論文提出。 |

| 製 重 経 済 分 本 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学期 | 授 | 業 | 内 | 容 | |
|--|--|---|--|---|--------------------------|--|---------------------------|-------------------------------------|------------------|--------------|
| | | | (4-0) | 1~2 | | 経済学の履修に | | | | た悪羊小 |
| | 経済数学 | 4 | , | 1 | 前 | る。 | | | | |
| | 基礎統計学 | 4 | (4-0) | 2 2 | (昼)後 (夜)前 | 統計表、回帰式、 定などの基礎事項 | 頁を解説 | する。 | | |
| 経済 200 | ミクロ経済学 | 4 | (4-0) | $1 \sim 2$ | 後 | 家計や企業等の個整の場としての可能 | | | | |
| 経済 201 | マクロ経済学 | 4 | (4-0) | $1 \sim 2$ | (昼)前 (夜)後 | 経済全体の生産、 の決定メカニズ、 政府の介入効果 | 消費、 | 貿易、雇 融政策や | 用ある 財政政 | いは物価 |
| | 経済学原論 | 4 | (4-0) | $1 \sim 2$ | (昼)前 (夜)通年 | 基礎的なミクロ | | | | |
| 経済 302 | 経済学史 時事経済論 I 時事経済論 Ⅲ | 2 2 2 | (2-0) (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前又は後 前 後 | 諸学派の学説・ 経済に関するトロ | | | 説する。 | |
| 経済 309 | ゲーム理論計量経済学 | 2 4 | (2-0) (4-0) | $ \begin{array}{c} 2 \sim 4 \\ 3 \sim 4 \end{array} $ | | 基礎的なゲーム球 基礎的な計量経済 | | | | |
| 経済 320 | 経済政策 | 4 | (4-0) | $2\sim4$ | (昼)前又は後 | 経済政策方法論、業について、ミク | | | | |
| 経済 321 | 法と経済学 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 講義する。 経済モデルを使い 説明するのかをプ | ハ、経済 ^を 不法行為 | 学がどの ・所有権 | ように 法等の | 法制度を 分野を通 |
| | 経済体制論 公共政策論 | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 後 前 | して講義する。 現代の経済体制を 私的経済に対する | る公的介え | 入の必要 | 性、政 | |
| 経済 333 | 環境経済評価論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 過程や政策主体の環境の質を経済的 | 的に評価* | するため | の理論 | |
| 経済 360 | 財政学 | 4 | (4-0) | $2 \sim 4$ | (昼)前 | について、実例を 公共財、予算、利 | 租税、公付 | | | |
| 経済 361 | 地方財政論 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | | 際に関する講義。 地方分権と地方和 関係、地方財政 論、制度、デー | 説財政シ と地域経 | 経済の関 | 連を中 | 心に、理 |
| 経済 370 経済 371 | 少子・高齢化の経済学 金融と経済 I 金融と経済 II 金融商品論 | 2 2 2 2 | (2-0) (2-0) (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前又は後 前 後 前 | る。 日本における少- 金融経済に関わる " 主な金融商品をB | る経済理 | 論を体系 | 的に講 | 義する。 |
| | 金融政策論 金融市場と金融システム | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 後 前又は後 | て分かり易く解言 金融政策に関わる 金融市場と金融 | る経済理 | 論を体系 に関する | 的に講 基礎的 | 義する。 な講義を |
| 経済 402 経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経経 | 理論論義IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{c} (2-0) \\ (2-0) $ | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後 | 行う。 経済理論におり、 にもなり、 にもな | ナる特定 [・] | テーマの テーマの ーマの解 ーマの解 解説。 | 解説。 解説 『説。 | |
| | | | | | | | | | | |

比較経済分析講座

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|--------|------------------------------|-------------|-------------------------|---|----------------|---|
| 経済 189 | 社会経済史 I | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前 | 資本主義経済の生成発展過程を基軸とした理論 的実証的考察。 |
| | 社会経済史Ⅱ 西洋経済史 | 2 4 | (2-0) (4-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 後 後 | ップライス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア |
| 経済 192 | 日本経済史 | 4 | (4-0) | $2\sim4$ | 前 | 展過程の講義。 日本資本主義の生成・展開・発展・崩壊そして再 建の過程を国家・資本・地代の三視点から捉え、 戦前期と戦後期の断絶面および継続面を追究。 |
| 経済 193 | 沖縄社会経済史 | 4 | (4-0) | $2\sim4$ | 後 | 沖縄県の明治から敗戦までの過程を経済的、政治 的及び社会的面から捉え、沖縄のおかれた今日的 |
| 経済 221 | 実践経済学 | 2 | (2-0) | $1\sim4$ | 前又は後 | 状況について歴史的過程を踏まえて論及。 現代の沖縄社会経済の直面する政策課題について 大学内外の複数の教官による講義を行う。 |
| 経済 291 | 現代経済システム理論I | 2 | (2-0) | 2~4 | 前又は後 | 現代社会の諸現象に対して、経済学の原理論に基づいた把握を提示し、原理論の理解と現代経済の分析のトレーニングを行う。 |
| | 現代経済システム理論 Ⅱ 現代社会システム理論 Ⅰ | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前又は後 前又は後 | 別代社会の諸現象を、現代社会のシステム構造に 対する原理論的認識に基づき、総体的に把握、解 明する。 |
| | 現代社会システム理論Ⅱ 公共経済学Ⅰ | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前又は後 前 | "パレート最適や消費者主権の概念を中心に、効率性 |
| 経済 324 | 公共経済学Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 後 | の観点から市場経済の特質について講義する。 経済学における公平性の問題、不平等度の計測、 それから具体的な所得再分配政策について講義す |
| 経済 329 | 観光経済論 I 観光経済論 II 地域経済学 | 2 2 2 | (2-0) (2-0) (2-0) | $ \begin{array}{c c} 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \end{array} $ | 前 後 前又は後 | る。 観光産業と地域開発に関する講義 " 価格理論、所得理論を地域経済の分析に応用、特に地域経済構造、産業立地、地域経済成長、地域 |
| 経済 331 | 開発経済学 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 開発政策の変遷に関する講義。 人間開発、開発のメカニズム、経済開発と開発資 |
| 経済 332 | 地域開発論 I | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前 | 金、経済開発政策等について講述する。 米軍統治下の国の財政援助と沖縄の復帰対策について解説する。沖縄振興計画を検証し高率補助と 沖縄予算の仕組み及び各種特別措置と優遇税制等 |
| 経済 338 | 地域開発論Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 後 | について考察する。 基地と地域開発の視点から基地経済の変容、普天 間移設と北部振興事業及び SACO 関連予算、基 地所在市町村の財政問題等地域の抱える諸問題に ついて考察する。 |
| 経済 334 | 環境経済学 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は後 | 公共経済学の理論を基礎として、環境税や排出 権取引制度、廃棄物対策等、環境政策の評価につ |
| 経済 335 | 沖縄経済論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | いて講義する。 米軍統治下の経済政策、経済計画、開発政策の議 論、通過・外貨対策、産業政策、過疎・離島・都 |
| 経済 337 | 資源経済学 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は後 | 市などの地域政策に焦点をあてて論議する。再生可能資源や枯渇性資源の最適利用計画、リサイク |
| 経済 340 | 国際経済学 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は後 | ル政策と再生資源の有効利用について講義する。 国際貿易論と国際金融論の基礎的理論について講 義する。 |
| 経済 341 | 国際マクロ経済学 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 戦争の。 国際金融の基礎的知識と、国際マクロ経済学の基 礎的理論について講義する。 |
| 経済 342 | 国際ミクロ経済政策 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 完全競争下と不完全競争下の貿易政策の理論的分析について講義する。 |

比較経済分析講座

| 科目 | 番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|----|-----|---------------|-----|-------|------------|------|---|
| 経済 | 343 | 国際マクロ経済政策 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 開放マクロ経済におけるマクロ経済政策の理論的 分析について講義する。 |
| 経済 | 344 | 国際産業連関分析 | 2 | (2-0) | 3 | 前又は後 | 国際産業連関分析を行うに当たっての基礎知識と 実証分析手法を平易に講述するとともに、パソコンを使って課題実習を行う。 |
| 経済 | 345 | 各国経済論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 各国経済の比較分析を行い、資源賦与、経済システム、歴史や国民性などの差異が経済構造や経済成果に及ぼす影響等について講述する。 |
| 経済 | 346 | アジア経済論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 成果に及ぼり影響等について講述りる。 アジア経済の発展パターンとその要因について平 易に講述し、アジア経済圏の政治経済的役割と今 後の展開方向についてともに考える。 |
| 経済 | 347 | 経済学インターンシップ | 2 | (0-2) | 3 | 前マは後 | 企業において実習研修的な就業体験を行う。 |
| | | 島嶼経済学 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | 島嶼の概念と分類、島嶼経済の自立の内容、島嶼 |
| | | | | | | | 政策等について講述する。 |
| 経済 | 349 | 国際開発論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 世界経済、途上国の開発問題並びにODAをはじめとした開発援助等について講述する。 |
| 経済 | 350 | 国際金融論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | 国際収支、外国為替、国際資本移動、国際通貨体制、国際金融機関等に関する講義。 |
| 経済 | 351 | 貿易実務論 | 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | 貿易実務を基礎から体系的に講義し、貿易実務検定C級試験の合格者を輩出することを目指す。 |
| 経済 | 380 | 社会政策 I | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前 | 社会政策とは何かということを、個々の事例研究 などを通して、社会政策というものが要請される 社会システム分析と関連づけて考察する。 |
| 経済 | 381 | 社会政策Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | 社会政策の具体的考察を、EUや各国の実例などを通して行い、その歴史や現状について比較経済分析を行う。 |
| 経済 | 382 | 社会保障論 | 2 | (2-0) | 3~4 | 前又は後 | 社会保障の各種事例や今日的問題を通して、各国や日本の歴史と諸制度の考察を踏まえ、現代社会において社会保障に必要とされていること、および社会保障を要件とする現代社会そのものを考察する。 |
| 経済 | 384 | 労働経済学 I | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は後 | 人間にとっての労働の意義を把握するとともに、 労働が企業などの組織の中で行われる意味や内容 を検討する。 |
| 経済 | 385 | 労働経済学Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は後 | 女性労働問題などの今日的問題の検討と、雇用創 出の現代的方法や失業や労働市場の情勢分析など を行う。 |
| 経済 | 387 | 公共性と現代経済 | 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ | 後 | 現代経済システムの中で公共性の果たす役割と意義について、現代的で具体的な公共的諸組織を通して、捉えていく。 |
| 経済 | 388 | 現代生活経済論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前 | 現代の様々な経済現象について、生活という視角 から解明を試み、生活する者の側からの(社会的)要求の実現プロセスを捉える。 |
| 経済 | 389 | 現代消費経済論 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 後 | 消費という観点から、現代の社会・経済現象を捉え、その発生根拠や現象態様、展開方向について考えていく。 |
| 経済 | 431 | 地域開発論特殊講義 I | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前 | 地域開発における特定テーマの解説。 |
| | | 地域開発論特殊講義Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 後 | " |
| | | 地域開発論特殊講義Ⅲ | 2 | (2-0) | | 前 | ıı . |
| | | 地域開発論特殊講義IV | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | n |
| | | 国際経済学特殊講義I | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前 | 国際経済における特定テーマの解説。 |
| | | 国際経済学特殊講義Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | " |
| | | 国際経済学特殊講義Ⅲ | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前 | n |
| | | 国際経済学特殊講義IV | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 後 | n |
| | | 社会経済史特殊講義 I | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前 | 社会経済史における特定テーマの解説。 |
| | | 社会経済史特殊講義Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | " |
| | | 社会経済史特殊講義Ⅲ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前 | 11 |
| 経済 | 495 | 上五年//人口//h研報出 | | | | | |

| 履 | 修コース | 履 修 コ ー ス | | | | | | | | |
|-------|-------|-----------|-------|---------|--|--|--|--|--|--|
| 専 攻 課 | 程 | 往 | 経 済 学 | 政治・国際関係 | | | | | | |
| 法学 | | 0 | | | | | | | | |
| 経済学 | (昼間主) | | 0 | | | | | | | |
| 胜伊子 | (夜間主) | | 0 | | | | | | | |
| 政治・国際 | 関係 | | | 0 | | | | | | |

履修コース別履修要件 法律コース・必修科目

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備る | 考 |
|------------------|--|------------------|-----|------------------------|----|------------------|--------------------------------------|------------------|------------------|------------------------------|----|---|
| 法学 102 法学 103 | 基礎演習 I 基礎演習 Ⅱ 法学基礎演習 I 法学基礎演習 Ⅱ | 2 2 2 2 | | 前又は後 前又は後 前 後 | | 法学 111 法学 112 | 法学演習ⅠA 法学演習ⅠB 法学演習ⅡA 法学演習ⅡB | 2 2 2 2 | 3 3 4 4 | 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | | |

法律コース・選択 (コース・コア) 科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|----------------------------|---|--|--|--|----|--|--|----|--|--------------------------------------|--|
| 法学 332 法学 333 法学 334 | 基礎憲法 基礎行政法 基礎民法Ⅱ 基礎民法Ⅲ 基礎民法Ⅲ 基礎民法Ⅳ 商取引法 基礎民法Ⅰ 基礎代表法 基礎代表 基礎代表 基礎代表 基礎代表 基礎代表 基礎代表 基礎代表 基礎代表 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ 2 \sim 4 1 \sim 4 1 \sim 4 1 \sim 4 1 \sim 4 2 \sim 4 2 \sim 4 1 \sim 4 $ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | | 法学 421 法学 431 法学 432 法学 441 法学 451 法学 461 法学 471 | 展開行政法 展開刑事法 民法(総則)特別講義 民法(債権)特別講義 I | 2 | $ \begin{vmatrix} 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 $ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | %1 %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 |

注1:上記科目から16単位以上修得すること。

注2:16単位を超過した分は、選択(コース関連)科目に振り替えることができる。

%1:基礎憲法を履修済みであること。%2:基礎行政法を履修済みであること。%3:基礎刑事法を履修済みであること。%4:基礎民法 I5 を履修済みであること。%5:基礎民法 I5 を履修済みであること。%5:基礎民事手続法を履修済みであること。%7:基礎労働法を履修済みであること。%8:基礎社会保障法を履修済みで

あること。※9:基礎国際法を履修済みであること。

法律コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単 位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | | 学期 | 備 | 考 |
|---------------------------------------|---------------|---|--|--|----|---|------------------------------|-----------------------|---|--|---|---------------------------------|
| 法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法 | 倒産処理法 刑事政策 | 2 | $\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | | 法学 285 法学学 501 法学学 521 法学学 532 法法学学 542 法学学 551 法法学学 561 经产学 571 经产学 581 経路済 320 经路済 340 政政策策 221 222 | 現代日本の政治 日本政治外交史 政策科学概論 | 222222222244224444444 | $ \begin{array}{c} 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \end{array} $ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | * 2* 3* 4* 5* 6* 7* 8 | 2 3 4 5 6 7 8 |

注1:上記科目から30単位以上修得すること。

注2:30単位を超過した分は、選択(自由)科目に振り替えることができる。 ※1:基礎憲法を履修済みであること。※2:基礎行政法を履修済みであること。※3:基礎刑事法を履修済みであること。 ※4:基礎民法Ⅱを履修済みであること。※5:基礎民法Ⅳを履修済みであること。※6:基礎民事手続法を履修済みであ ること。※7:基礎労働法を履修済みであること。※8:基礎社会保障法を履修済みであること。※9:基礎国際法を履修済 みであること。

経済学コース・演習(必修科目)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|------|------------------|-----|--------|-----|----|------|--------------------|----|--------|-----|----|
| | 基礎演習 I 基礎演習 Ⅱ | 2 2 | 1 1 | 前後 | | | 経済学演習 I 経済学演習 Ⅱ | 4 | 3 4 | 通年 | |

経済学コース・基礎科目(必修科目)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備 | 考 |
|--------|-------|----|--------|--------------|----|--------|--------|----|--------|--------------|---|---|
| 経済 110 | 経済数学 | 4 | 1 1 | (昼)前 (夜)前 | | 経済 200 | ミクロ経済学 | 4 | 1 1 | (昼)後 (夜)後 | | |
| 経済 111 | 基礎統計学 | 4 | 2 2 | (昼)後 (夜)前 | | 経済 201 | マクロ経済学 | 4 | 2 2 | (昼)前 (夜)後 | | |

経済学コース・選択(コース・コア)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | | 学 期 | 備 | 考 |
|--|--|---------------------------------|----------|--|----|--------------------------------------|---|---------------|--|--|---|---|
| 経済 190 経済 191 経済 310 経済 320 経済 331 | 社会経済史 I 社会経済史 Ⅲ 西洋経済史 計量経済学 経済政策 開発経済学 環境経済学 | 2 2 4 4 4 2 2 | $2\sim4$ | 前後後前通は通は (昼で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (| | 経済 341 経済 360 経済 370 経済 371 | 国際経済学 国際マクロ経済学 財政学 地方財政論 金融と経済 I 金融と経済 II 労働経済学 I | 2 2 4 2 2 2 2 | $2 \sim 4$ | 前又は (昼)前 (を)前 (夜)前 (夜)前 (夜)前 (で)前 後 は 前 又 は 前 後 は 前 後 と 前 後 り 、 後 り る り る り る り る り る り る り る り る り る り | | |

注1:上記科目から16単位以上修得すること。

注2:16単位を超過した分は、選択(コース関連)科目に振り替えることができる。

経済学コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備 | 考 |
|---|---|--|---|----|--|--|---|--|---|---|---|
| 経済 003 情報処理課語 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I | 2 | $\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 前前前前 ((夜 前前前前 前前 前 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | 注3 | 372373373373374380385381387382387383387381387381387381388389389381380381381381381212212211212222221222222223224224 | 現現基基基基基基基基基基基基的 中政行政日西国代代礎礎礎礎礎礎礎礎礎礎社代治本策政治本洋際活費法 改事法法 Ⅲ 無法 □ 無 | 2 | $\begin{array}{c} 2 \sim 4 \\ 3 \sim 4 \\ 3 \sim 4 \\ 3 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 1 \sim 4 \\$ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前後はははははは | | |

注1:上記科目から14単位以上修得すること。

注2:14単位を超過した分は、選択(自由)科目に振り替えることができる。

注3:2008 (平成20) 年度以前に開講されていた「実践経済学Ⅰ・Ⅱ」の単位を取得した者は履修できない。

・政治・国際関係コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--------|----------|----|------|------|------------|--------|-----------|----|-----|-----|---------------|
| 政国 111 | 政策情報基礎演習 | 2 | 1 | 前 | | 政策 131 | 政策科学演習I | 4 | 3 | 通年 | 政策科 学演習 |
| 政国 112 | 専門基礎英語演習 | 2 | 1 後又 | (は2前 | 受講年 次・学 | | 政策科学演習Ⅱ | 4 | 4 | 通年 | フは国 際関係 |
| 政国 121 | 専門基礎演習I | 2 | 1 後又 | (は2前 | 期につ いては | | 国際関係論演習 I | 4 | 3 | 通年 | 演習の うちい |
| | | | | | 事前に 指定さ | 国際 141 | 国際関係論演習Ⅱ | 4 | 4 | 通年 | ずれか の演習 |
| | | | | | れる。 | 政国 141 | 卒業研究 | 4 | 4 | 通年 | の I と Ⅱ を履 |
| 政国 122 | 専門基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | | | | | | 修。 |

- 注1 上記の科目20単位を履修すること。 注2 「政策情報基礎演習」については、それぞれ指定のクラス分けが行われる。 注3 「専門基礎英語演習」と「専門基礎演習 I 」は2年次以下での同時履修はできない。
- 「政策科学演習」又は「国際関係論演習」のうちいずれかの演習のⅠとⅡを履修すること。当該演習については、学年 注4 をこえて履修できる。

・政治・国際関係コース 選択 (コース・コア) 科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--|--|----------------------------|--|--|----|--|--|----------------------------|--|--|----|
| 政策 212 政策 213 政策 221 政策 222 政策 223 | 現代日本の政治 政治過程論 日本政治外交史 政策科学概論 行政学 政治社会学 日本政治思想史 | 4 4 4 4 4 4 | $2 \sim 4$ $1 \sim 4$ $1 \sim 4$ $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前前前前前前前が一方式とはははははははははははははははははははははははははははははははははははは | | 国際 211 国際 221 国際 222 国際 223 国際 224 | 西洋政治思想史 国際政治学 国際関係史 国際政治経済論 国際社会学 比較政治学 沖縄をめぐる国際関係 | 4 4 4 4 4 4 | $1 \sim 4$ $1 \sim 4$ $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | |

- 注1 上記の科目から16単位以上を履修すること。
- 注2 16単位を超過した分は、選択 (コース関連) 科目に振り替えることができる

| 科目番号 | 授業 | 科目 | 単 | | 学 | | 備 | 耂 | 科目看 | 長 是 | 授 | 業科 | · 目 | 単位 | 年 次 | 学 | 抽 | 備 | 考 |
|--------|----------------|------------|---------------|--------------------------|----------|----|------|---|-----|-------------|---------|------|--------------------------|---|--------------------------|------|----|------------|---|
| | | | | | | | T/HI | | | | | | | | | | | 7/用 | 7 |
| | 原典・外書 | | 2 | $2\sim4$ | 前又 | | | | | | アメリカン・ス | | | 4 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 原典・外書 | | 2 | $2\sim4$ | | | | | | | 比較社 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 原典・外書 | | 2 | $2\sim4$ | | | | | | | 比較社 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 原典・外書 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | グローバリ | | グス | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 海外・国内 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 歴史政 | | ⊬ :# | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 海外・国内 | | 2 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 国際関 | | | 4 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 海外・国内 西洋政治史 | 40万11多 111 | 2 | $2 \sim 4$ $1 \sim 4$ | | | | | | | | | 洙講義Ⅱ 洙講義Ⅲ | 4 | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | | | |
| | 現代政治理 | 3 △ | 2 | $1 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | | | | | | | | ^{ҡ舑} 莪W 洙講義Ⅳ | $\begin{array}{c c} 4 \\ 4 \end{array}$ | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | | | |
| | 都市政治学 | | $\frac{2}{2}$ | $2 \sim 4$ | | | | | | | | | ホ畊義IV 朱講義V | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 地方自治論 | | $\frac{2}{2}$ | $2 \sim 4$ | | | | | | | | | 朱講義VI | $\begin{bmatrix} 2\\2 \end{bmatrix}$ | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 沖縄の政治 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | | | 朱講義Ⅵ | $\frac{2}{2}$ | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 公共政策学 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | | | 朱講義Ⅷ | $\frac{2}{2}$ | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 福祉政策論 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | | | 朱講義IX | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 環境政策論 | | 2 | $2\sim 4$ | | | | | | | | | 朱講義 X | $\frac{1}{2}$ | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 政治文化論 | | 2 | $2\sim 4$ | | | | | | | | | ·講義XI | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 地域経営論 | | 2 | $2\sim 4$ | | | | | | | | | ķ講義XⅡ | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 計量政治学 | | $\frac{2}{2}$ | $2 \sim 4$ | | | | | | | | | ŧ講義ⅩⅢ | $\frac{1}{2}$ | $\overline{2} \sim 4$ | | | | |
| | 沖縄政治社 | | 2 | $3 \sim 4$ | | | | | | | | | k講義 X IV | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| 政策 333 | ジェンダー | と政治 | 2 | $3 \sim 4$ | 前又 | は後 | | | | | | | ⊧講義 X V | 2 | $2 \sim 4$ | 前又 | は後 | ※ 1 | L |
| 政策 334 | 政策評価研 | 究 | 2 | $2 \sim 4$ | 前又 | は後 | | | | | 基礎憲 | | | 2 | $1 \sim 4$ | 前又 | は後 | | |
| 政策 335 | 市民社会論 | | 2 | $2 \sim 4$ | 前又 | は後 | | | 法学 | 311 | 基礎行 | 政法 | | 2 | $1 \sim 4$ | 前又 | は後 | ※ 2 | 2 |
| 政策 336 | 議会政治論 | | 2 | $2\sim4$ | | | | | | | 展開行 | | | 2 | $2\sim4$ | 前又 | は後 | | |
| 政策 521 | 政策科学特 | 殊講義 I | 4 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 基礎国 | | | 2 | $1 \sim 4$ | 前又 | は後 | | |
| | 政策科学特 | | 4 | $2\sim4$ | | | | | | | 展開国 | | | 2 | $2 \sim 4$ | 前又 | は後 | | |
| | 政策科学特 | | 4 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 経済学 | | | 4 | $1 \sim 4$ | | | | |
| | 政策科学特 | | 4 | $2\sim4$ | | | | | | | 経済政 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 政策科学特 | | 2 | $2\sim4$ | | | | | | | 地域経 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 政策科学特 | | 2 | $2\sim4$ | | | | | | | 開発経 | | | 2 | $2\sim4$ | | | | |
| | 政策科学特 | | 2 | $2 \sim 4$ | 前又 | | | | | | 地域開 | | | 2 | $2 \sim 4$ | 自 | | | |
| | 政策科学特 | | 2 | $2\sim4$ | | | | | | | 地域開 | | | 2 | $2\sim4$ | 1.00 | | | |
| | 政策科学特 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 環境経 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 政策科学特 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | アジア | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 政策科学特 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 社会政治 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 政策科学特 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 社会政治 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 政策科学特 政策科学特 | | 2 2 | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前又 | | | | 歴史 | | 社会学员 | | | 2 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 政策科学特 | | $\frac{2}{2}$ | $2 \sim 4$ | | | | | | | 日本史 | | | 2 | $1 \sim 4$ $1 \sim 4$ | | | | |
| | 政治学概論 | | $\frac{2}{2}$ | $1 \sim 4$ | | | | | | | 東洋史 | | | $\frac{2}{2}$ | $1 \sim 4$ | | | | |
| 国際 611 | 東アジア国 | 際関係中 | $\frac{2}{2}$ | $2 \sim 4$ | | | | | | | 東洋史 | | | $\frac{2}{2}$ | $1 \sim 4$ | | | | |
| | ヨーロッハ。国際 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 西洋史 | | | $\frac{2}{2}$ | $1 \sim 4$ | 自 | | | |
| | 国際紛争論 | | $\frac{2}{2}$ | $2 \sim 4$ | | | | | | | 西洋史 | | | $\frac{1}{2}$ | $1 \sim 4$ | 後 | | | |
| | 国際組織論 | | 2 | $2\sim 4$ | | | | | | | 人文地 | | 侖 I | 2 | $1 \sim 4$ | | | | |
| | 安全保障論 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 人文地 | | | $\frac{1}{2}$ | $1 \sim 4$ | | | | |
| | 国際協力論 | | 2 | $2\sim4$ | | | | | | | 自然地 | | | $\frac{-}{2}$ | $1 \sim 4$ | | | | |
| | 地球環境論 | | 2 | $2\sim 4$ | | | | | 地理 | 104 | 自然地: | 理学概認 | | 2 | $1 \sim 4$ | | | | |
| | 東アジア地 | | 2 | $2\sim4$ | | | | | | | 地誌学 | | | 2 | $1\sim4$ | | | | |
| | 東アジア地 | | 2 | $2\sim4$ | 前又 | | | | 地理 | 106 | 地誌学 | 概論 Ⅱ | | 2 | $1 \sim 4$ | | | | |
| | 東アジア地 | | 2 | $2\sim4$ | 前又 | は後 | | | 哲倫 | 201 | 哲学原 | 論 | | 2 | $2 \sim 3$ | 前又 | は後 | | |
| 国際 722 | 東南アジア | 地域研究 | 2 | $2 \sim 4$ | 前又 | は後 | | | 哲倫 | 202 | 倫理学 | 原論 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 太平洋地域 | | 2 | $2\sim4$ | | | | | | | 古代・ | | | 2 | $2\sim4$ | | | | |
| | 南北アメリ | | | $2 \sim 4$ | | | | | | | 近世· | | 学史 | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | ロシア・東 | | | $2\sim4$ | | | | | | | 世界の | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 西ヨーロッ | パ地域研究 | | $2\sim4$ | | | | | | | 社会哲 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 平和研究 I | | 2 | $1 \sim 4$ | 14 4 2 - | | | | | | 社会哲 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 平和研究Ⅱ | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | | | 心理学 | | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | |
| | 国際関係理 | | 4 | $2 \sim 4$ | | | | | 心理 | 403 | 人格心. | 理学 | | 2 | $2 \sim 4$ | 前又 | は後 | | |
| 国際 802 | 外交政策論 | | 4 | $2 \sim 4$ | 前又 | は後 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 1 | | L | | 1 | | | | | | | 1 | | Ĭ | | 1 | |

- 注1 上記の科目から26単位以上を履修すること。
- 注2 26単位を超えた分は選択(自由)科目に振り替えることができる。 ※1:基礎行政法を履修済みであること。 ※2:基礎国際法を履修済みであること。 注3 規定に基づく交換留学先で取得した単位のうち、8単位を上限としてコース関連科目に認定することができる。認定については、取得先大学の便覧とシラバスに拠って、専門教育科目に相当しコース関連科目に読替が可能であることを条件 とする。

総合社会システム学科-卒業要件

| | | 履 | 修 コ ー | ス |
|----|-----------------|----------|-------|---------|
| | 区分 | 法律 | 経済学 | 政治・国際関係 |
| | 基 礎 演 習 (必修) | 8 | 4 | 8 |
| | 演 習 (必修) | 8 | 8 | 8 |
| 専 | 基 礎 科 目 (必修) | _ | 16 | _ |
| 門 | 卒業論文(必修) | | _ | 4 |
| 教育 | コース・コア科目(選択) | 16 | 16 | 16 |
| 月 | コース関連科目(選択) | 30 | 14 | 26 |
| | 自 由 科 目 | 22 | 26 | 22 |
| | 小計 | 84 | 84 | 84 |
| | 健康運動系科目 | 2 | 2 | 2 |
| 共 | 教 養 人文系科目 | 4 | 4 | 4 |
| 通 | 領 社 会 系 科 目 域 | 4 | 4 | 4 |
| | 自然系科目 | 4 | 4 | 4 |
| 教 | 総合・琉大特色科目 | _ | _ | _ |
| | 基 幹 領 域 | | | |
| 育 | 第 1 外 国 語 | 8 | 8 | 10 |
| | 第 2 外 国 語 | 4 | 4 | 8 |
| | 情報関係科目 | <u> </u> | _ | _ |
| | 小 計 単 位 数 | 40 | 40 | 40 |
| | 総単位数 | 124 | 124 | 124 |

- 注1) 自由科目とは 〇各履修コースの選択科目の合計単位を超えて履修した自学科提供の専門科目。 ○他学科・他学部提供の専門教育科目。
 - ○共通教育科目(卒業要件に相当する単位数を超えた10単位まで)
- 注2) 昼間主コース学生は夜間に、夜間コース学生は昼間に開講される授業科目から相互に履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められるものとする。
- 注3) 教員免許を取得したい学生は、教育学部の提供する教職科目以外に教員職員免許法施行規則第3条又は第4条により必要な科目を履修すること。
- 注4) 夜間主コースの学生で昼間の教職科目を履修する学生の履修単位は相互履修(40単位)とは別に認める。
- 注5) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育 等履修基準表」 を参照すること。

人間科学科 (1)授業科目表 学科共同提供

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|-------|-----------|-----|-------|------|------|-------------------------------|
| 人間101 | 人間科学科基礎演習 | 2 | (0-2) | 1 | 前又は後 | 人間科学科各専攻のカリキュラムに対応した入 門的演習 |

学科共同科目

| 科目番号 | 業科 | Ħ | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 | 業 | 内 | 容 | |
|-----------|------|---|-----|-------|-----------|------|---------|-------|-----|---|--|
| 人間114 経済学 | 原論 ※ | | 4 | (4-0) | $2\sim 4$ | 前又は後 | 経済学の基礎に | -関する棚 | 既説。 | | |

^{※「}経済学原論」は教員免許取得に必要な科目である。

人間行動講座 共通科目(コース・コア科目)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|-------|------------------------------------|------------------|----------------------------------|---------------|--------------|--|
| 行動104 | 哲学入門 教育社会学入門 調査統計入門 心理学概論 | 2 2 2 2 | (2-0) (2-0) (2-0) (2-0) | $\frac{1}{2}$ | 前又は後 前又は後 | 哲学の主要な問題と哲学的な考え方を紹介する。 教育社会学の基礎論。 社会調査及びデータ処理の基礎理論と実際。 心理学の主要な理論と研究の概説。 |

人間行動講座(哲学・倫理)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 | 期 | 授 業 内 容 |
|--------------|---------------------|--------|----------------|------------|----------|-------|------------------------|
| 哲倫231 | 哲学基礎演習 I | 2 | (0-2) | $2\sim4$ | 前又 | は後 | 哲学の基礎理論に関する研究発表と討議 |
| 哲倫234 | 倫理学基礎演習 I | 2 | (0-2) | $2 \sim 4$ | 前又 | は後 | 倫理学の基礎理論に関する研究発表と討議 |
| 哲倫203 | 論理学概論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 現代論理学の基本的な考え方を概説する。 |
| 哲倫204 | 認知哲学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又 | は後 | 認知や意識に関する哲学的諸問題を考える。 |
| 哲倫205 | 古代・中世哲学史 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 古代から中世までの哲学史を概説する。 |
| | 近世・現代哲学史 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 近世から現代までの哲学史を概説する。 |
| | 哲学の諸問題 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 哲学の主要な問題について個別に検討する。 |
| | 倫理学の諸問題 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 倫理学の主要な問題について個別に検討する。 |
| 哲倫201 | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 哲学の基礎概念や主要問題を概説する。 |
| 哲倫202 | 11.10 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 倫理学の基礎概念や主要問題を概説する。 |
| | 古代の哲学思想 | 2 | (2-0) | | | | 西洋の古代の哲学思想を検討する。 |
| | 中世の哲学思想 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 西洋の中世の哲学思想を検討する。 |
| | 近世の哲学思想 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 西洋の近世の哲学思想を検討する。 |
| | 東洋の哲学思想I | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 東洋の哲学思想を概説する。 |
| | 東洋の哲学思想Ⅱ | 2 | (2-0) | | | | 東洋の哲学思想を概説する。 |
| 哲倫214 | 記号行動論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 記号論的観点から人間のあり方を考える。 |
| | 記号・人間・文化論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 人間と文化について記号論的に考える。 |
| 哲倫216 | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 言語に関する哲学的諸問題を考える。 |
| 哲倫217 | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 生命の倫理に関する諸問題を検討する。 |
| 哲倫218 | | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | | 人間の生き方に関わる環境問題を考える。 |
| 哲倫219 | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 西洋思想と東洋思想を比較検討する。 |
| 哲倫220 | | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | | 世界の主要な宗教を哲学的に検討する。 |
| 哲倫221 | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 科学的な考え方の基礎を哲学の観点から考える。 |
| 哲倫222 | 人工知能と心の哲学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 削又(| は後 | コンピューターをモデルとする心の哲学を考え |
| +r. // 0 0 0 | ⇒A 700 224 1 45 224 | 0 | (0 0) | 0 4 | <u> </u> | 1.24 | る。 |
| 哲倫223 | 論理学と哲学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 削又(| は俊 | 真理論、可能世界、パラドックス等について概説 |
| +r. // 0 0 4 | FEC 444 344 345 T | 0 | (0 0) | | <u> </u> | 1. 24 | する。 |
| 哲倫224 | | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | | | 哲学や倫理学に関する原典を読む。 |
| 哲倫225 | | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | | | 哲学や倫理学に関する原典を読む。 |
| 哲倫226 | | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 削又 | は俊 | 哲学や倫理学に関する原典を読む。 |
| 哲倫229 | | 2 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 社会思想の展開を哲学的に検討する。 |
| 哲倫230 | | 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ | | | 社会哲学の諸問題を考える。 |
| 哲倫231 | [任云召子Ⅱ | ∠ | (2-0) | $2\sim4$ | 削又(| 141反 | 社会哲学の諸問題を考える。 |

人間行動講座(哲学・倫理)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|-------|--------------|-----|---------|------------|------|----------------------------|
| 哲倫232 | | 2 | (0-2) | $2\sim4$ | | 哲学の基礎理論に関する研究発表と討議 |
| , , | 哲学基礎演習Ⅲ | 2 | (0-2) | $2 \sim 4$ | | 哲学の基礎理論に関する研究発表と討議 |
| 哲倫235 | | 2 | (0-2) | $2 \sim 4$ | | 倫理学の基礎理論に関する研究発表と討議 |
| 哲倫236 | | 2 | (0-2) | $2 \sim 4$ | | 倫理学の基礎理論に関する研究発表と討議 |
| 哲倫237 | 倫理学実習 I | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 応用倫理学の諸分野に関する調査実習 |
| | 倫理学実習Ⅱ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 応用倫理学の諸分野に関する調査実習 |
| | 応用倫理学 I | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 応用倫理学の諸問題を考える。 |
| | 応用倫理学Ⅱ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 応用倫理学の諸問題を考える。 |
| | 哲学の諸問題Ⅱ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 哲学の主要な問題について個別に検討する。 |
| | 哲学の諸問題Ⅲ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 哲学の主要な問題について個別に検討する。 |
| | 倫理学の諸問題Ⅱ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 倫理学の主要な問題について個別に検討する。 |
| | 倫理学の諸問題Ⅲ | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 倫理学の主要な問題について個別に検討する。 |
| 哲倫245 | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 応用倫理学の諸分野に関する調査実習 |
| 哲倫246 | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 哲学の諸問題についての討論 |
| 哲倫247 | | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | 哲学の諸問題についての討論 |
| 哲倫248 | | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | ドイツ思想について検討する。 |
| | スピリチュアルケア論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | スピリチュアルケアの問題を考える。 |
| | スピリチュアルケア論演習 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | スピリチュアルケアに関する発表と討議 |
| | 原典講読の基礎I | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | 原典を読むための基礎を習得する。 |
| | | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | 原典を読むための基礎を習得する。 |
| 哲倫257 | 原典講読の基礎Ⅲ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | | 原典を読むための基礎を習得する。 |
| 哲倫298 | 人間行動演習 I | 2 | (0-2) | 3 | | 哲学・倫理コース所属教員の専門テーマについての紹介。 |
| | 人間行動演習Ⅱ | 2 | (0-2) | 3 | | 個別の指導教員による指導 |
| 哲倫498 | | 2 | (0 - 4) | 4 | | 卒業論文を作成する。 |
| 哲倫499 | 卒業研究Ⅱ | 2 | (0-4) | 4 | 前又は後 | 卒業論文を作成する。 |

人間行動講座(教育社会学)

| 八间11 動講座 | | 1 | 1 | T | 1 | Г | | | |
|-------------|------------------------|---------------|----------------|--|-------------|---------|----------------------------|---------------------|-------------------|
| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 | 業 | 内 | 容 |
| 教社201 | 教育社会学 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 家庭・学校・ | 社会教育の | 社会的基 | 基礎理論 |
| | 教職研究 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 教職の意義に | ついての概 | 説 | |
| 教社203 | 学校社会学 | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | 学校及び学校 | 教育の社会 | 的基礎理 | E論 |
| | 教育原理 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 教育理念の概 | E説 | | |
| 教社205 | 教育史 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 古代から現代 | に至るまで | の教育の | 流れ |
| | 地域社会と学習・文 | | (2-0) | $2 \sim 3$ | | | | | 組みの現状と課題 |
| 教社208 | 教育学原論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 教育の諸現象を | と学問として | の教育学の |)基本を理解する |
| | 生涯学習と学校教育 | | (2-0) | $2 \sim 3$ | | | | の位置づ | けについての考察 |
| | 教育社会学研究 | 2 | (2-0) | 4 | | 教育社会学理 | | | |
| 教社211 | 教育の社会史 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | | | | |
| | 教育哲学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | | 教育学の哲学 | | | |
| | 比較教育制度学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | | 日本と外国の | | | |
| | 教育経営学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | | 学校の人事、 | | | |
| 教社219 | 幼児教育概論 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 就学前児童(特 | に幼稚園児 | 及び小学校 | 紅学年児童の教育 |
| 教社221 | 教育課程 | 1 | (1 - 0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 中等教育課程 | とに関する理 | 論と実践 | È. |
| | 教育方法 | 1 | (1-0) | $2 \sim 3$ | | 中等教育の方 | | | |
| | 生徒指導 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | | 中等教育にお | | 導の研究 | Ĺ |
| | 教育工学 | 2 | (2-0) | | | 教育工学に関 | | | - 4 |
| 教社229 | 教育行政学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | | | 地域教育 | 育行政の諸機関に |
| */.*! 0 0 4 | +d> \d. | | (0.0) | | 24-7-11-7/4 | ついての考察 | | | r* |
| | 教育法 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | | 教育法規の理 | | | 1 |
| | 社会教育概論 I | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前 | 社会教育の理 | | | |
| | 社会教育概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 後 | 社会教育の理 | | | . \ |
| 教社239 | 社会教育計画I | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前 | 社会教育計画 | | | |
| | 社会教育計画Ⅱ | 2 | (2-0) (2-0) | $2\sim3$ | 後 | 社会教育計画 | | | |
| | 教育福祉論 I | 2 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ $3 \sim 4$ | 前 | 教育と福祉の | | | |
| | 教育福祉論Ⅱ 英語文献購読 I | $\frac{2}{2}$ | (2-0) | $3 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 後 前又は後 | 教育と社会に | [9 のグN当 (とり ・88 小 z 具 鉱 | 142川央国) | の事情を考察する。 |
| | 英語文献購読 II 英語文献購読 II | $\frac{2}{2}$ | (2-0) | $3 \sim 4$ | | 教育社会学研 | | | |
| | 人間行動演習 I | $\frac{2}{2}$ | (2-0) | 3 | 削入は仮 | | | | にひ。 引する個別指導 |
| 教社290 | 道徳教育の研究 | $\frac{2}{2}$ | (0-2) | 3 | | 荷足教員のも | | Y (□) | は、の同切は日舎 |
| | 特別活動に関する研 | | (2-0) | 3 | | 世間教育に関 | | | |
| 教社351 | 教育社会学演習Ⅰ | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前人的人 | 教育社会学の | 17 つが九 | | |
| | 教育社会学演習Ⅱ | $\frac{2}{2}$ | (0-2) | $2 \sim 3$ | 後 | 教育社会学の | | | |
| | 社会教育実習 | $\frac{2}{2}$ | (0-2) | $3 \sim 4$ | 前 | 社会教育計画 | | 的部分を | - 考察 |
| | 社会教育課題研究 | $\frac{2}{2}$ | (0-2) | $3 \sim 4$ | 後 | 社会教育計画 | | | |
| | 人間行動演習Ⅱ | $\frac{2}{2}$ | (0-2) | 3 | 後 | | | | ーラ系 引する個別研究 |
| | 卒業研究 I | $\frac{2}{2}$ | (0-4) | $\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 124 | | | | 引する個別研究 |
| | 卒業研究Ⅱ | $\frac{2}{2}$ | (0 - 4) | 4 | 前・後 | | | · (C) | 4 / 0/1E(//19/1/U |
| 2.12.2.0 | 1 214 791 2 8 8 | | 1,0 1, | _ | | | | | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|----------------|-----------------------|-------------|-------------------------|---|--------------|---|
| 心理201 | 心理学原論 | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | 心理学の歴史,方法論、心理学の各研究領域に おける基礎的理論の概説。 |
| | 適応の心理学 心理学研究法 | 2 2 | (2-0) (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 前又は後 | 人間の適応及び不適応行動に関する理論の概説。 観察・調査・実験など、心理学の代表的な研究 |
| 心理204 | 生理心理学 | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | 前又は後 | 法について概説する。 感覚・運動系、ホメオスタシス、心身相関、神 経活動等に関する生理心理学的理論と最近の研究 |
| | 非行と犯罪の心理学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | | の概説。 非行・犯罪心理学に関する基礎理論の概説。 |
| | 心理学実験演習 学習心理学 | 2 2 | (1-3) $(2-0)$ | $\begin{array}{c c} 2 \\ 2 \sim 4 \end{array}$ | 前又は後 前又は後 | 成及び実験計画法の概説と演習。 |
| | 外国文献講読 I | 2 | (2-0) | $2\sim 4$ | | 社会的学習理論などの基礎理論の概説。 心理学の基礎的な外国文献の講読。 |
| 心理210 | 精神医学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 4$ | 前又は後 | 理論や研究についての概説。 |
| | 人間行動演習 I | 2 | (0-2) | 3 | 前又は後 | 究の演習。 |
| 心理301 | 社会心理学 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 世論、マスコミに関する理論と研究の概説。 |
| | 心理検査法実習 | 2 | (1-3) | 3 | 前又は後 | ストの解説及び演習。 |
| 心理303 心理304 | 認知心理学 臨床心理学実習 | 2 2 | (2-0) (0-6) | 3 3 | 前又は後 前又は後 | 認知・情報処理過程に関する概説。 精神科医療施設や福祉施設における臨床心理学 に関連する実習。 |
| | 外国文献講読Ⅱ 発達臨床心理学 | 2 2 | (2-0) (2-0) | | 前又は後 前又は後 | 心理学の応用的な領域の文献や研究論文の講読。 発達に関する臨床心理学的な問題に関する理論 |
| 心理308 | 心理学統計法 | 2 | (1 - 3) | 3 | 前又は後 | |
| 心理309 | 臨床心理学 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | |
| 心理310 | 発達心理学 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | |
| 心理311 | 文化心理学 | 2 | (2 - 0) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | |
| 心理312 | カウンセリング | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 理的過程の相互関係についての概説。 カウンセリングに関する基礎的理論と技法等に ついての概説。 |
| 心理313 | カウンセリング演習 | 2 | (0-2) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | |
| | 発達障害心理学 ゲーミング社会心理学 | 2 2 | (2-0) (2-0) | $\begin{array}{c} 2 \sim 4 \\ 3 \sim 4 \end{array}$ | 前又は後 前又は後 | 発達障害の心理学的特性に関する概説。 社会心理学の分野で用いられる様々なゲーミン |
| 心理398 | 人間行動演習Ⅱ | 2 | (0-2) | 3 | 前又は後 | |
| 心理401 | 社会心理学演習 | 2 | (0-2) | 4 | 前又は後 | |
| 心理402 | 臨床心理学演習 | 2 | (0 - 2) | 4 | 前又は後 | |
| 心理403 | 人格心理学 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | |
| 心理404 | 心理学特講 | 2 | (2-0) | 4 | 前又は後 | |
| 心理405 | 心理査定法 | 2 | (2 - 0) | 4 | 前又は後 | |
| 心理407 | 集団心理学 | 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | る理論と研究の概説。 小集団を中心とした対人行動の基礎過程及び集 団力学に関する理論と研究の概説。 |
| 心理408 | コミュニティ心理学 | 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | |
| 心理409 | 産業・組織心理学 | 2 | (2-0) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | |
| | 外国文献講読Ⅲ | 2 2 2 | (2-0) (2-0) (2-0) | 4 4 | 前又は後 | 代表的な心理療法に関する理論と技法の概説。 心理学の最新の研究論文の講読。 |
| 心理498 | | 2 | (0-4) | $3 \sim 4$ | 前又は後 | 人間と様々な環境との相互作用に関する理論と研究の概説。 特定教官のもとでの実験、調査による個別研究。 |
| 心理499 | 平耒研先Ⅱ | 2 | (0-4) | 4 | 削又は後 | 特定教官のもとでの実験、調査による個別研究。 |

人間行動講座 (人間行動論)

| 科目番号 授業科 | 上 目 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 | 期 | 授 | 業 | 内 | 容 |
|---|---------|----------------------------------|--------|---|-----|--|--------------|----------------|---|
| 総人298 総人398 総人498 総人499 総人499 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ | | (0-2) (0-2) (0-4) (0-4) | 3 4 | | は後後 | 特定の指導教官 特定の指導教官 特定のテーマを 特定のテーマを | による個 選んで研 | 別指導。 ff究論文を | |

社会学講座 共通科目 (コース・コア科目)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|---------------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|-------------|--|
| 社会101 | 社会学原論 I | 2 | (2 - 0) | 1 | 前又は後 | パーソナリティ、集団、文化、社会変動に関する 基礎理論 |
| 福祉201 福祉315 マスコミ111 | 社会調査法 I 社会福祉原論 I 地域福祉論 マス・コミ原論 I マス・コミ史 | 2 2 2 2 2 | (2-0) (2-0) (2-0) (2-0) (2-0) | 1 1 3 1 2 | 前 前 前 | 社会調査の理論と技術 社会福祉の概念・構造・歴史 地域福祉の理念及びその推進方法 マス・メディアの概観・社会的機能と影響 マス・メディアの歴史的発展及び機能変遷 |

注)マスコミ履修コースの学生は「マスコミ原論 I 」以外の科目(ただし「マスコミ史」を含む)を 4 科目 8 単位以上履修すること。

社会学講座(社会学)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|----------|-----------|-----|---------|------|------|--|
| 社会102 | 社会学原論Ⅱ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | パーソナリティ、集団、社会、文化、社会変動に 関する基礎理論とその展開 |
| | | 2 | (2-0) | 2 | | グローバル化した社会に関する基礎理論 |
| 社会104 | 国際比較社会学Ⅱ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | グローバル化した社会に関する理論とその展開 |
| 社会111 | 社会学実習 I | 2 | (0 - 6) | 2 | 前又は後 | 社会学的テーマに基づく野外調査の企画・実施 |
| 社会112 | 社会学実習Ⅱ | 2 | (0 - 6) | 2 | 前又は後 | II . |
| 社会121 | 社会学演習 I | 1 | (0-2) | 3 | 前又は後 | 社会学の論文研究、調査研究の発表及びその討議 |
| | 社会学演習Ⅱ | 1 | (0-2) | 3 | 前又は後 | JI . |
| 社会123 | 社会学演習Ⅲ | 1 | (0-2) | 4 | 前又は後 | JI . |
| 社会124 | 社会学演習IV | 1 | (0-2) | 4 | 前又は後 | 社会学の論文研究、調査研究の発表及びその討議 |
| 社会500 | | 4 | | 4 | 通年 | 学術研究論文の作成 |
| 社会202 | 社会調査法Ⅱ | 2 | (2-0) | 1 | 前又は後 | |
| | 社会学研究 I | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | 社会学的諸問題の研究方法と分析 |
| | 社会学研究Ⅱ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究Ⅲ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | II |
| | 社会学研究IV | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究V | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | II |
| | 社会学研究VI | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | JJ |
| | 社会学研究Ⅶ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | II . |
| | 社会学研究Ⅷ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究IX | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究X | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | II |
| | 社会学研究X I | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | JJ |
| | 社会学研究XⅡ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XⅢ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| 社会 2 2 4 | 社会学研究XIV | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XV | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XVI | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究ⅩⅦ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XⅦ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XIX | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XX | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XXI | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| 社会232 | 社会学研究ⅩⅩⅡ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XXⅢ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XXIV | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| 社会235 | 社会学研究XXV | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | " |
| | 社会学研究XXVI | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XXⅥ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| | 社会学研究XXⅦ | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | " |
| | 社会学研究XXIX | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | |
| 社会240 | 社会学研究XXX | 2 | (2-0) | 2 | 前又は後 | " |

社会学講座(社会福祉学·地域福祉学)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|-------|------------------|-----|---------|------|--------|---|
| 福祉421 | 精神科リハビリテーション学 | 4 | (4-0) | 4 | 後 | 精神科領域におけるリハビリテーションの概念や 援助技術等 |
| 福祉422 | 精神保健福祉援助技術各論 | 4 | (4-0) | 4 | 前 | 精神障害者の疾病及び障害に配慮した各援助技術 論に関して具体的事例に基づいて理解を深める |
| | 社会福祉援助技術現場実習 I | 2 | (0 - 6) | 3 | 前 | 現場体験を通した専門知識、技術、関連知識の理解 |
| 福祉312 | 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ | 2 | (0 - 6) | 3 | 後 | II . |
| 福祉313 | 社会福祉援助技術現場実習Ⅲ | 2 | (0 - 6) | 3 | 後 | 現場体験を通した専門知識、技術、関連知識の理解 |
| 福祉203 | 社会福祉援助技術演習 I | 2 | (0 - 4) | 2 | 後 | 技術援助の基盤となる知識の理解と演習及び事例検討 |
| 福祉314 | 社会福祉援助技術演習Ⅱ | 2 | (0-4) | 3 | 後 | 実習の総括と援助技術のより深い理解及び事例検討 |
| 福祉205 | 障害者福祉論 I | 2 | (2-0) | 2 | 後 | 障害者福祉の理論と意義、その歴史的発展 |
| 福祉302 | 障害者福祉論Ⅱ | 2 | (2-0) | 3 | 前 | 障害者福祉の法とサービス体系 |
| 福祉305 | コミュニティワーク | 2 | (2-0) | 2 | 後 | 地域援助技術の理論と技術及び事例検討 |
| 福祉307 | | 2 | (2-0) | 3 | 後 前 | 老人福祉の理念、意義、法とサービス |
| | 老人福祉論Ⅱ | 2 | (2-0) | 3 | 後 | 老人の問題の社会的背景と処遇方法 |
| 福祉309 | 社会福祉援助技術総論 I | 2 | (2-0) | 3 | 後 | 援助活動の目的・価値・原則及び諸過程の体系 |
| 福祉310 | 社会福祉援助技術総論Ⅱ | 2 | (2-0) | 3 | 後 | 福祉専門職と専門援助技術との関係及び発達史 |
| 福祉317 | 医学一般 | 4 | (4-0) | 3 | 後 | 臨床医学の各分野及び医学的リハビリの概要 |
| 福祉318 | 社会福祉援助技術現場実習指導 I | 2 | (4 - 0) | 3 | 後 | 現場実習に向けた事前指導 |
| | 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ | 2 | (2-0) | 3 | 前 | 現場実習に関する事前、事後指導等 |
| 福祉325 | 社会福祉援助技術現場 | 2 | (2-0) | 3 | 後 | 現場実習に関する事後指導及び見学実習等 |
| | 実習指導Ⅲ | | | | | |
| | | | | | | |

社会学講座(マスコミ学)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|--|--|---|--|--|--------------|---|
| | マスコミ原論Ⅱ マスコミ実習 I | 2 2 | (2-0) (0-6) | 1 2 | 後 前 | マス・メディアの概観・社会的機能と影響 新聞の制作・夏季休暇中に3週間マス・コミ現場 で実習 |
| マスコミ 1 3 1 | マスコミ実習Ⅱ マスコミ演習 I マスコミ演習 II 卒業論文 | 2 2 2 4 | (0-6) (0-2) (0-2) (0-2) | 3 3 3 4 | 後 前 後 | テレビ番組の企画・制作 個別テーマの選定・資料収集・分析の指導・報告 専門テーマの指導を中心に演習形式で研究 卒業論文の作成 |
| マスコミ 2 2 0 マスコミ 2 3 1 マスコミ 2 3 2 マスコミ 2 4 1 マスコミ 2 4 2 マスコミ 2 5 1 マスコミ 2 5 2 マスコミ 2 6 0 マスコミ 2 7 0 | 新聞英語Ⅱ 地域と平和 大衆文化論 地域メディア論 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{c} (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (0-4) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ (2-0) \\ \end{array} $ | 2 3 3 2 2 2 2 2 3 3 3 3 | 前又は後 前又は後 | 双・式の役割分析・世論調査及び諸問題の研究 双・式の社会的影響に関する諸理論の研究 世論調査の方法・技術の修得と調査 コンピュータを利用した調査の分析 沖縄の戦後史に関連したコミュニケーション研究 新聞・放送の現場からのジャーナリズム論 英文記事講読・英文ニュースの聴取訓練 英文記事の書き方・英文ニュースの聴取訓練 ジャーナリズムと地域平和形成の諸問題研究 大衆化社会のおける式ニケーションの問題研究 映像メディアの機能・社会的影響 |

社会学講座(生活福祉論)

| 科目番号 | 授業系 | 斗 目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学 | 期 | 授 | 業 | 内 | 容 | |
|-------|------|-----|-----|-----|------|---|---|---------|---|---|---|--|
| 生福500 | 卒業論文 | | 4 | | 4 | | | 卒業論文の作成 | | | | |

地域科学講座 共通科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|----------|--------------|-----|-------|----------|----|----------------------------------|
| 地歴110 | アカデミック・リテラシー | 1 | (0-2) | 1 | 後 | 地理学,歴史学,人類学の基礎的な技能体験 |
| 地歴310 | 応用演習 I | 2 | (2-0) | 3 | | 中学社会科, 高校地歴科の教職免許取得のた めの実践的演習 |
| 地歴 3 1 1 | 応用演習Ⅱ | 2 | (2-0) | 3 | | 中学社会科,高校地歴科の教職免許取得のた めの実践的演習 |

地理学コース

| 地理学コー | ス | | | | | |
|-------|------------|-----|-------|------------|------|-----------------------------------|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学 期 | 授業内容 |
| 地理101 | 人文地理学概論 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 前 | 文化と社会をテーマにした地理学の概論 |
| 地理102 | 人文地理学概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 後 | 都市と経済との関係をテーマにした地理学の 概論 |
| 地理103 | 自然地理学概論 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 前 | 地形と土壌をテーマにした地理学の概論 |
| 地理104 | 自然地理学概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 後 | 気候と水文をテーマにした地理学の概論 |
| 地理105 | 地誌学概論 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 前 | 日本を主な対象にした地誌学の概論 |
| 地理106 | 地誌学概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $1\sim 2$ | 後 | 外国を主な対象にした地誌学の概論 |
| 地理110 | 地理空間情報学 | 2 | (2-0) | 2 | 後 | GIS の基本的機能と空間データに関する講義 |
| 地理111 | 地理学史 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 地理学および地理学理論の展開に関する講義 |
| 地理112 | 経済地理学 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 立地論などをテーマとした講義 |
| 地理113 | 歷史地理学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 過去の事象に関する地理学の講義 |
| 地理114 | 島嶼文化地理学 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 島嶼地域の文化をテーマにした地理学の講義 |
| 地理115 | 文化生態地理学 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 環境と人間とのかかわりに関する地理学の講 義 |
| 地理116 | 地形学 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 地形営力論と岩石制約論に関する講義 |
| 地理117 | 島嶼環境学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 亜熱帯島嶼地域の自然環境に関する講義 |
| 地理118 | 水文環境学 | 2 | (2-0) | $2 \sim 3$ | 前又は後 | 水循環と水収支,および水が関与する環境問題に関する講義 |
| 地理119 | 環境地理学 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 自然環境の問題や自然環境と人間社会とのか かわりに関する講義 |
| 地理121 | 人文地理学特論 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 人文地理学の特定テーマに関する講義 |
| 地理122 | 自然地理学特論 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 自然地理学の特定テーマに関する講義 |
| 地理123 | 地誌学特論 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 地誌学の特定テーマに関する講義 |
| 地理201 | 地理学実験 I | 1 | (0-2) | 2 | 前 | GIS に関連する情報処理の実習 |
| 地理202 | 地理学実験Ⅱ | 1 | (0-2) | 2 | 後 | 地理学研究に必要な技能の修得 |
| 地理203 | 地理空間分析 I | 1 | (0-2) | 3 | 前 | GIS による地図作成・空間分析の実習 |
| 地理204 | 地理空間分析Ⅱ | 1 | (0-2) | 3 | 後 | GIS による地図作成・空間分析の実習 |
| 地理301 | 地理学野外巡検・調査 | 2 | (1-3) | 2 | 前 | 調査の方法論と野外における巡検および調査 |
| 地理311 | 地理学研究 I | 2 | (1-2) | 3 | 前 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理312 | 地理学研究Ⅱ | 2 | (1-2) | 3 | 前 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理313 | 地理学研究Ⅲ | 2 | (1-2) | 3 | 前 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理314 | 地理学研究IV | 2 | (1-2) | 3 | 後 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理315 | 地理学研究V | 2 | (1-2) | 3 | 後 | 特定のテーマに関する演習 |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学 期 | 授業内容 |
|-------|----------|-----|-------|----------|------|-----------------------------|
| 地理316 | 地理学研究VI | 2 | (1-2) | 3 | 後 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理317 | 地理学研究Ⅶ | 2 | (1-2) | $2\sim4$ | 前又は後 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理318 | 地理学研究Ⅷ | 2 | (1-2) | $2\sim4$ | 前又は後 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理319 | 地理学研究IX | 2 | (1-2) | $2\sim4$ | 前又は後 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理320 | 地理学研究X | 2 | (1-2) | $2\sim4$ | 前又は後 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理321 | 地理学研究X I | 2 | (1-2) | $2\sim4$ | 前又は後 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理322 | 地理学研究XⅡ | 2 | (1-2) | $2\sim4$ | 前又は後 | 特定のテーマに関する演習 |
| 地理331 | 卒業論文演習 I | 2 | (0-2) | 3 | 前 | 地理学の卒業論文作成のために必要な指導 |
| 地理332 | 卒業論文演習Ⅱ | 2 | (0-2) | 3 | 後 | 地理学の卒業論文作成のために必要な指導 |
| 地理410 | 卒業論文 | 4 | (4-0) | 4 | 通年 | 卒業論文作成のために必要な指導と卒業論文 の作成 |

歴史学コース

| 歴史学コー | ス | | | | | |
|-------|-------------|-----|-------|------------|-----|-------------------------|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学 期 | 授業内容 |
| 歴史101 | 日本史概論 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 前 | 日本の原始・古代・中世の歴史について概観 する |
| 歴史102 | 日本史概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 後 | 日本の近世・近現代の歴史について概観する |
| 歴史103 | 東洋史概論 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 前 | 東洋の古代・中世の歴史について概観する |
| 歴史104 | 東洋史概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 後 | 東洋の近世・近現代の歴史について概観する |
| 歴史105 | 西洋史概論 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 前 | 西洋の古代・中世の歴史について概観する |
| 歴史106 | 西洋史概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 後 | 西洋の近世・近現代の歴史について概観する |
| 歴史201 | 日本史史料講読 I | 1 | (0-2) | $2 \sim 3$ | 前 | 日本史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史202 | 日本史史料講読Ⅱ | 1 | (0-2) | $2 \sim 3$ | 後 | 日本史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史203 | 日本史史料講読Ⅲ | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 前 | 日本史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史204 | 日本史史料講読IV | 1 | (0-2) | $2 \sim 3$ | 後 | 日本史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史205 | 日本史史料講読V | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 前 | 日本史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史206 | 日本史史料講読VI | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 後 | 日本史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史207 | 日本史史料講読Ⅶ | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 前 | 日本史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史208 | 日本史史料講読VIII | 1 | (0-2) | $2 \sim 3$ | 後 | 日本史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史209 | 東洋史史料講読 I | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 前 | 東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史210 | 東洋史史料講読Ⅱ | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 後 | 東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史211 | 東洋史史料講読Ⅲ | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 前 | 東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史212 | 東洋史史料講読IV | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 後 | 東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史213 | 東洋史史料講読V | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 前 | 東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史214 | 東洋史史料講読VI | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 後 | 東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史215 | 東洋史史料講読Ⅶ | 1 | (0-2) | $2 \sim 3$ | 前 | 東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史216 | 東洋史史料講読VII | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 後 | 東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史217 | 西洋史史料講読 I | 1 | (0-2) | $2 \sim 3$ | 前 | 西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史218 | 西洋史史料講読Ⅱ | 1 | (0-2) | $2 \sim 3$ | 後 | 西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学 期 | 授 業 内 容 |
|-------|------------|-----|----------------|------------|------|-------------------------------|
| 歴史219 | 西洋史史料講読Ⅲ | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 前 | 西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史220 | 西洋史史料講読IV | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 後 | 西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史221 | 西洋史史料講読V | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 前 | 西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史222 | 西洋史史料講読VI | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 後 | 西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史223 | 西洋史史料講読VII | 1 | (0-2) | $2 \sim 3$ | 前 | 西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史224 | 西洋史史料講読VII | 1 | (0-2) | $2\sim3$ | 後 | 西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する |
| 歴史301 | 日本史研究 I | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前 | 日本史の諸問題を考究する |
| 歴史302 | 日本史研究Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | 日本史の諸問題を考究する |
| 歴史303 | 日本史研究Ⅲ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前 | 日本史の諸問題を考究する |
| 歴史304 | 日本史研究IV | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | 日本史の諸問題を考究する |
| 歴史305 | 日本史研究V | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 日本史の諸問題を考究する(集中講義) |
| 歴史306 | 東洋史研究 I | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前 | 東洋史の諸問題を考究する |
| 歴史307 | 東洋史研究Ⅱ | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 後 | 東洋史の諸問題を考究する |
| 歴史308 | 東洋史研究Ⅲ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前 | 東洋史の諸問題を考究する |
| 歴史309 | 東洋史研究IV | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | 東洋史の諸問題を考究する |
| 歴史310 | 東洋史研究V | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 東洋史の諸問題を考究する(集中講義) |
| 歴史311 | 西洋史研究 I | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前 | 西洋史の諸問題を考究する |
| 歴史312 | 西洋史研究Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | 西洋史の諸問題を考究する |
| 歴史313 | 西洋史研究Ⅲ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前 | 西洋史の諸問題を考究する |
| 歴史314 | 西洋史研究IV | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 後 | 西洋史の諸問題を考究する |
| 歴史315 | 西洋史研究V | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 西洋史の諸問題を考究する(集中講義) |
| 歴史316 | 史学概論 | 2 | (2 - 0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 史学史、歴史理論、歴史学的方法論等につい て概観する |
| 歴史331 | 卒業論文演習 I | 2 | (0-2) | 3 | 前 | 歴史学の卒業論文作成のために必要な指導 |
| 歴史332 | 卒業論文演習Ⅱ | 2 | (0-2) | 3 | 後 | 歴史学の卒業論文作成のために必要な指導 |
| 歴史410 | 卒業論文 | 4 | (4-0) | 4 | 通年 | 卒業論文作成のために必要な指導と卒業論文 の作成 |

人類学コース

| 八規サー | ^ | | | | | |
|-------|-----------|-----|-------|------------|-----|--|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学 期 | 授業内容 |
| 人類101 | 社会人類学概論 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 前 | 社会人類学の概要 |
| 人類102 | 社会人類学概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 後 | 社会人類学の各論 |
| 人類103 | 考古学概論 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 前 | 考古学の概要 |
| 人類104 | 考古学概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 後 | 考古学の各論 |
| 人類105 | 民俗学概論 I | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 前 | 民俗学の概要 |
| 人類106 | 民俗学概論Ⅱ | 2 | (2-0) | $1 \sim 2$ | 後 | 民俗学の各論 |
| 人類201 | 人類学実習 I | 2 | (1-3) | $2\sim3$ | 前 | 1組(社会人類学の現地調査実習), 2組 (考古学の現地調査実習), 3組(民俗学の 現地調査実習) |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学期 | 授業内容 |
|----------|------------|-----|----------------|----------|------|--|
| 人類202 | 人類学実習Ⅱ | 2 | (1-3) | $2\sim3$ | 前 | 1組(社会人類学の現地調査実習), 2組 (考古学の現地調査実習), 3組(民俗学の 現地調査実習) |
| 人類203 | 社会人類学調査法 I | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 | 社会人類学の調査研究法について |
| 人類204 | 社会人類学調査法Ⅱ | 2 | (2 - 0) | $2\sim3$ | 後 | 社会人類学の調査研究法について |
| 人類205 | 考古学研究方法論I | 2 | (2 - 0) | $2\sim3$ | 後 | 考古学の調査研究法について |
| 人類206 | 考古学研究方法論Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 | 考古学の調査研究法について |
| 人類207 | 民俗学調査法 I | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 | 民俗学の調査研究法について |
| 人類208 | 民俗学調査法Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 | 民俗学の調査研究法について |
| 人類301 | 社会人類学学説史 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 社会人類学の学説史に関する講義 |
| 人類302 | 民族誌I | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 世界各地の民族誌に関する講義 |
| 人類303 | 民族誌Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 世界各地の民族誌に関する講義 |
| 人類304 | 民族誌Ⅲ | 2 | (2 - 0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 世界各地の民族誌に関する講義 |
| 人類305 | 民族誌IV | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 世界各地の民族誌に関する講義 |
| 人類306 | 社会人類学研究 I | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会人類学の特定テーマに関する講義 |
| 人類307 | 社会人類学研究Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会人類学の特定テーマに関する講義 |
| 人類308 | 社会人類学研究Ⅲ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会人類学の特定テーマに関する講義 |
| 人類309 | 社会人類学研究IV | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会人類学の特定テーマに関する講義 |
| 人類310 | 社会人類学研究V | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会人類学の特定テーマに関する講義 |
| 人類311 | 社会人類学研究VI | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 社会人類学の特定テーマに関する講義 |
| 人類 3 1 2 | 沖縄民俗社会論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 沖縄の民俗社会に関する講義 |
| 人類313 | 考古学史 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の歩みについての講義 |
| 人類314 | 考古学研究 I | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類315 | 考古学研究Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類316 | 考古学研究Ⅲ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類317 | 考古学研究IV | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類318 | 考古学研究V | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類319 | 考古学研究VI | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類320 | 考古学研究VII | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類321 | 考古学研究Ⅷ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類322 | 考古学研究Ⅸ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類323 | 考古学研究X | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は語 | 考古学の特定テーマに関する講義 |
| 人類324 | 沖縄考古学論 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 琉球列島の考古学についての講義 |
| 人類325 | 民俗学史 | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民俗学の歩みについての講義 |
| 人類326 | 民俗学研究 I | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民俗学の特定テーマに関する講義 |
| 人類327 | 民俗学研究Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民俗学の特定テーマに関する講義 |
| 人類328 | 民俗学研究Ⅲ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民俗学の特定テーマに関する講義 |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学 期 | 授業内容 |
|-------|-----------|-----|-------|------------|------|--|
| 人類329 | 民俗学研究IV | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民俗学の特定テーマに関する講義 |
| 人類330 | 民俗学研究V | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民俗学の特定テーマに関する講義 |
| 人類331 | 民俗学研究VI | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民俗学の特定テーマに関する講義 |
| 人類332 | 民俗学研究Ⅶ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民俗学の特定テーマに関する講義 |
| 人類333 | 民俗学研究Ⅷ | 2 | (2-0) | $2\sim4$ | 前又は後 | 民俗学の特定テーマに関する講義 |
| 人類341 | 卒業論文演習 I | 2 | (0-2) | 3 | 前 | 1組(社会人類学の卒業論文作成のための演習), 2組(考古学の卒業論文作成のための演習), 3組(民俗学の卒業論文作成のための演習) |
| 人類342 | 卒業論文演習 II | 2 | (0-2) | 3 | 後 | 1組(社会人類学の卒業論文作成のための演習),2組(考古学の卒業論文作成のための演習),3組(民俗学の卒業論文作成のための演習) |
| 人類410 | 卒業論文 | 4 | (4-0) | 4 | 通年 | 卒業論文の指導と作成 |
| 人科301 | 博物館概論 | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前又は後 | 博物館学の概要についての講義 |
| 人科302 | 博物館学各論 I | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 前 | 博物館の資料・情報・経営等についての講義 |
| 人科303 | 博物館学各論Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 | 博物館の資料・情報・経営等についての講義 |
| 人科304 | 博物館実習 I | 1 | (0-3) | $3 \sim 4$ | 前 | 博物館実習の基礎 |
| 人科305 | 博物館実習Ⅱ | 2 | (0-3) | $3\sim4$ | 前又は後 | 博物館での実習 |

履修コースと専攻課程の対応表 人間科学科

| | 履 | | 1 | 修 | | Ξ | ı | | _ | | | ス |
|---------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|
| 履修コース | 2 | 昼 | | | | 間 | j | | | | 主 | |
| | 哲 | 教 | 社 | 臨 | 人 | 社 | 社 | マ | 生 | 地 | 歴 | 人 |
| | 学 | 育 | 会 | 床 | 間 | | 会 | ス・ | 活 | | | |
| | • | 社 | 心 | 心 | 行 | 会 | 福 | П | 福 | 理 | 史 | 類 |
| 事攻課程 | 倫 | 会 | 理 | 理 | 動 | | 祉 | 111 | 祉 | | | |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 理 | 学 | 学 | 学 | 論 | 学 | 学 | 学 | 論 | 学 | 学 | 学 |
| 人 間 行 動 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 社 会 学 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 地理歴史人類学 | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 |

(2) 履修コース別履修要件

人間科学科 人間行動専攻課程履修要件

学科基礎科目(必修)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授 | 業科 | 目 | 単位 | 年 次 | 学 | 期 | 備 | 考 |
|--------|-----------|----|-----|------|----|------|---|----|---|----|-----|---|---|---|---|
| 人間 101 | 人間科学科基礎演習 | 2 | 1 | 前又は後 | | | | | | | | | | | |

人間行動専攻課程 コース・コア科目 (選択)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備 | 考 |
|------|-----------------|-----|-----|--------------|----|------|-----------------|-----|--------|--------------|---|---|
| | 哲学入門 教育社会学入門 | 2 2 | | 前又は後 前又は後 | | | 調査統計入門 心理学概論 | 2 2 | 1 1 | 前又は後 前又は後 | | |

注1) 上記の科目の中から、3科目6単位以上を履修すること。

哲学・倫理コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備者 |
|------------------|--|------------------|---|------------------------------|----|------------------|---|------------------|-----------------------|------------------------------|----|
| 哲倫 234 哲倫 232 | 哲学基礎演習 I 倫理学基礎演習 I 哲学基礎演習 Ⅱ 倫理学基礎演習 Ⅱ | 2 2 2 2 | $\begin{array}{c} 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \end{array}$ | 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | | 哲倫 206 哲倫 207 | 古代・中世哲学史 近世・現代哲学史 哲学の諸問題 倫理学の諸問題 | 2 2 2 2 | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | |

哲学・倫理コース コース関連科目 (選択)

| 科目番号 | 授 | 業 | 科 | | 単位 | 年 | 次 | 学 | 期 | 備考 | 科目 | 番号 | 授 | 業 | 科 | 目 | 単位 | 年 | 次 | 学 | 期 | 備 | 考 |
|---------------------------------------|---|--|-----------|----|---|---------------------------------------|---|------------------------|-----------------------|----|-----------------------|---|---|--|-------------------------|---|---|---|---|--|--|---|---|
| 哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲 | 倫論認古中近東東記記言生環比世科人論原原理理知代世世洋洋号号語命境較界学工理典典学学哲ののののので行・哲倫倫思のと知学講講 | 原概学哲哲哲哲哲動人学理理想宗哲能と読読論論 学学学学学論間 論教学と哲ⅠⅡ | 思思思思 ・ 心の | 化論 | 2 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 4 | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | ははははははははははははははははははははは | | 哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲哲 | 3 230 3 231 3 231 3 236 3 237 3 238 3 239 3 240 3 241 3 242 3 243 3 244 4 245 5 246 6 247 7 248 6 247 7 248 7 | 社社社哲倫倫倫応応哲哲倫倫倫哲哲ド人人卒卒会会会学理理理用用学学理理理学学イ間間業業思哲哲基学学学倫倫のの学学学討討ツ行行研研 | 学学礎基実実理理諸諸のの実論論思動動究ⅠⅡ演礎習習学学問問諸諸習ⅠⅡ想演演Ⅰ | 演ⅠⅡⅠⅡ題題問問Ⅲ 習習 Ⅲ Ⅲ Ⅲ 週題題 | П | 2 | | 4 | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | はははははははははははははははははははは後後後後後後後後後後後後後後後後後後 | | |

注1) この他、人間科学科に属する他履修コースの提供科目は、「卒業研究」を除きすべて哲学・倫理履修コースのコース関連科目となる。

教育社会学コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 |
|------------------|---|------------------|--------------------------------------|---------------------------|----|------------------|--|------------------|-------------------------------|------|----|
| 教社 209 教社 210 | 教育社会学 生涯学習と学校教育 教育社会学研究 英語文献購読 I | 2 2 2 2 | $2 \sim 3$ $2 \sim 3$ 4 $2 \sim 4$ | 前又は後 前 前又は後 前又は後 | | 教社 352 心理 301 | 教育社会学演習 I 教育社会学演習 Ⅱ 社会心理学 臨床心理学 | 2 2 2 2 | $2 \sim 3$ $2 \sim 3$ 3 3 | 前後前後 | |

教育社会学コース コース関連科目 (選択)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備 | 考 |
|--|--|---|---|--|----|--|--|---|--------|--|---|---|
| 教社 203 教社 204 教社 205 教社 207 教社 218 教社 213 教社 213 教社 223 教社 223 教社 223 教社 223 教社 223 教社 223 | 地域社会と学習・文化 教育学社会史 教育哲経常 教育哲経常報 教育哲経常報 教育課 教育程 教育程 教育程 教育程 教育 表 教育 表 教育 表 教育 表 教育 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $2 \sim 3 \\ 2 \sim 3 $ | 前前前前前前 前前前前前前前前前前 以又又又又又後又又又又又又又又又又又又又又又 | | 教社 239 教社 240 教社 241 教社 242 教社 298 教社 303 教社 304 教社 365 教社 366 教社 398 教社 498 | 社社社教教英人道特社社人 教教有言語間徳別会会有 育語間値別 会会会育育語間徳別会会 有情に 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 | 2 | 3 3 | 後前後前後以前以下 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 後 前後 は 後 後 後 後 後 | | |

注1)この他、人間科学科に属する他履修コースの提供科目は、「卒業研究」を除きすべて教育社会学履修コースのコース関連科目となる。

社会心理学コース 必修科目

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 |
|------------------|-------------------------------------|------------------|------------------|------------------------------|----|------------------|---------------------------------------|------------------|------------------|------------------------------|----|
| 心理 203 心理 206 | 心理学原論 心理学研究法 心理学実験演習 社会心理学 | 2 2 2 2 | 2 3 2 2 | 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | | 心理 303 心理 308 | 心理検査法実習 認知心理学 心理学統計法 社会心理学演習 | 2 2 2 2 | 3 3 3 4 | 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | |

社会心理学コース コース関連科目 (選択)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備 | 考 |
|--|------------------------|---|--|--|----|--|--|---|---------------------------------------|--------------------------------------|---|---|
| 心理 204 心理 205 心理 207 心理 208 心理 210 心理 304 心理 305 心理 306 心理 310 心理 311 心理 312 | 適応のの理学 生非行との理学 ・ | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $\begin{array}{c} 2 \sim 4 \\ 3 \\ 3 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 3 \end{array}$ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | | 心理 315 心理 402 心理 403 心理 404 心理 405 心理 407 心理 408 心理 409 心理 410 心理 411 心理 412 心理 498 | 発ゲ人臨人心心理学 を達って行い心では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | 2 | 3 4 $2 \sim 4$ 4 4 $3 \sim 4$ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | | |

注1) この他、人間科学科に属する他履修コースの提供科目は、「卒業研究」を除きすべて社会心理学履修コースのコース関連 科目となる。

臨床心理学コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 |
|------------------|-------------------------------------|------------------|------------------|------------------------------|----|------------------|---------------------------------------|------------------|------------------|------------------------------|----|
| 心理 203 心理 206 | 心理学原論 心理学研究法 心理学実験演習 臨床心理学 | 2 2 2 2 | 2 3 2 2 | 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | | 心理 303 心理 308 | 心理検査法実習 認知心理学 心理学統計法 臨床心理学演習 | 2 2 2 2 | 3 3 3 4 | 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | |

臨床心理学コース コース関連科目(選択)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備 | 考 |
|--|--|---|---|--|----|--|--|---|--|--|---|---|
| 心理 204 心理 205 心理 207 心理 208 心理 210 心理 301 心理 305 心理 306 心理 310 心理 311 心理 312 | 適応のの理学 生非行と理学 非行心理学 外国文献講読 I 精神医学 外国文献講読 I 精神医学 演習 I 社会心心理学 等調学 臨床文献献心理学 発達心理理学講問 発達心理学 文化シンセリング カウンセリング 演習 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 3 \\ 2 \sim 4 \\ 3 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 3$ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | | 心理 315 心理 401 心理 403 心理 404 心理 405 心理 407 心理 408 心理 409 心理 410 心理 411 心理 412 心理 498 | 発デース (1) を (2) を (2) を (3) を (4) | 2 | $3 \sim 4$ 3 4 $2 \sim 4$ 4 $3 \sim 4$ $3 \sim 4$ $4 \sim 4$ | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | | |

注1)この他、人間科学科に属する他履修コースの提供科目は、「卒業研究」を除きすべて臨床心理学履修コースのコース関連科目となる。

人間行動論総合コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|------------------|-------------------------------------|------------------|------------|------------------------------|----|------------------|-----------------------------------|------------------|------------------|------------------------|----|
| 哲倫 208 教社 201 | 哲学の諸問題 倫理学の諸問題 教育社会学 学校社会学 | 2 2 2 2 | $2 \sim 4$ | 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | | 心理 301 心理 303 | 心理学研究法 社会心理学 認知心理学 臨床心理学 | 2 2 2 2 | 3 3 3 3 | 前又は後 前 前又は後 後 | |

人間行動論総合コース コース関連科目(選択)

| 科目番号 | 授 | 業 | 科 | 目 | 単位 | 年 | 次 | 学 | 期 | 備 | 考 | 科目番号 | 授 | 業 | 科 | 目 | 単位 | 年 | 次 | 学 | 期 | 備 | 考 |
|------------------|--------------------------|-------|---|---|------------------|-------------|--------|-------|---|---|---|------|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|
| 総人 398 総人 498 | 人間行 人間行 卒業研 卒業研 | 動演究 I | | | 2 2 2 2 | 3 4 4 | } [| 前双对前前 | | | | | | | | | | | | | | | |

注1)この他、人間科学科に属する 他履修コースの提供科目は、「卒業研究」を除きすべて人間行動論総合履修コースの コース関連科目となる。

人間科学科 社会学専攻課程履修要件

学科基礎科目(必修)

| 科目番号 | - 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授 | 業 | 科 | 目 | 単位 | 年 次 | 年 | 次 | 備 | 考 |
|-------|-----------|----|-----|------|----|------|---|---|---|---|----|-----|---|---|---|---|
| 人間 10 | 人間科学科基礎演習 | 2 | 1 | 前又は後 | | | | | | | | | | | | |

社会学専攻課程 コース・コア科目 (選択)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--------|------|-------------|-------------|-------------------|----|----------|------------------------------|-------------|-------------|-----|----|
| 社会 201 | | 2 2 2 | 1 1 1 | 前又は後 前又は後 前 | | マスコミ 111 | 地域福祉論 マス・コミ原論 I マス・コミ史 | 2 2 2 | 3 1 2 | 前前前 | |

- 注1)上記の科目の中から、履修コースの提供科目を含めて4科目8単位以上を履修すること。
- 注2) マスコミ学履修コースの学生は「マスコミ原論 I 」以外の科目(ただし「マスコミ史」を含む)を4科目8単位以上履修すること。

社会学コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 |
|------------------|--|------------------|------------------|------------------------------|----|----------------------------|---|-----------------------|-----------------------|---|----|
| 社会 103 社会 111 | 社会学原論Ⅱ 国際比較社会学Ⅰ 社会学実習Ⅰ 社会学実習Ⅱ | 2 2 2 2 | 2 2 2 2 | 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | | 社会 122 社会 123 社会 124 | 社会学演習 I 社会学演習 II 社会学演習Ⅲ 社会学演習Ⅳ 卒業論文 | 1 1 1 1 4 | 3 3 4 4 4 | 前又は後 前又はは 前又はは は は 後 後 後 後 後 通 て は は は は は は は は る に る に る の る の る の る の る の る の る の る の | |

社会学コース コース関連科目 (選択)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業和 | 1 | 単位 | 年 次 | 学 其 | 期 | 備 | 考 |
|--|--|---|---|--|----|--|---|--|---|---|--|----------------|---|---|
| 社会 202 社会 211 社会 212 社会 213 社会 214 社会 216 社会 217 社会 218 社会 220 社会 221 社会 222 社会 222 | 国際比較在 社会学II 社会学学研究II 社会学学研究II 社会学学研究VI 社会学学研究VI 社会学学研究VI 社会学学研究VI 社会学学研究XII 社会学学研究XII 社会学学研究XII 社会学学研究XII 社会学学研究XIII 社会学研究XIII 社会学研究XIII | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | | 社会 226 社会 227 社会 228 社会 229 社会 230 社会 231 社会 232 社会 234 社会 235 社会 236 社会 237 社会 238 | 社会会学学学研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研 | VI VII VII IX X X I X II X II X III X IV X V X | 2 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前 | 後後後後後後後後後後後後後後 | | |

注1)この他、人間科学科に属する他履修コースの提供科目は、卒業論文を除き、すべて社会学履修コースのコース関連科目とする。

社会福祉学・地域福祉学コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--------|---------------|----|-----|-----|----|--------|----------------------|---------------|--------|--------|--------------------|
| 福祉 202 | 社会福祉原論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | | | 社会福祉演習 I 社会福祉演習 Ⅱ | 2 | 3 4 | 後 前 | 演習は「社 会福祉演 |
| 福祉 361 | 相談援助実習I | 2 | 3 | 集中 | | 福祉 403 | 地域福祉演習 I 地域福祉演習 I | 2 2 | 3 | 後前 | 芸価征便習」ないし 「地域福祉 |
| 福祉 362 | 相談援助実習Ⅱ | 2 | 3 | 集中 | 3 | 福祉 501 | | $\frac{2}{4}$ | 4 | וימ | 演習」のいずれかを |
| 福祉 204 | ソーシャルケースワーク Ι | 2 | 2 | 前 | | | | | | | 選択する |
| | | | | | | | | | | | |

社会福祉学・地域福祉学コース コース関連科目(選択)

| 科目番 | 号 | 授 | 業 | 科 | 目 | 単位 | 年 | 次 | 学 | 期 | 備 | 考 | 科目 | 番号 | 授 | 業 | 科 | 目 | 単位 | 年 | 次 | 学 | 期 | 備 | 考 |
|-------|----|-------|----|----|--------|-----|---|-----|-------------|----------|---|---|----------|-----|-----|----|---------------|------------|----|---|---|----|------------|---|---|
| 福祉 30 | | | | | | 2 | 2 | 2 | 名 名 育 | 复 | | | 福祉 | 260 | | | | 常生活 | 4 | 4 | 2 | 育 | ÍĴ | | |
| 福祉 25 | | | | | | 2 | 2 | 2 | To the | 矣 | | | | | 行動に | | | | | | _ | , | | | |
| 福祉 36 | | | | | | 2 | 3 | | II. | īj '' | | | 福祉 | 261 | | 障害 | に関 | する理 | 4 | 2 | 2 | 仓 | 矣 | | |
| 福祉 36 | | | | | | 2 | 3 | | î | 复 | | | | | 解 | | | _ | | | | , | , | | |
| 福祉 25 | | | | | | 2 | 2 | 2 | î | | | | | | 精神保 | | | | 4 | | 3 | 育 | | | |
| 福祉 20 | | | | | | 2 2 | 2 | 2 | | は後 | | | | | 精神保 | | | Ш | 2 | | 3 | 仓 | 矣 | | |
| 福祉 20 | | | | | | | | | | は後 | | | | | 福祉住 | | | /let =0.10 | 2 | | 3 | 育 | | | |
| 福祉 20 | | | | | | 2 | | - 3 | 往 | | | | 福祉 | 325 | | | 助技 | 術現場 | 2 | | 3 | 仓 | 矣 | | |
| 福祉 30 | | | | | | 2 | 2 | | 前又 | | | | 1 - 1. 1 | | 実習指 | | > | | | | | , | <i>/</i> . | | |
| 福祉 30 | | | | ¬. | | 2 | 2 | 2 | 往 | 矣 | | | | | 社会福 | | | | 2 | | 4 | 育、 | | | |
| 福祉 35 | | | | 論 | | 2 | 3 | | 自 | | | | | | 社会福 | | | | 2 | | 4 | 育 | | | |
| 福祉 36 | | | | | . V. – | 2 | 3 | | î | 发 | | | | | 社会福 | | 制Ⅱ | | 2 | | 4 | 仓 | 矣 | | |
| 福祉 36 | | | | | | 2 | 2 | 2 | 包育 | 发 | | | | | 社会保 | | | | 2 | | 2 | 育 | | | |
| 福祉 36 | | | | | | 2 | 5 | | É | ÍJ | | | | | 生活構 | | | | 2 | | 4 | 仓 | 复 | | |
| 福祉 37 | | 11.10 | | 習指 | 導Ⅲ | 2 | 3 | | 仓 | 发 | | | | | 社会福 | | | | 2 | | 4 | À | ÍJ | | |
| 福祉 3 | | | | | | 2 | 3 | | Ŷ. | 爱 | | | | | | | 文南 | 研究Ⅱ | 2 | | 4 | 仓 | | | |
| 福祉 32 | | | | | | 2 | 2 | | 自 | ίj | | | | | 家族療 | | | | 2 | | 4 | 仓 | 矣 | | |
| 福祉 32 | | | | | | 4 | 3 | | î | 矣 | | | | | 社会福 | | | | 2 | | 4 | 育 | | | |
| 福祉 35 | | | | | | 2 | 3 | | 育 | ĺj | | | | | 社会福 | | | | 2 | 4 | 4 | 仓 | 筻 | | |
| 福祉 35 | | | | | | 2 | 3 | | 仓 | 筻 | | | | | 社会福 | | | | 2 | | 4 | 育 | | | |
| 福祉 35 | | | | | | 2 | 3 | | 育 | Íj | | | | | | | | 助演習 | 2 | | 4 | È | ίj | | |
| 福祉 36 | | | | | ク論Ⅱ | 2 | 3 | 3 | 往 | É | | | | | | | | b実習 I | 1 | | 4 | | ÍΪ | | |
| | | 社会学 | | | | 2 | 1 | | 往 | 髮 | | | | | | | | カ実習 Ⅱ | 4 | 4 | 4 | 仓 | | | |
| 福祉 25 | 57 | 社会福 | 祉運 | 営管 | 理論 | 2 | 2 | 2 | 育 | Íj | | | | | 精神保 | | :援助 | 実習Ⅲ | 1 | 4 | 4 | 仓 | 筻 | | |
| | | | | | | | | | | | | | 福祉 | 420 | 精神医 | 学 | | | 4 | 4 | 4 | 自 | ίj | | |

社会福祉学・地域福祉学コース コース関連科目(選択)

| 科目番 | 番号 | 授 | | 科 | I | 単位 | 年 | 次 | 学 | 期 | 備 | 考 | 科目 | 番号 | į | 受 | 業 | 科 | 目 | 単位 | 年 | 次 | 学 | 期 | 備 | 考 |
|-----|-----|-------------------------|---------|-------------|------|----|---|---|---|----------|---|---|------|-----|-----|---|------|---|----|--------------------------------------|-----|---|--------|---|---|---|
| 福祉。 | 421 | 精神科リョン学 | ハヒ | ニリ : | テーシ | 4 | 4 | | î | 发 | | | | 307 | | | | | | 2 2 | 6.0 | | 自 | | | |
| 福祉 | 422 | 精神保健 各論 | 福祉 | 上援」 | 助技術 | 4 | 4 | | 育 | 前 | | | 福祉 | 306 | コミ | ュ | ニテ | | ーク | $\begin{bmatrix} 2\\4 \end{bmatrix}$ | 9 | 3 | i i | 爱 | | |
| 福祉: | 389 | 保健医療 | 概詣 | À | | 2 | 3 | | â | 爰 | | | ти т | 011 | E 1 | , | ~1.X | | | 1 | | | E | ~ | | |
| | | 権利擁護厚生保護 | • 成 | | 後見・ | 2 | 3 | | î | 参 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福祉: | 366 | 地域福祉 | | 1論 | と方法 | 2 | 3 | | 自 | 前 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会福祉実習指導 | :援助 | | | | 2 | | î | 发 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福祉: | 319 | 社会福祉 | :援助 | 力技行 | 術現場 | 2 | 3 | , | 育 | 前 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福祉: | 325 | 社会福祉 | :援助 | 力技行 | 術現場 | 2 | 3 | | ŧ | 发 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福祉: | 311 | 社会福祉 実習 I | | 力技行 | 術現場 | 2 | 2 | , | 集 | 中 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福祉: | 312 | 美百 I 社会福祉 実習 II | :援助 | 力技行 | 術現場 | 2 | 3 | | 集 | 中 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福祉: | 313 | 美百 II 社会福祉 実習 III | :援助 | 力技行 | 術現場 | 2 | 3 | , | ŧ | 发 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福祉 | 203 | 社会福祉 | 爰助排 | 支術 | 演習 [| 2 | 2 | | ŕ | 爰 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会福祉 | | | | 2 | 3 | | 自 | 爰 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 障害者福 | | | | 2 | 2 | | 往 | 发 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 障害者福 | | | | 2 | 3 | | Î | ń | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

注1)この他、人間科学科に属する他履修コースの提供科目は、卒業論文を除き、すべて社会福祉学履修コースのコース関連科目とする。

マスコミ学コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 |
|----------------------|--|------------------|------------------|------|----|------|---------------------------------|-------------|-------------|----|----|
| マスコミ 112 マスコミ 121 | マス・コミ原論 I マス・コミ原論 II マス・コミ実習 I マス・コミ実習 II | 2 2 2 2 | 1 1 2 3 | 前後前後 | | | マス・コミ演習 I マス・コミ演習 II 卒業論文 | 2 2 4 | 3 3 4 | 前後 | |

マスコミ学コース コース関連科目(選択)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 |
|--|--|---------------------------------|-----------------------|--------|----|----------------------------------|---|----------------------------|----------------------------|--|----|
| マスコミ 220 マスコミ 231 マスコミ 232 マスコミ 241 | マスコミ調査分析 マスコミュニケーション理論 情報と社会 I 情報と社会 II マスコミ特殊講義 I マスコミ特殊講義 I | 2 2 2 2 2 2 2 | 2 3 3 2 2 | 後後前後前前 | | マスコミ 252 マスコミ 260 マスコミ 270 | 新聞英語 I 新聞英語 II 地域と平和 大衆文化論 地域メディア論 映像論 | 2 2 2 2 2 2 | 2 2 3 3 3 3 | 前 後 前又は後 前又は後 前又は後 前又は後 | |

注1)この他、人間科学科に属する他履修コースの提供科目は、卒業論文を除き、すべてマスコミ学履修コースのコース関連科目とする。

生活福祉論総合コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科 | 目位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--------|-----------------------------|-------------|-------------|----------------|--------------------|--------|------------------------------|-------|-----|-----|----|
| 福祉 206 | 社会福祉原論Ⅱ 児童福祉論Ⅰ 高齢者福祉論 | 2 2 2 | 1 2 3 | 後 前又は後 後 | 原論 I 取得者 に限る | 福祉 402 | 社会福祉演習 I 社会福祉演習 Ⅱ 卒業論文 | 2 2 4 | 4 | 後前 | |
| 福祉 361 | 相談援助実習I | 2 | 3 | 集中 | | | | | | | |

生活福祉論総合コース コース関連科目(選択)

| | | | 単 | | | | | | | 単 | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---|---|--|--|----|---|---|-----|---|--|--|---|---|
| 科目番号 | 授業 | 科目 | 位 | 年 次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 | 業科目 | 位 | 年 次 | 学期 | 備 | 考 |
| 福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福福 | 医学概論 相談援助実 相談援助実 相談援助実 | 習習習論Ⅱヮ 習習習 一とワワⅡ営びるに 論成 理助 助 助 助 助 財 財工工Ⅲ ウ 指指指 ビ福ーー 管日理関 年 論技 技 技 技 術術IⅡⅢ ウ 導導導 ス祉クク 理常解す 後 と術 術 術 術 術 術 衛 演習習 ⅠⅢⅢ 論計論論 論生 る 見 方現 現 現 現 現 習習 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 22222222222222242222244 4 22 22 2 2 2 2 | $\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 前 前 前 集後前後後以前又前後後前後後後後前後前後後前前 後 後後 前後 前 後 中 中 後 後前後前後後 後後 前後 前後 前 後 中 中 後 後前後前 後 後 後 一 中 中 後 後前後前 しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しん | | 福祉 317 福祉 322 福祉 323 福祉 405 福福祉 406 福福祉 407 福祉 408 福福祉 410 福福祉 411 413 福福祉 414 414 415 414 414 416 417 418 418 419 419 419 410 411 411 412 413 414 414 415 416 417 418 418 419 419 419 419 419 419 419 419 419 419 | 老コ医精精福社実社社社社生社社家社社社精精精精精制以外が学神神社会習会会会会活会会族会会会神神神神神神と一般保保福指福福福保構福福療福福福保保保保医科学和二般健健環和導和和祖障造社社法和和祖健健健健学リ | ■ | 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 4 4 1 4 4 4 4 | 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 | 前後前後前後後後前前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前 | | |

注1)この他、人間科学科に属する他履修コースの提供科目は、卒業論文を除き、すべて生活福祉総合履修コースのコース 関連科目とする。

人間科学科 地理歴史人類学専攻課程履修要件

学科基礎科目(必修)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|-------|-----------|----|-----|-----|----|------|------|----|-----|-----|----|
| 人間101 | 人間科学科基礎演習 | 2 | 1 | 前 | | | | | | | |

地理学コース 必修科目

| <u> </u> | 7. ADDITE | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|----|----------|-----|----|-------|--------------|----|----------|-----|----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
| 地理101 | 人文地理学概論 I | 2 | $1\sim2$ | 前 | | 地理106 | 地誌学概論Ⅱ | 2 | $1\sim2$ | 後 | |
| 地理102 | 人文地理学概論Ⅱ | 2 | $1\sim2$ | 後 | | 地歴110 | アカデミック・リテラシー | 1 | 1 | 後 | |
| 地理103 | 自然地理学概論I | 2 | $1\sim2$ | 前 | | 地理331 | 卒業論文演習 I | 2 | 3 | 前 | |
| 地理104 | 自然地理学概論Ⅱ | 2 | $1\sim2$ | 後 | | 地理332 | 卒業論文演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | |
| 地理105 | 地誌学概論 I | 2 | $1\sim2$ | 前 | | 地理410 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | |

地理学コース コース・コア科目(選択)

| 地柱于一 | <i>X</i> = <i>X</i> = <i>Z</i> | 7T II | (1251)() | | | | | | | | |
|-------|--------------------------------|-------|----------|----------|-----|-------|---------|----|-------|----------|-----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講 年次 | 学 期 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講 年次 | 学 期 |
| 地理201 | 地理学実験 I | 1 | (0-2) | 2 | 前 | 地理313 | 地理学研究Ⅲ | 2 | (1-2) | 3 | 前 |
| 地理202 | 地理学実験Ⅱ | 1 | (0-2) | 2 | 後 | 地理314 | 地理学研究IV | 2 | (1-2) | 3 | 後 |
| 地理301 | 地理学野外巡検・調査 | 2 | (1-3) | 2 | 前 | 地理315 | 地理学研究V | 2 | (1-2) | 3 | 後 |
| 地理311 | 地理学研究 I | 2 | (1-2) | 3 | 前 | 地理316 | 地理学研究VI | 2 | (1-2) | 3 | 後 |
| 地理312 | 地理学研究Ⅱ | 2 | (1-2) | 3 | 前 | | | | | | |

注1) 以上の選択科目(コース・コア科目)の中から6単位以上を履修すること。ただし、地理学実験 I 、地理学実験 I 、地理学事外巡検・調査の4単位を含むこと。

注2) 以上の選択科目 (コース・コア科目) の中から6単位を超過した分は選択科目 (コース関連科目A群) に振り替えることができ

地理学コース コース関連科目(選択)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講年次 | 年次 学 期 科目番号 授業科目 単位 週時間 受講 | | | | | | | | 期 |
|-------|--------------|----|-----|------|----------------------------|-------|-------------|-----|--------|----------|--|--|---|
| コース関連 | E科目A群 | | - | | | コース関連 | 直科目 B 群 | | | - | | | |
| 地理学コー | -ス提供の科目から12基 | | | | <u>)</u> | 歴史学およ | こび人類学コース提供の | の科目 | から12単位 | <u>.</u> | | | |

歴史学コース 必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|-------|---------|----|----------|-----|----|-------|--------------|----|-----|-----|----|
| 歴史101 | 日本史概論 I | 2 | 1~2 | 前 | | 歴史106 | 西洋史概論Ⅱ | 2 | 1~2 | 後 | |
| 歴史102 | 日本史概論Ⅱ | 2 | $1\sim2$ | 後 | | 地歴110 | アカデミック・リテラシー | 1 | 1 | 後 | |
| 歴史103 | 東洋史概論 I | 2 | 1~2 | 前 | | 歴史331 | 卒業論文演習 I | 2 | 3 | 前 | |
| 歴史104 | 東洋史概論Ⅱ | 2 | $1\sim2$ | 後 | | 歴史332 | 卒業論文演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | |
| 歴史105 | 西洋史概論 I | 2 | $1\sim2$ | 前 | | 歴史410 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | |

歴史学コース コース・コア科目(選択)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 |
|-------|------------|----|-------|----------|-----|-------|-----------|----|-----|----------|-----|
| 歴史201 | 日本史史料講読 I | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 前 | 歴史213 | 東洋史史料講読V | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 前 |
| 歴史202 | 日本史史料講読Ⅱ | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 後 | 歴史214 | 東洋史史料講読VI | 1 | 0-2 | 2~3 | 後 |
| 歴史203 | 日本史史料講読Ⅲ | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 前 | 歴史215 | 東洋史史料講読Ⅶ | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 前 |
| 歴史204 | 日本史史料講読IV | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 後 | 歴史216 | 東洋史史料講読Ⅷ | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 後 |
| 歴史205 | 日本史史料講読V | 1 | 0 - 2 | $2\sim3$ | 前 | 歴史217 | 西洋史史料講読I | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 前 |
| 歴史206 | 日本史史料講読VI | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 後 | 歴史218 | 西洋史史料講読Ⅱ | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 後 |
| 歴史207 | 日本史史料講読VII | 1 | 0 - 2 | $2\sim3$ | 前 | 歴史219 | 西洋史史料講読Ⅲ | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 前 |
| 歴史208 | 日本史史料講読WII | 1 | 0 - 2 | $2\sim3$ | 後 | 歴史220 | 西洋史史料講読IV | 1 | 0-2 | 2~3 | 後 |
| 歴史209 | 東洋史史料講読I | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 前 | 歴史221 | 西洋史史料講読V | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 前 |
| 歴史210 | 東洋史史料講読Ⅱ | 1 | 0 - 2 | $2\sim3$ | 後 | 歴史222 | 西洋史史料講読VI | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 後 |
| 歴史211 | 東洋史史料講読Ⅲ | 1 | 0 - 2 | $2\sim3$ | 前 | 歴史223 | 西洋史史料講読Ⅶ | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 前 |
| 歴史212 | 東洋史史料講読IV | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 後 | 歴史224 | 西洋史史料講読Ⅷ | 1 | 0-2 | $2\sim3$ | 後 |

- 注1)以上の選択科目(コース・コア科目)の中から6単位以上を履修すること。
- 注 2)以上の選択科目(コース・コア科目)の中から 6 単位を超過した分は選択科目(コース関連科目 A群)に振り替えることができる。

歴史学コース コース関連科目(選択)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講年次 | 香年次 学 期 科目番号 授業科目 単位 週時間 受講年》 | | | | | | | | 期 |
|-------|-------------------|----|-----|------|-------------------------------------|------------|-----|--------|----|--|--|--|---|
| コース関連 | ^三 科目A群 | | | | コース関連 | 車科目 B 群 | | | | | | | |
| 歴史学コー | -ス提供の科目から12년 | | | | 地理学およ | び人類学コース提供の | の科目 | から12単位 | Ī. | | | | |

人類学コース 必修科目

| 八叔子ー | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----|----------|-----|----|-------|--------------|----|-----|-----|----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
| 人類101 | 社会人類学概論I | 2 | 1~2 | 前 | | 人類106 | 民俗学概論Ⅱ | 2 | 1~2 | 後 | |
| 人類102 | 社会人類学概論Ⅱ | 2 | $1\sim2$ | 後 | | 地歴110 | アカデミック・リテラシー | 2 | 1 | 後 | |
| 人類103 | 考古学概論 I | 2 | $1\sim2$ | 前 | | 人類341 | 卒業論文演習 I | 2 | 3 | 前 | |
| 人類104 | 考古学概論Ⅱ | 2 | $1\sim2$ | 後 | | 人類342 | 卒業論文演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | |
| 人類105 | 民俗学概論 I | 2 | $1\sim2$ | 前 | | 人類410 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | |

人類学コース コース・コア科目(選択)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講年次 | 学 期 |
|-------|------------|----|--------------------|------------|-----|-------|------------|----|-------|----------|-----|
| 人類201 | 人類学実習 I | 2 | (1-3) | $2 \sim 3$ | 前 | 人類205 | 考古学研究方法論 I | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 |
| 人類202 | 人類学実習Ⅱ | 2 | (1 - 3) | $2\sim3$ | 前 | 人類206 | 考古学研究方法論Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 |
| 人類203 | 社会人類学調査法 I | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 | 人類207 | 民俗学調査法 I | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 |
| 人類204 | 社会人類学調査法Ⅱ | 2 | (2 - 0) | $2\sim3$ | 後 | 人類208 | 民俗学調査法Ⅱ | 2 | (2-0) | $2\sim3$ | 後 |

注1)以上の選択科目(コース・コア科目)の中から6単位以上を履修すること。ただし、人類学実習 I・Ⅱの4単位を含むこと。

注2) 以上の選択科目 (コース・コア科目) の中から6単位を超過した分は選択科目 (コース関連科目A群) に振り替えることができ

人類学コース コース関連科目(選択)

| 八規十一 | ハ コ ハ財産付 | () [| 西1八 / | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|------|--------------|------|---|-------|------------|------|-------|-------|------|---|---|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講年次 | 学 | 期 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 週時間 | 受講年次 | 学 | 期 |
| コース関連 | ^三 科目A群 | | | | | コース関連 | 巨科目 B 群 | | | | | | |
| 人類学コー | -ス提供の科目のいずね | 12単位 | | | | 地理学およ | び歴史学コース提供の | の科目 | のいずれて | き12単位 | | | |

人間科学科 卒業要件

| | | | | | 屑 | 曼 | 修 | Ξ | 1 - | - | ス | | | |
|----|---|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-----|
| | | | | | 星 | Ł | | F | ¶ | | 主 | | | |
| | | 区分 | 哲学・倫理 | 教育社会学 | 社会心理学 | 臨床心理学 | 人間行動論 | 社 会 学 | 社会福祉学 | マス・コミ | 生活福祉論 | 地理学 | 歴 史 学 | 人類学 |
| | | | | | | | | | | 学 | | | | |
| | 必 | 学 科 基 礎 科 目 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 専 | 修 | コース必修科目 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 21 | 21 | 21 |
| 門 | 選 | コース・コア科目 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 8 | 8 | 8 | 8 | 6 | 6 | 6 |
| | 択 | コース関連科目 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 26 | 26 | 26 | 26 | 24 | 24 | 24 |
| 教 | | 自 由 科 目 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 32 | 32 | 32 | 32 | 39 | 39 | 39 |
| 育 | | 小 計 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 92 | 92 | 92 |
| | | 健康運動系科目 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 教 養 科 目 | | | | | | | | | | | | |
| | ļ | 人文系科目 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 共 | | 社 会 系 科 目 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 7= | | 自然系科目 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 通 | | 総合・琉大特色科目 | | | | | | | | | | | | |
| 教 | | 基 幹 科 目 | | | | | | | | | | | | |
| - | | 第 1 外 国 語 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 育 | | 第 2 外 国 語 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | 情報関連科目 | | | | | | | | | | | | |
| | | 小 計 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 32 | 32 | 32 |
| | | | | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 |

[※]共通教育科目において40単位(地理学、歴史学、人類学コースは32単位)を超えた単位については10単位までを専門の自由科目に読み換えることができる。また、共通教育科目については、上記単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色、情報関係から26単位以上(地理学、歴史学、人類学コースは18単位以上)を履修すること(「各学部学科等共通教育等履修基準表」)。 ※専門教育科目の選択科目において、規定を超えて履修した単位については自由科目に読み換える。 ※他学科の夜間主コースの科目については、原則として共通教育科目を、10単位まで履修することができる。 ※共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

国際言語文化学科

1 授業科目表

琉球アジア文化講座

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学期 | 授業内容 |
|-----------------|--|----------|-------------------|----------------------|---------------------|--|
| 琉ア101 | 基礎演習 I | 2 | 1-1 | 1 | 前 | 学修へのオリエンテーション、論文作成法の指導 |
| 1,712,7 101 | 至1000000000000000000000000000000000000 | <u> </u> | 1 1 | • | 13.0 | 等を行う。 |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 1-1 | 2 | 後 | 各履修コース毎の専門分野に関する研究方法を |
| 77107 102 | 全旋 换自 1 | ۵ | 1 1 | 2 | | 指導する。 |
| 琉史 111 | 琉球史概論 I | 2 | 2-0 | 1 | 前 | 琉球史の基本的事項について講義する。 |
| 琉史 111 | 琉球史概論Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 1 | 後 | 川 |
| 琉民 111 | 琉球民俗学概論 I | 2 | 2 - 0 | 1 | 前 | |
| الماليان المالي | | ۵ | 2 0 | 1 | Hil | を中心に講義する。 |
| 琉民 112 | 琉球民俗学概論Ⅱ | 2 | 2-0 | 1 | 後 | でいて中央グラン。 |
| 中琉 111 | 中琉関係史概論I | 2 | 2 - 0 | 1 | 前 | 中琉関係史のトピックを取り上げて講義する |
| 中琉 112 | 中琉関係史概論Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 1 | 後 | 川 |
| 琉文 111 | 琉球文学概論 I | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 1 | 前 | が 琉球文学についての基礎知識を養う。 |
| 琉文 111 | 琉球文学概論Ⅱ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 1 | 後 | 別が又子にラグ・マッ全版が成でをす。 |
| 日文 111 | 日本文学概論I | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 1 | 前 | アンドログラ |
| 日文 111 | 日本文学概論Ⅱ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 1 | 後 | 日本文子(こう)・「いう金姫和戦を長う。 |
| 中文 111 | 中国文学概論I | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 1 | 前 | 中国文学の基礎的事項について、詩を中心に講義 |
| 十大 111 | 十国文子风丽 1 | ∠ | 2 0 | 1 | 日山 | する。 |
| 中文 112 | 中国文学概論Ⅱ | 2 | 2-0 | 1 | 後 | 9 30。 中国文学の基礎的事項について、近現代の小説を |
| 十人 112 | 十国文子院開Ⅱ | 4 | 2-0 | 1 | 1友 | 中心に講義する |
| , , | 琉球語学概論 I | 2 | 2-0 | 1 | 前 | 琉球語についての基礎知識を養う。 |
| 琉語 111 | 琉球語学概論Ⅱ | 2 | 2-0 $2-0$ | 1 | | 川が記してフィートの対象を対して、 |
| 日語 111 | 日本語学概論 I | 2 | 2-0 $2-0$ | 1 | 前 | " 日本語の文字・表記、文法、語彙、表現法等の基 |
| H HI 111 | | 4 | 2-0 | 1 | 刊 | 世的事項について学ぶ |
| 日語 112 | 日本語学概論Ⅱ | 2 | 2-0 | 1 | 後 | 使の事項に がく子の |
| 中語 111 | 中国語学概論I | 2 | 2-0 $2-0$ | 2 | 前 | ″ 中国語を研究するための基礎的スキルを学ぶ。 |
| 中語 111 | 中国語学概論Ⅱ 中国語学概論Ⅱ | 2 | 2-0 $2-0$ | 2 | ^則 後 | 中国品を切えりるための基礎的へてルを子ぶ。 |
| 朝文 111 | 中国語子似論I 朝鮮文学概論I | 2 | 2-0 $2-0$ | 1 | 仮 前 | " 朝鮮文学の基礎的事項について講義する。 |
| 朝文 111 | 朝鮮文学概論Ⅱ | 2 | 2-0 $2-0$ | 1 | _削 後 | 物料文子の産版的事項について講義する。 |
| 琉史 311 | 琉球史基礎演習I | 2 | 0-2 | 3 | 前 | が 琉球史の基礎について演習する。 |
| 琉史311 | 琉球史基礎演習Ⅱ | 2 | 0-2 $0-2$ | 3 | 後 | 別が文の金旋について傾首する。 |
| 琉史313 | 琉球史基礎演習Ⅲ | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | " |
| 琉史314 | 琉球史基礎演習IV | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | " |
| 琉史314 | | 2 | 0 - 2 | 4 | 前 | が 琉球史の展開について演習する。 |
| 琉史 321 | - 琉球史演習Ⅱ - 琉球史演習Ⅱ | 2 | 0-2 $0-2$ | 4 | III 後 | 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 |
| 琉史 323 | - 琉球史演習Ⅲ | 2 | 0 - 2 | 4 | 前 | ,, ,, |
| 琉史 323 | 琉球史演習IV | 2 | 0-2 $0-2$ | 4 | EII 後 | ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, |
| 琉史 411 | 琉球史研究 I | 2 | $\frac{0}{2} - 0$ | $\frac{4}{2} \sim 3$ | 前 | ″ 琉球史上の社会経済史的側面を考究する。 |
| 琉史411 | 琉球史研究Ⅱ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | $2 \sim 3$ | 後 | 別家文工V/江云柱/月文F71関国を与元する。 |
| 琉史412 | 琉球史研究Ⅲ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | $2 \sim 3$ | 前 | " 琉球史上の対外関係史的側面を考究する。 |
| 琉史413 | 琉球史研究IV | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | $2 \sim 3$ | 後 | 別家文工の外が関係文的側面を与元する。 |
| 琉史414 | 琉球史研究V | 2 | 2-0 $2-0$ | $2 \sim 3$ | 前 | " 琉球史上の文化史的側面を考究する。 |
| 琉史416 | 琉球史研究VI | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | $2 \sim 3$ | 後 | フルス・エック、「ロスドリ内田でつんりつ」 |
| 琉史417 | 琉球史研究Ⅶ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | $2 \sim 3$ | 前 | ″ 琉球史上の思想史的側面を考究する。 |
| 琉史417 | 琉球史研究Ⅷ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | $2 \sim 3$ | 後 | 別は大工で元が大り関曲を与元する。 |
| 琉史 211 | 琉球史史料講読I | 2 | 2 - 0 | 2 | 前 | " 琉球史上の基礎史料を講読する。 |
| 琉史 211 | 琉球史史料講読Ⅱ | 2 | 2-0 $2-0$ | 2 | III 後 | 川水文工の発展文件を講覧する。 |
| 琉史 212 | 琉球史史料講読Ⅲ | 2 | 2-0 $2-0$ | 3 | 前 | ,, ,, |
| 琉史 213 | 琉球史史料講読IV | 2 | 2-0 $2-0$ | 3 | III 後 | ,, ,, |
| 琉史 214 | 琉球史史料講読V | 2 | 2-0 $2-0$ | 2 | 仮 前 | ,, ,, |
| 琉史 216 | 琉球史史料講読VI | 2 | | 2 | | " |
| 加文 216 | がルバア 文作時 近 VI | 4 | 2 - 0 | ۷ | 後 | " |

| | | 1 | 1 | 1 | 1 | |
|--------------|-------------------|---------------|--|---------------|------|---|
| 琉史217 | | 2 | 2 - 0 | 3 | 前 | II . |
| 琉史218 | 琉球史史料講読Ⅷ | 2 | 2 - 0 | 3 | 後 | IJ |
| 琉史 491 | 歴史伝承史料調査実習 I | 2 | 0 - 2 | 2 | 前 | 琉球史の伝承史料について屋外調査を行なう。 |
| 琉史 492 | 歴史伝承史料調査実習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | 琉球史の伝承史料について屋外調査を行なう。 |
| 琉史 500 | 卒業論文 | 4 | 0 - 4 | 4 | 通年 | 琉球史上の諸問題について各自でテーマを決め |
| | , , , , , , , , , | | | | | 論文を作成する。 |
| 琉民 211 | 琉球民俗学野外調査 I | 2 | 0-2 | 2~3 | 前•後 | 民俗学的野外調査の訓練を行う。 |
| 琉民211 | 琉球民俗学野外調査Ⅱ | $\frac{2}{2}$ | 0-2 | 2~3 | 前・後 | 以口子中が月月中間直ぐりが水でします。 |
| 琉民 311 | | 2 | | | | " 民俗学の基礎について、琉球に関することを中心 |
| - 玩氏 311 | 琉球民俗学基礎演習I | 2 | 0-2 | 3 | 前 | に演習する。 |
| 琉民312 | 琉球民俗学基礎演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | <i>y</i> |
| 琉民313 | 琉球民俗学基礎演習Ⅲ | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | JJ |
| 琉民314 | 琉球民俗学基礎演習IV | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | JJ |
| 琉民321 | 琉球民俗学演習 I | 2 | 0-2 | $\frac{3}{4}$ | 前 | 民俗学に関する論文の研究と発表を行う。 |
| 琉民 322 | 琉球民俗学演習Ⅱ | 2 | 0-2 | 4 | 後 | |
| 琉民 323 | - 琉球民俗学演習Ⅲ | 2 | $\begin{bmatrix} 0 & 2 \\ 0-2 \end{bmatrix}$ | | 前 | n n |
| | | | | 4 | | |
| 琉民 324 | 琉球民俗学演習IV | 2 | 0-2 | 4 | 後 | |
| 琉民 411 | 琉球民俗学研究I | 2 | 2-0 | 2~4 | 前 | 民俗学の特定のテーマについて考究する。 |
| 琉民412 | 琉球民俗学研究Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~4 | 後 | JJ |
| 琉民413 | 琉球民俗学研究Ⅲ | 2 | 2-0 | 2 ~ 4 | 前 | II . |
| 琉民414 | 琉球民俗学研究IV | 2 | 2 - 0 | 2 ~ 4 | 後 | JJ |
| 琉民415 | 琉球民俗学研究V | 2 | 2 - 0 | 2~4 | 前 | JJ |
| 琉民416 | 琉球民俗学研究VI | 2 | 2-0 | 2~4 | 後 | II . |
| 琉民417 | 琉球民俗学研究Ⅶ | 2 | 2-0 | 2~4 | 前 | JI . |
| 琉民418 | 琉球民俗学研究Ⅷ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 2~4 | 後 | 11 |
| 琉民 500 | 卒業論文 | $\frac{2}{4}$ | $\begin{bmatrix} 2 & 0 \\ 0 - 4 \end{bmatrix}$ | 4 | 通年 | " 民俗学に関するテーマを設定し、論文を作成す |
| 小氏 300 | 华末 珊又 | 4 | 0-4 | 4 |) 世中 | 大悦子に関する/一マを設定し、端文をTF成する。 |
| 中琉 311 | 中琉関係史基礎演習I | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | 中琉関係史の基礎的な研究領域を演習する |
| 中琉 312 | 中琉関係史基礎演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | II . |
| 中琉 313 | 中琉関係史基礎演習Ⅲ | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | II . |
| 中琉 314 | 中琉関係史基礎演習IV | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | JJ |
| 中琉 321 | 中琉関係史演習 I | 2 | 0 - 2 | 4 | 前 | 中琉関係史の専門的な特定領域を演習する |
| 中琉 322 | 中琉関係史演習Ⅱ | 2 | 0-2 | 4 | 後 | # |
| 中琉 323 | | 9 | 0-2 | $\frac{1}{4}$ | 前 | !! |
| 中琉 324 | 中琉関係史演習IV | 0 | | | | " |
| | | 2 | 0-2 | 4 | 後 | |
| 中琉 411 | 中琉関係史研究Ⅰ | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | 中琉関係史の研究論文を用いて講義する |
| 中琉 412 | 中琉関係史研究Ⅱ | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 後 | " |
| 中琉 413 | 中琉関係史研究Ⅲ | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 前 | " |
| 中琉 414 | 中琉関係史研究IV | 2 | 2 - 0 | $2\sim3$ | 後 | II . |
| 中琉 415 | 中琉関係史研究V | 2 | 2 - 0 | $2\sim3$ | 前 | II . |
| 中琉 416 | 中琉関係史研究VI | 2 | 2 - 0 | $2\sim3$ | 後 | JI . |
| 中琉 417 | 中琉関係史研究VII | 2 | 2-0 | $2 \sim 3$ | 前 | IJ. |
| 中琉 418 | 中琉関係史研究Ⅷ | 2 | 2-0 | $2 \sim 3$ | 後 | II |
| 中琉 211 | 中琉関係史史料講読 I | $\frac{}{2}$ | 2-0 | 2 | 前 | 中琉関係史の史料・碑文・対聯などを講読する |
| 中琉 212 | 中琉関係史史料講読Ⅱ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 2 | 後 | # / /////// # / / ////// # C C ###### / # |
| 中琉 213 | 中琉関係史史料講読Ⅲ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 3 | 前 | " |
| 中琉 213 | 中琉関係史史料講読IV | 2 | $\begin{bmatrix} 2 & 0 \\ 2 - 0 \end{bmatrix}$ | 3 | 後 | " |
| | | | | | | |
| 中琉 491 | 中琉関係史料調査実習Ⅰ | 2 | 0-2 | 2 | 前 | 研究機関での中琉関係史の史料調査を実習する |
| 中琉 492 | 中琉関係史料調査実習Ⅱ | 2 | 0-2 | 3 | 後 | |
| 中琉 500 | 卒業論文 | 4 | 0 - 4 | 4 | 通年 | 卒業論文を指導する |
| 琉文 211 | 琉球文学講読 I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | 琉球文学の代表的な作品を講読する。 |
| 琉文212 | 琉球文学講読Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 後 | II . |
| 琉文213 | 琉球文学講読Ⅲ | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | " |
| 琉文214 | 琉球文学講読IV | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | n, |
| 琉文 311 | 琉球文学基礎演習 I | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | 琉球文学研究の基礎的な事柄について演習する。 |
| 琉文312 | 琉球文学基礎演習Ⅱ | 2 | 0-2 | 3 | 後 | |
| 琉文312 | 琉球文学基礎演習Ⅲ | 2 | 0-2 | 3 | 前 | " |
| 切し又 313 | が必入于巫姫供白田 | 4 | 0-2 | J | 日日 | " |

| | al ab t Widdenlad III - | _ | I | T _ | | T |
|--------|----------------------------|--|--|---------|------------------|--|
| 琉文314 | 琉球文学基礎演習IV | 2 | 0-2 | 3 | 後 | ll la l |
| 琉文321 | 琉球文学演習 I | 2 | 0 - 2 | 4 | 前 | 琉球文学に関する研究発表と討議を行う。 |
| 琉文 322 | 琉球文学演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 4 | 後 | II . |
| 琉文 323 | 琉球文学演習Ⅲ | 2 | 0 - 2 | 4 | 前 | <i>II</i> |
| 琉文 324 | 琉球文学演習IV | 2 | 0 - 2 | 4 | 後 | n n |
| 琉文 411 | 琉球文学特講 I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | 琉球文学の特殊な事項について考究する。 |
| 琉文412 | 琉球文学特講Ⅱ | 2 | $\frac{1}{2} = 0$ | 2~3 | 後 | 11 |
| 琉文412 | 琉球文学特講Ⅲ | $\begin{bmatrix} 2 \\ 2 \end{bmatrix}$ | $\frac{2}{2-0}$ | 2~3 | 前 | " |
| | | | | | | " |
| 琉文 414 | 琉球文学特講IV | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | " |
| 琉文491 | 琉球文学野外調查 I | 2 | 0-2 | 2~4 | 前 | 野外で実習を行い、琉球文学の資料収集・分析方 |
| | | | | | | 法について学ぶ。 |
| 琉文 492 | 琉球文学野外調査Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 2~4 | 後 | " |
| 琉文500 | 卒業論文 | 4 | 0 - 4 | 4 | 通年 | 琉球文学の諸問題について各自でテーマを定め |
| | | | | | | て論文を作成する。 |
| | | | | | | |
| 月文 211 | 日本古典文学講読 I | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 前 | 日本古典文学の代表的な作品を講読する。 |
| 日文212 | 日本古典文学講読Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 後 | II . |
| 日文213 | 日本古典文学講読Ⅲ | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | n n |
| 日文214 | 日本古典文学講読IV | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | ıı — |
| 日文221 | 日本近現代文学講読 I | $\frac{}{2}$ | $\frac{1}{2} - 0$ | 2~3 | 前 | 日本近現代文学の代表的な作品を講読する。 |
| 日文222 | 日本近現代文学講読Ⅱ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 2~3 | 後 | II |
| 日文 223 | 日本近現代文学講読Ⅲ | $\frac{2}{2}$ | $\frac{2}{2-0}$ | 2~3 | 前 | n |
| 日文 223 | 日本近現代文学講読IV | $\frac{2}{2}$ | $\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$ | 2~3 | _門 後 | " " |
| | 万本近現代文字講就IV 近現代沖縄文学講読 I | $\begin{bmatrix} 2 \\ 2 \end{bmatrix}$ | $\begin{vmatrix} 2-0 \\ 2-0 \end{vmatrix}$ | 2~3 2~3 | | " 沖縄の近現代文学の代表作を読む |
| 日文231 | | | | | 前 | |
| 日文232 | 近現代沖縄文学講読Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | 沖縄の近現代文学の代表作を読む |
| 日文241 | 日本文学史 I | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 前 | 日本文学の歴史的展開について理解する。 |
| 日文242 | 日本文学史Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 後 | II . |
| 日文 311 | 日本古典文学基礎演習 I | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | 日本古典文学の基礎的な事柄について演習する。 |
| 日文312 | 日本古典文学基礎演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | IJ |
| 日文313 | 日本近現代文学基礎演習 I | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | 日本近現代文学の基礎的な事柄について演習す |
| | | | | | | る。 |
| 日文314 | 日本近現代文学基礎演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | II . |
| 日文321 | 日本古典文学演習 I | 2 | 0 - 2 | 4 | 前 | 日本古典文学について演習する。 |
| 日文322 | | 2 | 0-2 | 4 | 後 | II |
| 日文323 | 日本近現代文学演習I | 2 | 0-2 | 4 | 前 | 日本近現代文学について演習する。 |
| | | | | | | |
| 日文324 | 日本近現代文学演習Ⅱ | 2 | 0-2 | 4 | 後 | が他,に1411年455714日の1554日 芝作夫 |
| 日文325 | 近現代沖縄文学演習I | 2 | 0-2 | 4 | 前 | 沖縄近現代文学作品の選択、討議 |
| 日文326 | 近現代沖縄文学演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 4 | 後 | 沖縄近現代文学作品の選択、討議 |
| 日文331 | — | 2 | 1 - 1 | 2~3 | 前 | 硬筆および毛筆による書の理論と実習 |
| 日文341 | 日本文学野外実習I | 2 | 0 - 2 | 2~4 | 前 | 野外での実習を行い、日本文学の歴史的、社会的 |
| | | | | | | 背景などについて考究する。 |
| 日文342 | 日本文学野外実習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 2~4 | 後 | IJ. |
| 日文 411 | 日本文学特講 I | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 前 | 日本文学の特殊事項について考究する。 |
| 日文412 | 日本文学特講Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | ıı |
| 日文413 | 日本文学特講Ⅲ | 2 | $\frac{2}{2} - 0$ | 2~3 | 前 | JJ |
| 日文414 | 日本文学特講IV | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 2~3 | 後 | " " |
| 日文414 | 日本文学特講V | 2 | 2-0 $2-0$ | 2~3 | 前 | " " |
| | | | | | | " " |
| 日文416 | 日本文学特講VI | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | ###################################### |
| 日文431 | 近現代沖縄文学特講I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | 沖縄近現代文学の特異性についての検討 |
| 日文432 | 近現代沖縄文学特講Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | 沖縄近現代文学の特異性についての検討 |
| 日文500 | 卒業論文 | 4 | 0 - 4 | 4 | 通年 | 日本文学の諸問題について各自でテーマを定め |
| | | | | | | て論文を作成する。 |
| | | | | | <u> </u> | |
| 中文 311 | 中国文学基礎演習I | 2 | 0-2 | 3 | 前 | 中国文学の基礎的な事柄について演習する。 |
| 中文312 | 中国文学基礎演習Ⅱ | 2 | 0-2 | 3 | 後 | II . |
| 中文313 | 中国文学基礎演習Ⅲ | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | IJ |
| 中文314 | 中国文学基礎演習IV | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | IJ. |
| | * * * | ı | <u> </u> | 1 | - | 1 |

| | | 1 | ı | 1 | ı | T |
|----------------------------|--|---------------|---|---|--|---|
| | L L WANGER | _ | | | | |
| 中文321 | 中国文学演習 I | 2 | 0-2 | 4 | 前 | 中国文学について演習する。 |
| 中文 322 | 中国文学演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 4 | 後 | II. |
| 中文323 | 中国文学演習Ⅲ | 2 | 0 - 2 | 4 | 前 | JJ |
| 中文324 | 中国文学演習IV | 2 | 0 - 2 | 4 | 後 | JJ |
| 中文 411 | 中国古典文学特講 I | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 前 | 中国古典文学の特殊な事柄について考察する。 |
| 中文411 | 中国古典文学特講Ⅱ | 2 | $\begin{vmatrix} 2 & 0 \\ 2 - 0 \end{vmatrix}$ | $2 \sim 3$ | 後 | 川田山州大子・ハバルは野田についてつ宗する。 |
| | | | | | _ | ··· |
| 中文413 | 中国古典文学特講Ⅲ | 2 | 2-0 | 3~4 | 前 | JJ |
| 中文414 | 中国古典文学特講IV | 2 | 2 - 0 | $3\sim4$ | 後 | ll ll |
| 中文421 | 中国近現代文学特講I | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 前 | 中国近現代文学の特殊な事柄について考察する。 |
| 中文422 | 中国近現代文学特講Ⅱ | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 後 | JJ |
| 中文 423 | 中国近現代文学特講Ⅲ | 2 | 2-0 | $3\sim4$ | 前 | ll II |
| 中文 424 | 中国近現代文学特講IV | $\frac{2}{2}$ | $\frac{2}{2-0}$ | $3\sim4$ | 後 | ı, |
| 1 1 | | | | | | " |
| 中文 211 | 中国古典文学講読I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | 中国古典文学の代表的な作品を講読する。 |
| 中文212 | 中国古典文学講読Ⅱ | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 後 | ll ll |
| 中文213 | 中国近現代文学講読I | 2 | 2 - 0 | $2\sim3$ | 前 | 中国近現代文学の代表的な作品を講読する。 |
| 中文214 | 中国近現代文学講読Ⅱ | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 後 | IJ. |
| 中文491 | 中国文学野外実習I | $\frac{}{2}$ | 0-2 | $3\sim4$ | 前 | 学外での実習を行い、中国文学の実際にふれる。 |
| 中文492 | 中国文学野外実習Ⅱ | 2 | $\begin{vmatrix} 0 & 2 \\ 0 - 2 \end{vmatrix}$ | $3\sim4$ | 後 | |
| | | | | | _ | ··· |
| 中文500 | 卒業論文 | 4 | 0-4 | 4 | 通年 | 中国文学について論文を作成する。 |
| 琉語 311 | 琉球語学基礎演習 I | 2 | 0-2 | 3 | 前 | 基礎的な琉球語研究の方法について演習する。 |
| 琉語 312 | 琉球語学基礎演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | JI JI |
| 琉語 321 | 琉球語学演習 I | 2 | 0 - 2 | 4 | 前 | 琉球語研究の方法について演習する。 |
| 琉語 322 | 琉球語学演習Ⅱ | 2 | 0-2 | 4 | 後 | <i>II</i> |
| 琉語 411 | 琉球語学特講 I | 2 | $\begin{vmatrix} 0 & 2 \\ 2 - 0 \end{vmatrix}$ | $\begin{vmatrix} 1 \\ 2 \sim 3 \end{vmatrix}$ | 前 | さまざまな琉球語の事項について考察する。 |
| l l | | | | | | |
| 琉語 412 | 琉球語学特講Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | JI |
| 琉語 413 | 琉球語学特講Ⅲ | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 前 | ll ll |
| 琉語 414 | 琉球語学特講IV | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 後 | II. |
| 琉語 415 | 琉球語学特講V | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 前 | JJ |
| 琉語 416 | 琉球語学特講VI | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | JJ |
| 琉語 221 | 音声学I | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | $\frac{2}{2}$ | 前 | 日本語および琉球語の音声、音韻について学ぶ。 |
| 1 | | | | | The state of the s | |
| 琉語 222 | 音声学Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | |
| 琉語 351 | 言部理学実地整I | 2 | 0-2 | 2~3 | 前 | 言語地理学のための資料を実地調査によって収 |
| | | | | | | 集し、言語地図を作成して言語の歴史を学ぶ。 |
| 琉語 352 | 言語地理学実地調查II | 2 | 0 - 2 | $2\sim\!3$ | 後 | JJ |
| 琉語 421 | 琉球語学野外調查I | 2 | 0 - 2 | 2~3 | 前 | 学外で臨地調査を行い琉球語の研究方法を学ぶ。 |
| 琉語 422 | 琉球語学野外調査II | 2 | 0-2 | $2\sim3$ | 後 | // Charles 14 (2) 14 (2) 14 (2) 15 |
| | | | | | | ,, |
| 琉語 423 | 琉球語学野外調查III | 2 | 0-2 | 2~3 | 前 | l " |
| 琉語 424 | 琉球語学野外調查IV | 2 | 0 - 2 | 2~3 | 後 | JJ |
| 琉語 500 | 卒業論文 | 4 | 0 - 4 | 4 | 通年 | 琉球語の諸問題について各自で課題を設定し、論 |
| | | | | | | 文を作成する。 |
| D=F 101 | □ | | 9 6 | 0.0 | <u> </u> | ロナミエナンナのミサ日日日エンマーン、マーヤ だっしゃ |
| 日語 121 | 日本語文法論 I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | 日本語文法の諸問題について考察する。 |
| 日語 122 | 日本語文法論Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | ll ll |
| 日語 131 | 古典日本語概論I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | 古典日本語の基礎的事項について学ぶ。 |
| 日語 132 | 古典日本語概論Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | IJ. |
| 日語 211 | 言語学外書講読 I | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | 3~4 | 前 | 言語学の原典を読み、日本語研究の方法を探る。 |
| 日語 211 | 言語学外書講読Ⅱ | 2 | $\frac{2}{2-0}$ | $3^{\sim}4$ | 後 | |
| | | | | | | "" |
| 月語 311 | 日本語学基礎演習I | 2 | 0-2 | 3 | 前 | 日本語の基礎的事項を取り上げて演習する。 |
| 日語 312 | 日本語学基礎演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | l " |
| 日語 321 | 日本語学演習 I | 2 | 0 - 2 | 4 | 前 | 日本語の特質・諸問題を取り上げて演習する。 |
| 日語 322 | 日本語学演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 4 | 後 | ıı, |
| 日語 331 | 日本語教育学概論 I | $\frac{}{2}$ | 2-0 | 2 | 前 | 日本語教育学の基礎的事項について学ぶ。 |
| ⊢ h⊓ 301 | THE LANGE TO A PARTY TO THE PARTY OF THE PAR | | | | 後 | |
| 日钰 999 | 日木钰拗吞学椰鈴IT | 9 | 1 2 - 1 | | | |
| 日語 332 | 日本語教育学概論Ⅱ | 2 | 2-0 | 2 | | 日本語教育学の基礎的事項について学ぶ。 |
| 日語 332 日語 341 日語 342 | 日本語教育学概論Ⅱ 日本語教育実習Ⅰ 日本語教育実習Ⅱ | 2 2 2 | $\begin{vmatrix} 2-0 \\ 0-2 \\ 0-2 \end{vmatrix}$ | 4 4 | 前後 | 日本語教育の実際について学ぶ。 |

| | | 1 | T | 1 | 1 | |
|---|---|---------------|--|---|------------|----------------------------|
| 日語351 | 日本事情 | 2 | 2 - 0 | 3 | 前 | 日本の政治・経済、歴史、文化等を概観する。 |
| 日語 411 | 日本語学特講I | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 前 | 日本語の特殊事項について考究する。 |
| 日語 412 | 日本語学特講Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 後 | II . |
| 日語 421 | 日本語史 I | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 前 | 日本語の歴史について学ぶ。 |
| 日語 422 | 日本語史Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 後 | II |
| 日語 431 | 日本語教授法 I | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 前 | 日本語の教授法について学ぶ |
| 日語 432 | 日本語教授法Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 後 | n, |
| 日語 441 | 日本語教材研究 I | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 前 | 日本語教育の既存の教材を分析しながら、新たな |
| | | | | | | 教材化の方法を学ぶ。 |
| 日語 442 | 日本語教材研究Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 後 | ıı |
| 日語 500 | 卒業論文 | 4 | 0 - 4 | 4 | 通年 | 日本語の諸問題について各自でテーマを定めて |
| , | 7 7 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 | | | | , , | 論文を作成する。 |
| | | | | | | HILLS COLLINSON |
| 中語 311 | 中国語学基礎演習 I | 2 | 0-2 | 3 | 前 | 中国語を研究するための基礎的スキルを学ぶ。 |
| 中語 312 | 中国語学基礎演習Ⅱ | $\frac{1}{2}$ | $\begin{vmatrix} 0 & 2 \\ 0 - 2 \end{vmatrix}$ | 3 | 後 | |
| 中語 313 | 中国語学演習 I | $\frac{1}{2}$ | $\begin{vmatrix} 0 & 2 \\ 0-2 \end{vmatrix}$ | $\begin{bmatrix} 3 \\ 4 \end{bmatrix}$ | 前 | ー 中国語学のテーマについて発表、討論をする。 |
| 中語 314 | 中国語学演習Ⅱ | $\frac{2}{2}$ | $\begin{vmatrix} 0 & 2 \\ 0 - 2 \end{vmatrix}$ | $\begin{bmatrix} \frac{1}{4} \end{bmatrix}$ | 後 | |
| 中語 321 | 中国語 LL 演習 I | $\frac{2}{2}$ | $\begin{vmatrix} 0 & 2 \\ 0-2 \end{vmatrix}$ | 2 | 前 | LL 機器を使用して中国語の演習をする。 |
| 中語 321 | 中国語 LL 演習 II | $\frac{2}{2}$ | $\begin{bmatrix} 0 & 2 \\ 0-2 \end{bmatrix}$ | $\begin{bmatrix} 2 \\ 2 \end{bmatrix}$ | 後 | 11 版価を使用して中国品が関目をする。 |
| 中語 411 | 中国語学特講 中国語学特講 | $\frac{2}{2}$ | $\begin{vmatrix} 0 & 2 \\ 2-0 \end{vmatrix}$ | $\begin{vmatrix} 2 \\ 2 \sim 3 \end{vmatrix}$ | 前 | " 中国語学の特殊な事柄について考察する。 |
| 中語 411 | | $\frac{2}{2}$ | $\begin{bmatrix} 2-0 \\ 2-0 \end{bmatrix}$ | $2 \sim 3$ | III 後 | 中国電子の特殊は事例について有祭りる。 |
| | 中国語学特講Ⅱ | | $\begin{vmatrix} 2-0 \\ 2-0 \end{vmatrix}$ | $2 \sim 3$ $2 \sim 3$ | | " |
| 中語 413 | 中国語学特講Ⅲ | 2 | _ ~ | | 前 | " |
| 中語 414 | 中国語学特講IV | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | |
| 中語 421 | 中国語文法論I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | 中国語の文法構造について概観する。 |
| 中語 422 | 中国語文法論Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | n n |
| 中語 423 | 中国語文法論Ⅲ | 2 | 2-0 | $3\sim4$ | 前 | '' |
| 中語 424 | 中国語文法論IV | 2 | 2-0 | $3\sim4$ | 後 | " |
| 中語 425 | 中国語史I | 2 | 2 - 0 | $2\sim3$ | 前 | 中国語の歴史的展開について考察する。 |
| 中語 426 | 中国語史Ⅱ | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 後 | n, |
| 中語 427 | 中国語史Ⅲ | 2 | 2-0 | $3\sim4$ | 前 | n, |
| 中語 428 | 中国語史IV | 2 | 2 - 0 | $3\sim4$ | 後 | n |
| 中語 431 | 中国語学講読I | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 前 | 中国語学の代表的な文献を講読する。 |
| 中語 432 | 中国語学講読Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 2~3 | 後 | n, |
| 中語 433 | 中国語学講読Ⅲ | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 前 | n, |
| 中語 434 | 中国語学講読IV | 2 | 2-0 | $2 \sim 3$ | 後 | n, |
| 中語 490 | 海外文化研修 | 2 | 1 - 1 | $2\sim3$ | 前後 | 海外で研修をおこない、異文化理解を深める。 |
| 中語 500 | 卒業論文 | 4 | 0 - 4 | 4 | 通年 | 中国語学上の諸問題について各自でテーマを定 |
| | | | | | | めて論文を作成する。 |
| 朝文 211 | 朝鮮文学講読 I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | 朝鮮文学に関する文献を講読する。 |
| 朝文212 | 朝鮮文学講読Ⅱ | 2 | 2-0 | $2 \sim 3$ | 後 | n . |
| 朝文 213 | 朝鮮文学講読Ⅲ | 2 | 2 - 0 | $2 \sim 3$ | 前 | n |
| 朝文 214 | 朝鮮文学講読IV | 2 | 2 - 0 | $2 \sim 3$ | 後 | n |
| 朝文 311 | 朝鮮文学基礎演習 I | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | 朝鮮文学の基礎的な事柄について演習する。 |
| 朝文312 | 朝鮮文学基礎演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | n |
| 朝文 321 | 朝鮮文学演習I | $\frac{1}{2}$ | 0-2 | 4 | 前 | 朝鮮文学について演習する。 |
| 朝文 322 | 朝鮮文学演習Ⅱ | $\frac{1}{2}$ | 0-2 | 4 | 後 | " |
| 朝文500 | 卒業論文 | $\frac{1}{4}$ | $\begin{vmatrix} 0 & 2 \\ 0 - 4 \end{vmatrix}$ | $\frac{1}{4}$ | 通年 | 朝鮮文学の諸問題について各自でテーマを定 |
| 1,42 € 333 | 1 2/580002 5 | | • | | | めて論文を作成する。 |
| | | | | | | - SHIRLY CITY / WO |
| | | 1 | 1 | 1 | 1 | |

英語文化講座(昼間主)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 年 次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|--------|---|-----|--------------|------------|-----|---|
| 英言 101 | 基礎演習(Study Skills) | 1 | 0-2 | 1 | 前 | ノートのとり方、情報検索・整理法、論理構成法 及びレポート作成法を学ぶ。 |
| 英言 111 | リーテ゛ィンク゛ I(Reading I) | 1 | 0-2 | 1 | 前 | 様々な分野の比較的長い英語の論考、エッセイを 速読して大意を理解する訓練をする。 |
| 英言 112 | リーテ゛ィンク゛II(Reading II) | 1 | 0 - 2 | 1 | 後 | 「リーディングⅠ」の続き。 |
| 英言 121 | 英文法演習(English Grammar & Composition) | 2 | 2-2 | 1 | 前 | 英文法と英作文を相互補完的に学習する。 |
| 英言 131 | 英語の発音とリスニング (English Pronunciation & Listening Comprehension) | 1 | 0-2 | 1 | 後 | 集中的に英語の発音とリスニングを訓練する。 |
| 英言 141 | 英米文学概論 | 2 | 2 - 0 | 1 | 前 | 英米文学の基礎知識を作品を通じて通覧する。 |
| 英言 171 | 言語コミュニケーション概論Ⅰ | 2 | 2 - 0 | 1 | 前 | 英語学/言語学の基礎を中心に学ぶ。 |
| 英言 201 | 異文化理解 | 2 | 1 - 1 | 2 | 後 | 多様な文化背景を持つ英文の講読や、英語による コミュニケーション活動を通じて異文化についての理解を 深める。 |
| 英言 213 | リーテ゛ィンク゛Ⅲ(ReadingⅢ) | 1 | 0-2 | 2 | 前 | 「リーディングⅡ」の続き。 |
| 英言 221 | ライティンク゛I(Writing I) | 1 | 0-2 | 2 | 前 | グローバル及びローカルな問題を扱ったエッセイ の書き方を訓練する。 |
| 英言 222 | ライティンク゛Ⅱ(WritingⅡ) | 1 | 0 - 2 | 2 | 後 | 「ライティングⅠ」の続き。 |
| 英言 231 | オーラルコミュニケーション I(Oral Communication I) | 1 | 0 - 2 | 2 | 前 | 日常的な場面において、英語によるコミュニケーション活動が適切に行えるよう訓練する。 |
| 英言 232 | オーラルコミュニケーション Ⅱ(Oral Communication Ⅱ) | 1 | 0 - 2 | 2 | 後 | 「オーラルコミュニケーションI」の続き。 |
| 英言 241 | イギリス文学概論 | 2 | 2-0 | 1 | 後 | イギリスの代表的作家の主要作品の鑑賞を通して イギリス文学を歴史的に概観する。 |
| 英言 242 | アメリカ文学概論 | 2 | 2-0 | 2 | 前 | アメリカの代表的作家の主要作品の鑑賞を通して アメリカ文学を歴史的に概観する。 |
| 英言 271 | 言語コミュニケーション概論Ⅱ | 2 | 2-0 | 1 | 後 | 英語を中心とした応用言語学の基礎を中心に学 ぶ。 |
| 英言 272 | 言語コミュニケーション概論Ⅲ | 2 | 2-0 | 2 | 前 | 英語を中心とした(異文化)コミュニケーション学/社会 言語学の基礎を中心に学ぶ。 |
| 英言 280 | 学外実地研修 | 2 | 0 - 2 | $1 \sim 4$ | 前・後 | 合宿研修を通して、英語のコミュニケーション能力を身につける。 |
| 英言 301 | メディアの英語I | 2 | 1 - 1 | 3 | 前 | 最新の時事問題に使われている英語を学習する。 |
| 英言 302 | メディアの英語Ⅱ | 2 | 1 — 1 | 3 | 後 | TV、ラジオの英語が聞き取れるように訓練する。 |
| 英言 303 | メディア英語演習 | 2 | 0-2 | $2\sim 4$ | 前·後 | パソコンや視聴覚機器による英字新聞の編集、 Campus Newsletter、英語のビデオ番組編集、教 材作成などのプロジェクトを行う。 |
| 英言 311 | 上級英語演習 (Intensive Reading & Writing) | 2 | 1 - 1 | 3 | 前 | グローバルおよびローカルな問題に関する英文を 精読し、自分の意見を論理的な英文で書く訓練を する。 |
| 英言 321 | 英文和訳演習 | 2 | 1 - 1 | 3 | 前 | 英文和訳の基本的なテクニックを訓練する。 |
| 英言 322 | 和文英訳演習 | 2 | 1 — 1 | 3 | 後 | 和文英訳の基本的なテクニックを訓練する。 |
| | | | | | | |

英語文化講座(昼間主)

| 科目番号 | (全順土) 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 年 次 | 学期 | |
|------------------|---|--------|---------------|-----------------------|------------|--|
| 英言 331 | 口頭英語表現 I (Verbal Arts I) | 2 | 1-1 | 3 | 前 | パブリックスピーキング、ディベート、朗読、ス キットパフォーマンスなどの実践を通して、英語 の口頭表現力および論理的な思考能力を高める。 |
| 英言 332 | 口頭英語表現 II (Verbal Arts II) | 2 | 1 — 1 | 3 | 後 | 「口頭英語表現I」の続き。 |
| 英言 341 | 中世文学 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | チョーサーを含む古代・中世の代表的作家の主要 作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。 |
| 英言 342 | ルネサンス文学 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | 15日で取り上り、その研えが伝を子ぶ。 シェイクスピアを中心とする代表的作家の主要作 品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。 |
| 英言 343 | 17・18世紀イギリス文学 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | 田を取り上げ、その研究が伝を手ぶ。 王政復古期及び18世紀の代表的作家の主要作品 取り上げ、その研究方法を学ぶ。 |
| 英言 344 | ロマン派文学 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | イギリスロマン派文学の主要作品を取り上げ、そ の研究方法を学ぶ。 |
| 英言 345 | ヴィクトリア朝文学 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | ヴィクトリア朝文学の主要作品を取り上げ、その 研究方法を学ぶ。 |
| 英言 346 | 現代イギリス文学 | 2 | 1 - 1 | $2 \sim 4$ | 前•後 | 20世紀以降のイギリス文学における主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。 |
| 英言 349 | イギリス文化論 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | イギリスの文学、思想、言語など、イギリス文化 の諸相を研究する。 |
| 英言 351 | 初期アメリカ文学 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | 初期アメリカの代表的作家の主要作品を取り上 げ、その研究方法を学ぶ。 |
| 英言 352 | 19世紀アメリカ文学 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | 19世紀アメリカの代表的作家の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。 |
| 英言 353 | 20世紀アメリカ文学 | 2 | 1-1 | $2\sim4$ | 前・後 | 20世紀アメリカの代表的作家の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。 |
| 英言 354 | 現代アメリカ文学 | 2 | 1-1 | $2 \sim 4$ | 前・後 | 現代アメリカの代表的作家の主要作品を取り上げ その研究方法を学ぶ。 |
| 英言 357 | アメリカ文化論 | 2 | 1-1 | $2 \sim 4$ | 前・後 | アメリカの文学 思想、言語など、アメリカ文化の諸相を研究する。 |
| 英言 361 | 英米児童文学 | 2 | 1-1 | $2 \sim 4$ | 前・後 | 英米児童文学の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。 |
| 英言 362 | 文学・文化理論入門 (Introduction to Literar y and Cultural Theories) | 2 | 2-0 | $2 \sim 4$ | 前・後 | 英米文学と文化を学ぶために必要な理論的テキストの基礎的理解。 |
| 英言 375 | 英語の意味解釈 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | 英語の意味について理論的・体系的に研究する。 |
| 英言 376 | 英語の歴史 | 2 | 1-1 | $2 \sim 4$ | 前・後 | 英語の歴史的変化と古英語、中英語、初期現代英 語の諸特徴について学ぶ。 |
| 英言 377 | 英語の音声構造 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | 英語の音声と音韻構造を理論的・体系的に研究する。 |
| 英言 378 | 英語の語構造 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | 英語の語の構造を理論的・体系的に研究する。 |
| 英言 379 | 英語の文構造 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | 英語の文や句の構造を理論的・体系的に研究する。 |
| 英言 383 | 異文化コミュニケーション論 | 2 | 2-0 | $2 \sim 4$ | 前・後 | 国文化が接触したときの言語現象や非言語行動、 および文化摩擦現象をコミュニケーションの基礎 理論を通して学ぶ。 |
| 英言 384 | ことばと社会 | 2 | 2 - 0 | $2 \sim 4$ | 前・後 | 英語を中心とした言語政策、言語とジェンダー、 ことばの民族誌など、ことばと社会の関係につい |
| 英言 385 英言 386 | 談話の構造 英語の多様性と文化 | 2 2 | 1 - 1 $2 - 0$ | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前·後 前·後 | て研究する。 英語の談話を記述的・理論的に研究する。 国際語としての英語の多様性について概観し、 「世界諸英語(World Englishes)」の状況や、そ |
| 英言 387 | 地域語概論 | 2 | 1-1 | $2\sim4$ | 前・後 | の文化的な意味および言語機能を学ぶ。 言語の普遍性というグローバルな視点からも特定 地域の言語のしくみを概説し英語による発信もで |
| 英言 393 | ことばの獲得研究 | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 前・後 | るようにする。 人が言語を学習、習得していくプロセスについて 研究する |
| 英言 394 | 文化言語学 (Introduction to Cultura | 2 | 2-0 | $2\sim4$ | 前・後 | 研究する。 ことば・民俗・文化の関係、ことばの本質、表現 形式・発想形式・行動様式の相互関係などを学 |
| 英言 395 | l Linguistics) 言語障害とリハビリ | 2 | 1 — 1 | $2\sim4$ | 前・後 | ぶ。 言語の障害及びその治療・リハビリ方法について 学ぶ。 |

英語文化講座(昼間主)

| 央語又化講座 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 年 次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|------------------|--|--------|------------------|------------------------|------------|--|
| 英言 396 | 英語評価法演習 | 2 | 0-2 | 2~4 | 前・後 | 英語教育における評価やデータ処理の基本および リサーチ・デザイン、量的統計処理の基礎を学 |
| 英言 397 | 英語教育学演習 I | 2 | 1 — 1 | $3 \sim 4$ | 前・後 | ぶ。 英語教育や教授法についての特定のトピックに関 |
| 英言 398 英言 399 | 英語科教育実践研究 I 目的別英語スキル演習 (Seminar for Specific En glish Skills) | 2 2 | 1 - 1 $1 - 1$ | $3 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 前・後 前・後 | して研究する。 授業分析及び指導技術理論と実践を学ぶ。 特定の英語スキルに焦点を当て、外国土修得理論 の見地から学習の対象を明らかにし、英語能力 |
| 英言 401 | 高等英語セミナー I (Advanced English I) | 2 | 1 – 1 | 4 | 前 | のスキルアップをはかる。 個人あるいはグループでリサーチしたものを発表 し、討論する。英語によるビジネスプレゼンテー ション等の技術を訓練する。 |
| 英言 402 | 高等英語セミナー II (Advanced English II) | 2 | 1 — 1 | 4 | 後 | 「高等英語セミナーI」の続き。 |
| 英言 410 | 異文化実地研修A | 2 | 2 - 4 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 英語圏諸国の大学等において行われるサマースク ールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・ 歴史・文化等に関する科目を履修するとともに、 |
| 英言 420 | 異文化実地研修B | 2 | 2 - 4 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 異文化理解を深める。 英語圏諸国の大学等において行われるサマースクールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・歴史・文化等に関する科目を履修するとともに、 |
| 英言 441 | イギリス文学研究I | 2 | 0 - 2 | $3 \sim 4$ | 前 | 異文化理解を深める。 イギリス文学における重要なテーマについて研究 する。 |
| 英言 442 英言 451 | イギリス文学研究Ⅱ アメリカ文学研究Ⅰ | 2 2 | $0 - 2 \\ 0 - 2$ | $3 \sim 4 \\ 3 \sim 4$ | 後前 | 」。。 「イギリス文学研究 I 」の続き。 アメリカ文学における重要なテーマについて研究 する。 |
| 英言 452 英言 461 | アメリカ文学研究Ⅱ 英米文学特殊講義 I | 2 2 | $0 - 2 \\ 0 - 2$ | $3 \sim 4 \\ 3 \sim 4$ | 後 前 | 「デメリカ文学研究 I」の続き。 英米の文学や言語文化における特定のテーマに関 する講義を行う。 |
| 英言 462 英言 463 | 英米文学特殊講義 II 比較文学演習(Seminar Co mparative Literature) | 2 2 | 2 - 0 2 - 0 | $3 \sim 4$ $3 \sim 4$ | 後前·後 | 「英米文学特殊講義 I」の続き。 英米文学と日本を含む他地域文学との比較研究。 文学と映画などの比較研究。 |
| 英言 473 | 英語圏の言語政策 | 2 | 2 - 0 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 英語が公用語または実質的な公用語として機能している国・地域における多言語社会の様態を学び、少数言語話者の言語権を保障した言語政策・ 言語計画を考察する。 |
| 英言 474 | 日英語比較研究 | 2 | 1 — 1 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 日本語と英語を比較研究し、それぞれの特徴及び 共通性を研究する。 |
| 英言 481 | 言語コミュニケーション特殊講義 I | 2 | 2-0 | $3 \sim 4$ | 前 | 英語を中心とした言語コミュニケーション分野の 特定のテーマについて研究する。 |
| 英言 482 | 言語コミュニケーション特 殊講義Ⅱ | 2 | 1-1 | $3 \sim 4$ | 後 | 「言語コミュニケーション特殊講義I」の続き。 |
| 英言 483 | 異文化コミュニケーション 演習 | 2 | 0-2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 異文化コミュニケーション分野のフィールドリサーチを行う。 |
| 英言 491 | 社会文化要因と外国語学習 (Socio-cultural Factors and Foreign Language Lea | 2 | 2-0 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 社会的・文化的要因が第二言語学習者の心理に与 える影響を考える。 |
| 英言 492 | rning) ことばの理解と記憶 | 2 | 1 — 1 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 認知、記憶、脳の情報処理など、英語を中心とした言語理解の仕組みについて研究する。 |
| 英言 493 | 特定言語研究 | 2 | 1 - 1 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 英語を含めた特定の言語の特定分野について、フ ィールドワークなどを通して研究する。 |
| 英言 497 | 英語教育学演習Ⅱ | 2 | 1 - 1 | $3 \sim 4$ | 前・後 | イールトケークなどを通じて研究する。 英語教育や教授法についての特定のトピックに関 して研究する。 |
| 英言 498 | 英語科教育実践研究Ⅱ | 2 | 1 — 1 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 授業分析及び指導技術の理論と実践を学ぶ。 |
| 英言 500 | 卒業論文 | 4 | 0 - 4 | 4 | 通年 | 特定のトピックについて研究し、卒業論文を執筆する。 |
| 英言 501 | 英語資格試験演習 I (Preparation for TOEFL/T | 1 | 0-2 | 1 | 前 | 客観的な英語能力の指標となるTOEFLおよびTOEIC の試験内容について、学習方略を含めた問題演習 |
| 英言 502 | OEIC I) 英語資格試験演習 II (Preparation for TOEFL/T OEIC II) | 1 | 0-2 | 3 | 後 | を行う。 「英語資格試験演習 I 」の内容を受け、実際のTO EFL/TOEICで英語専攻学生にふさわしいレベルの 英語力を育成する・「英語資格試験演習 I 」を履 修済みのこと。 |

英語文化講座(日本・国際事情履修コース)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受 | 学期 | 授 業 内 容 |
|--|--|-----------------------|---|-----------------------|--------|--|
| 日国 101 | 基礎演習 I | 2 | 0-2 | 1 | 前 | 情報検索、整理法、論理構成法及びレポート作成 法を学ぶ。 |
| 日国 111 | 日本語文章表現I | 2 | 2-0 | 1 | 前 | 文章構成、パラグラフ分析、要約文、レポートの 書き方を指導する。 |
| 日国 112 日国 202 日国 221 日国 222 日国 231 | 日本語文章表現Ⅱ 基礎演習Ⅲ 日本語作品講読Ⅱ 日本語作品講読Ⅲ 日本文化Ⅰ | 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{c} 2 - 0 \\ 0 - 2 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \end{array} $ | 1 1 2 2 2 | 後後前後前 | 「日国111」の続き。 代表的な現代の文学作品を精読する。 「日国221」の続き。 日本文化や日本社会の諸問題を取り上げ考察す |
| 日国 232 | 日本文化Ⅱ | 2 | 2 - 0 | 2 | 後 | る。 日本文化や日本社会の諸問題を取り上げ考察す |
| 日国 323 | 日本語演習I | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | る。 日本語学一般に関する知識を身につけ、日本語の 様々な現象について言語学的に考察する。 |
| 日国 324 日国 333 日国 334 日国 343 | 日本文化特別研究 I | 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{c} 0 - 2 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \end{array} $ $ \begin{array}{c} 2 - 0 \\ 2 - 0 \end{array} $ | 3 3 3 3 3 | 後前後前 後 | 「日国323」の続き。 古典的な日本文化論を取り上げ精察する。 「日国333」の連続。 舞踊といった沖縄の伝統文化を取り上げ精察する。 方言などの文化や沖縄社会の諸問題を取り上げ精察する。 |
| 日国 441 日国 443 日国 444 日国 500 | 二言語対照研究 国際事情 I 国際事情 II 卒業論文 | 2 2 2 4 | $ \begin{array}{c} 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 0 - 4 \end{array} $ | 4 4 4 4 | 前後前年 | 日本語と自国語とを対照的言語学的に分析する。 外国との関係における日本を現代史的に考察する。 「日国443」の連続。 日本語・日本文化に関する特定のテーマについて 卒論を作成する。 |

ヨーロッパ文化講座共通

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受 溝 年 次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|--------|-------------|-----|--------------|------------------|----------|--|
| 欧文 100 | ヨーロッパ文化論 | 2 | 2-0 | 1~4 | 後 | ヨーロッパを一つの文化総合体と捉え、そのバックグランドを作成するヘレニズム及びローマ文化を踏まえ、キリスト教の発展、「新世界」の発見から産業革命まで、世界の近代史の主役であり続 |
| 欧文 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 - 1 | 1 | 前 | けたその姿を浮き彫りにする。 少人数クラスにし、学習へのオリエンテーショ ン、論文作成法などを指導する。 |
| 欧文 102 | ヨーロッパ文学入門 | 2 | 2 - 0 | $1 \sim 2$ | 後 | ヨーロッパ文学の特質、社会との関係等について 概観し、作品の読み方等の基礎を養成する。 |
| 欧文 104 | ヨーロッパ言語研究入門 | 2 | 2 - 0 | $1\sim 2$ | 後 | ヨーロッパの3ヶ国語(独・仏・西語)を中心に言語とその研究方法を概観する。 |
| 欧文 200 | EU研究入門 | 2 | 2 - 0 | 1~4 | 前又 は後 | 拡大を続けるEU(欧州連合)の始まりと現状、 |

ヨーロッパ文化講座

| | · X 化神座 | | | | | · |
|--|--|--|---|--|---------------|--|
| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受 | 学期 | 授 業 内 容 |
| 独文 111 | 初級ドイツ語文法I | 2 | 2-0 | 1 | 前 | ドイツ語の文法規則について理解を深め、その運 用能力を養成する。 |
| 独文 112 独文 200 | 初級ドイツ語文法Ⅱ ドイツ語実践研修 | 2 2 | $ \begin{array}{c} 2 - 0 \\ 0 - 2 \end{array} $ | $\begin{array}{c} 1 \\ 1 \sim 4 \end{array}$ | 後 前又 は後 | 「独文111」の連続。 「独文111」の連続。 研修合宿や、実際にドイツ語学コースに参加することを通して、ドイツ語能力を身につける。 |
| 独文 202 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 1 – 1 | 2 | 後 | 少人数討論型のクラスにし、それぞれの属する履 修コースで専門分野に関する研究方法及び論文作 成方法を指導する。 |
| 独文 211 | ドイツ語会話 I | 2 | 1 - 1 | 2 | 前 | ボイツ語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を 養成する。 |
| 独文 212 独文 215 | ドイツ語会話Ⅱ ドイツ語表現演習Ⅰ | 2 2 | $\begin{vmatrix} 1-1\\0-2 \end{vmatrix}$ | 2 2 | 後前 | 「独文211」の連続。 視聴覚教材を用いてリスニング能力の向上をはか るとともに、テーマに応じた口頭表現の訓練を行 う。 |
| 独文 216 独文 224 | ドイツ語表現演習Ⅱ ドイツ文芸思潮史 | 2 2 | $0-2 \\ 2-0$ | 2 2 | 後 後 | 「独文215」の連続。 「イツ文学に現れた主要な思想を、歴史的に概観 する。 |
| 独文 242 | ドイツ研究A | 2 | 2-0 | 2 | 前 | ドイツの日常生活や現代ドイツ社会・文化の諸問題(環境、平和、外国人、再統一後の問題等)を |
| 独文 244 独文 300 | ドイツ研究B 海外文化研修 | 2 4 | $ \begin{vmatrix} 2 - 0 \\ 0 - 4 \end{vmatrix} $ | $2 \sim 3$ $2 \sim 4$ | 後前 | 探る。 「独文242」の連続。 トーイツでの集中講義やセミナーへの参加、エクスカーションや各 国の学生との交流を通して、コミュニケーション能力の向 上と異文化理解の深化を図る。 |
| 独文 311 | ドイツ語講読 I | 2 | 1-1 | $3 \sim 4$ | 前 | 上と異文化理解の保化を図る。 小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事ドイツ語 等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力 を養成する。 |
| 独文 312 独文 313 独文 314 独文 315 独文 316 独文 317 独文 321 独文 322 | ドイツ語講読Ⅱ ドイツ語講読Ⅲ ドイツ語講読Ⅳ ドイツ語講読Ⅵ ドイツ語講読Ⅶ ドイツ語講読Ⅷ ドイツ文学演習Ⅱ ドイツ文学演習Ⅱ | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{vmatrix} 1 - 1 \\ 1 - 1 \\ 1 - 1 \\ 1 - 1 \\ 1 - 1 \\ 1 - 1 \\ 1 - 1 \\ 0 - 2 \\ 0 - 2 \end{vmatrix} $ | $3 \sim 4$ $3 \sim 4$ $3 \sim 4$ $3 \sim 4$ $3 \sim 4$ $3 \sim 4$ $3 \sim 3$ | 後前後前後前後前後 | ッ |
| 独文 331 | ドイツ語学概論 | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 後 | ドイツ語の歴史を概観した上で、音韻、形態、統語構造等を体系的に考察する。 |
| 独文 333 | ドイツ語の文構造 | 2 | 2-0 | $2\sim3$ | 前 | ドイツ語文の構造を分析し、ドイツ語の特徴を理解する。 |
| 独文 335 | ドイツ語学演習 I | 2 | 0 - 2 | 3 | 前 | ドイツ語を音韻論、形態論、統語論、意味論の側 面から考察する。 |
| 独文 336 | ドイツ語学演習Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | ドイツ語学の諸問題から選定した特定のテーマに ついて演習する。 |
| 独文 337 | ドイツ語学特演A | 2 | 0-2 | $3\sim4$ | 前 | 広く言語学一般、ドイツ語学及びその周辺領域か ら選定した特定のテーマについて演習する。 |
| 独文 338 | ドイツ語学特演B | 2 | 0-2 | $3\sim4$ | 後 | |

ヨーロッパ文化講座

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受 講 年 次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|--|--------------------------|--------------------------------------|--|---|----------|--|
| 独文 341 独文 342 独文 441 独文 442 独文 453 独文 454 独文 500 | ドイツ言語文化演習Ⅱ ドイツ言語文化演習Ⅲ | 2 2 2 2 2 2 2 4 | $ \begin{array}{c} 0-2 \\ 0-2 \\ 0-2 \\ 0-2 \\ 0-2 \\ 0-2 \\ 0-2 \\ 0-4 \\ \end{array} $ | $2 \sim 3$ $2 \sim 3$ $3 \sim 4$ $3 \sim 4$ 4 4 | 前 後前後前後年 | ドイツの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、映画等について演習する。 「独文341」の連続。 「独文342」の連続。 「独文441」の連続。 「独文441」の連続。 卒業論文作成のための演習指導を行う。 " 特定のテーマについて研究し、卒業論文を作成する。 |

ヨーロッパ文化講座

| J L // | N X 化 | | | | | |
|--|--|---|---|---|---------------------------|---|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学期 | 授 業 内 容 |
| 仏文 101 仏文 102 仏文 200 | 初級フランス語文法 I 初歩フランス語文法 II 基礎演習 II | 2 2 2 | $ \begin{array}{r} 1 - 1 \\ 1 - 1 \\ 1 - 1 \end{array} $ | 1 1 2 | 前後後 | フランス語文法の初歩を学ぶ。 「仏文101」の連続。 少人数討論型のクラスにし、それぞれの属する履 修コースで専門分野に関する研究方法及び論文作 |
| 仏文 201 | フランス語会話 I | 2 | 1-1 | 2 | 前 | │成方法を指導する。 │フランス語の発音訓練と口頭による表現力の基礎 │を養成する。 |
| 仏文 202 仏文 213 仏文 214 仏文 215 仏文 216 仏文 221 | フランス語会話Ⅱ フランス文化研究Ⅱ フランス文化研究Ⅲ フランス文化研究Ⅳ フランス文化研究Ⅳ フランス語文法Ⅰ | 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{c} 1 - 1 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 1 - 1 \end{array} $ | $ \begin{array}{c} 2 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \sim 4 \\ 2 \end{array} $ | 後,後後後後前前前前前前前前前前 | 「仏文201」の連続。 フランス文化の諸相を研究する。 """" フランス語の文法規則についての理解を深め、その 運用能力を養成する。 |
| 仏文 222 仏文 223 | フランス語文法Ⅱ フランス語作文 | 2 2 | $1-1 \\ 1-1$ | $\begin{array}{c} 2\\2\sim3\end{array}$ | 後 前·後 | 運用能力を養成する。 「仏文221」の連続。 フランス語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文 章表現力を養う。 |
| 仏文 225 仏文 226 仏文 231 仏文 240 | 実務フランス語 I 実務フランス語 II フランス文学史 海外文化研修 | 2 2 2 4 | $ \begin{vmatrix} 1 - 1 \\ 1 - 1 \\ 2 - 0 \\ 0 - 4 \end{vmatrix} $ | $ \begin{array}{c} 2 \sim 3 \\ 2 \sim 3 \\ 2 \\ 2 \sim 4 \end{array} $ | 前・後 前・後 後 後 前 | ビジネスの世界で用いられるフランス語を学ぶ。 「仏文225」の連続。 フランス文学の主要作品と思潮を通史として概観する。 フランスでの集中講義やセミナーへの参加、EU諸国への エクスカーションや各国の学生との交流を通して、コミュニケー |
| 仏文 241 | フランスの社会 I | 2 | 2-0 | $2 \sim 4$ | 前 | ション能力の向上と異文化理解の深化を図る。 フランスの現代社会における主なテーマを紹介す る。 |
| 仏文 242 仏文 251 | フランスの社会Ⅱ 比較言語学 | 2 2 | 2 - 0 $1 - 1$ | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 後 前·後 | 「仏文241」の連続 比較言語学の研究史、方法などを紹介し、外国語 能力を養成する目的で特定テーマへの適応を試み |
| 仏文 261 | 比較文学 | 2 | 2 - 0 | $2\sim4$ | 前・後 | る。 比較文学の研究史、方法等を紹介し、特定テーマ への応用を試みる。 |
| 仏文 301 | フランス語会話Ⅲ | 2 | 2-0 | 3 | 前 | 自分の意見を表現し議論できるフランス語会話力を身につける。 |
| 仏文 302 仏文 311 | フランス語会話IV フランス語講読 I | 2 2 | $ \begin{array}{c c} 1-1 \\ 1-1 \end{array} $ | $\begin{array}{c} 3 \\ 3 \sim 4 \end{array}$ | 後 前 | 「仏文301」の連続 小説、誌、演劇、評論、ジャーナリズム等、多種 多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成す る。 |
| 仏文 312 仏文 313 仏文 314 仏文 315 仏文 316 仏文 317 仏文 318 仏文 321 | フランス語講読Ⅱ フランス語講読II フランス語講読IV フランス語講読VI フランス語講読VI フランス語講読VII フランス語講読VII フランス語講読VII エランス語講読VII | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 1-1 | $3 \sim 4$ | 後前後前後前後前 | い リ リ リ リ フランスの雑誌及びテレヒ、のCMより、ことばや画像に重 なり合う情報を分析し、フランス語能力を見につけ る。言語文化現象を考察する。 |
| 仏文 322 | 広告のフランス語Ⅱ | 2 | 1-1 | $3 \sim 4$ | 後 | 「仏文321」の連続 |

ヨーロッパ文化講座

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受 講 年 次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|------------------|-------------------------|--------|---------------|-----------------------|----------|---|
| 仏文 401 | フランス語表現法 I | 2 | 1-1 | $3 \sim 4$ | 前 | 特定のテーマについてフランス語で作文し、口頭 |
| 仏文 402 仏文 421 | フランス語表現法Ⅱ フランス語学特殊講義 | 2 2 | 1 - 1 $2 - 0$ | $3 \sim 4$ $2 \sim 4$ | 後 前·後 | で発表する能力を養成する。 「仏文401」の連続 フランス語学における特定テーマについて講義す |
| 仏文 461 | フランス語実践研修 | 2 | 2-0 | $2\sim4$ | 前・後 | る。 合宿研修したり、フランス語セミナー等に参加 し、実践を通して、基礎語学力の再確認とさらな |
| 仏文 471 | 日仏翻訳通訳入門 | 2 | 1-1 | $2\sim4$ | 前・後 | る進歩に努める。 時事問題をテーマとする実習を通じて、翻訳と通 訳の基礎技術を養成する。 |
| 仏文 481 仏文 482 | 特殊問題演習 I 特殊問題演習 Ⅱ | 2 2 | $0-2 \\ 0-2$ | 4 4 | 前 後 | 卒業論文作成のための演習指導を行う。 " |
| 仏文 500 | 卒業論文 | 4 | 0 - 4 | 4 | 通年 | 特定のテーマについて研究し、卒業論文を作成する。 |

ヨーロッパ文化講座

| コーロッハ | X 10 HF/L | | | | | |
|------------------|------------------------|--------|----------------|--|----------|--|
| 科目番号 | 受業科目 | 単位数 | 週時間 | 受 講 | 学期 | 授 業 内 容 |
| 西文 202 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 1 — 1 | 2 | 後 | スペイン言語文化履修コースの研究領域や提供 される専門科目を概観し、それぞれの研究方法と |
| 西文 271 | スペイン語会話 I | 2 | 2 - 0 | 2 | 前 | 論文・レポートの作成方法を学ぶ。 スペイン語の発音訓練と同時に、身辺のことを テーマに口頭による表現力の基礎を養成する。 |
| 西文 272 | スペイン語会話Ⅱ | 2 | 1 - 1 | 2 | 後 | 「西文271」の連続。身辺のことから日常生活全般 のことにテーマを広げ会話力を養成する。 |
| 西文 282 | スペイン語講読 I | 2 | 2 - 0 | 3 | 前 | スペインのテーマに関する多種多様な西文の精 |
| 西文 291 | スペインの社会と文化 | 2 | 2 - 0 | 2 | 前 | 読を通して語彙を拡充し、読解力を養成する。 伝統・文化や風物及び現代社会事情などに関して様々な資料を活用しながら講義を進め、スペイ |
| 西文 292 | ラテンアメリカの社会と文化 | 2 | 2 - 0 | 2 | 前又 は後 | ンという国について総合的な理解を深める。 文化・伝統や風俗及び現代社会事情などに関し て様々な資料を活用しながら講義を進め、ラテン |
| 西文 375 | スペイン語実践研修 I | 2 | 0-2 | 3 | 前 | アメリカ諸国について総合的な理解を深める。 スペイン語での生活を体験するための合宿研修 |
| 西文 376 | スペイン語実践研修Ⅱ | 2 | 0 - 2 | 3 | 後 | などで、総合的なスペイン語の運用力を高める。 特定のプロジェクト(スペイン弁論大会など) を設定して、計画に立案から実施まで、文書作成 |
| 西文 377 | 海外文化研修 | 4 | 0-4 | $2\sim 4$ | 前 | や、電子メールでのやり取り、会議などをすべて スペイン語で行うことで実践的なコミュニケーション能力を養成する。 スペインでの集中講義やセミナーへの参加、フィールドトリップや現地学生との交流などを通してコミュニケーション能力の向上と異文化理解の深 |
| 西文 383 西文 385 | スペイン語講読Ⅱ スペイン語作文 I | 2 2 | 2 - 0 2 - 0 | 3 | 後 前 | 化を図る。 「西文282」の連続。 総合的な基礎文法の知識をもとにして、西文の 構造や特徴に留意しながら、文章による表現力の 増進をはかる。 |
| 西文 386 西文 392 | スペイン語作文Ⅱ スペイン文学特殊講義 | 2 2 | 1 - 1 $1 - 1$ | $\begin{array}{c} 3 \\ 3 \sim 4 \end{array}$ | 後 後 | 「西文385」の連続。 スペインやイスパノアメリカの特定の作家と作品を取り上げて講義する。 |
| 西文 393 | スペイン文学概論 | 2 | 2-0 | 3 | 前 | スペインやイスパノアメリカの代表的作家やそ の主要作品の鑑賞を通してスペイン文学を歴史的 |
| 西文 394 | スペイン語学概論 | 2 | 2 - 0 | 3 | 後 | に概観する。 スペイン語の歴史とその音韻、形態、統語構造 等を概観した上で、多様な国々におけるその地域 特性を比較し、最近の研究動向などについて学 ぶ。 |
| 西文 396 | 地域研究特殊講義 | 2 | 1 - 1 | $3 \sim 4$ | 後 | スペイン語圏における言語や文化を中心とした 地域研究の特定のテーマを取り上げて講義する。 |
| 西文 397 | 学外実地研修 | 2 | 0-2 | $3 \sim 4$ | 前 | ロ吸が先の行走のケーマを取り上げて講義する。 スペイン語を活用して学外での現地調査や実地 研修(インターンシップ)を行う。 |
| | | | | | | |

ヨーロッパ文化講座

| 科目番号 | 受 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受 講 年 次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|------------------|-------------------------|--------|---|------------------|---------|---|
| 西文 484 | スペイン語講読Ⅲ | 2 | 1 - 1 | 4 | 前 | 地域研究のテーマに関連するような内容を西文で精読し、より高度な読解力を養成する。 |
| 西文 485 西文 487 | スペイン語講読IV スペイン語表現法 I | 2 2 | 1 - 1 1 - 1 | 4 4 | 後 前 | 「西文 484」の連続。 特定のテーマに関する教官のプレゼンテーションと、学生によるレポート作成及び発表そして討論という一連の作業を、すべてスペイン語で行う |
| 西文 488 西文 493 | スペイン語表現法Ⅱ 特殊問題ゼミⅠ | 2 2 | $ \begin{array}{c} 1 - 1 \\ 0 - 2 \end{array} $ | 4 4 | 後前 | ことにより高度な表現力を養成する。 「西文 487」の連続 スペイン及びイスパノアメリカの言語文化や地域社会などに関する特定のテーマを取り上げて個別研究し、発表、討論、批評などを通して卒業論 |
| 西文 494 西文 500 | 特殊問題ゼミⅡ 卒業論文 | 2 4 | $0-2 \\ 0-4$ | 4 4 | 後 通年 | 文作成の演習とする。 「西文 493」の連続。 特定のテーマについて研究し、卒業論文を作成する。 |

英語文化講座 (夜間主)

|)(HD)(IDH | 斯生 (汉间土) | | | | | |
|-----------|---|-----|--------------|---|----|--|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受 | 学期 | 授 業 内 容 |
| 英語 101 | 基礎演習(Study Skills) | 1 | 0 - 2 | 1 | 前 | ノートのとり方、情報検索・整理法、論理構成法 及びレポート作成法を学ぶ。 |
| 英語 111 | リーディング I (Reading I) | 1 | 0-2 | 1 | 前 | 様々な分野の比較的長い英語の論考、エッセイ を、速読して大意を理解する訓練をする。 |
| 英語 112 | リーディング Ⅱ (Reading Ⅱ) | 1 | 0-2 | 1 | 後 | 「リーディングI」の続き。 |
| 英語 121 | 英文法演習(English Grammar & Composition) | 2 | 2 - 2 | 1 | 後 | 英文法と英作文を相互補完的に学習する。 |
| 英語 131 | 英語の発音とリスニング (English Pronunciation & Listening Comprehension) | 1 | 0 - 2 | 1 | 前 | 集中的に英語の発音とリスニングを訓練する。 |
| 英語 141 | 英米文学概論 | 2 | 2 - 0 | 1 | 前 | 英米文学の基礎知識を作品を通して通覧する。 |
| 英語 171 | 言語コミュニケーション概 論 I | 2 | 2-0 | 1 | 前 | 英語学/言語学の基礎を中心に学ぶ。 |
| 英語 201 | 異文化理解 | 2 | 1 — 1 | 2 | 後 | 多様な文化背景を持つ英文の講読や、英語による コミュニケーション活動を通じて異文化について の理解を深める。 |
| 英語 213 | リーディングⅢ (ReadingⅢ) | 1 | 0 - 2 | 2 | 前 | 「リーディングⅡ」の続き。 |
| 英語 221 | ライティング I (Writing I) | 1 | 0 - 2 | 2 | 前 | グローバル及びローカルな問題を扱ったエッセイ の書き方を訓練する。 |
| 英語 222 | ライティング Ⅱ (Writing Ⅱ) | 1 | 0-2 | 2 | 後 | 「ライティングI」の続き。 |
| 英語 231 | オーラルコミュニケーション I (Oral Communication I) | 1 | 0-2 | 2 | 前 | 日常的な場面において、英語によるコミュニケー ション活動が適切に行えるよう訓練する。 |
| 英語 232 | オーラルコミュニケーションⅡ (Oral CommunicationⅡ) | 1 | 0-2 | 2 | 後 | 「オーラルコミュニケーションⅠ」の続き。 |
| 英語 241 | イギリス文学概論 | 2 | 2 - 0 | 1 | 後 | イギリスの代表的作家の主要作品の鑑賞を通して イギリス文学を歴史的に概観する。 |
| 英語 242 | アメリカ文学概論 | 2 | 2-0 | 2 | 前 | アメリカの代表的作家の主要作品の鑑賞を通して アメリカ文学を歴史的に概観する。 |

英語文化講座 (夜間主)

| 天台又16神四 —————— | 坐(夜間主) | | | | | |
|-------------------|---|-----|--------------|------------------|-----|--|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受 溝 年 次 | 学期 | 授 業 内 容 |
| 英語 271 | 言語コミュニケーション概 論Ⅱ | 2 | 2-0 | 1 | 後 | 英語を中心とした応用言語学の基礎を中心に学ぶ。 |
| 英語 272 | 言語コミュニケーション概 論Ⅲ | 2 | 2-0 | 2 | 前 | 英語を中心とした(異文化)コミュニケーション 学/社会言語学の基礎を中心に学ぶ。 |
| 英語 280 | 学外実地研修 | 2 | 0-2 | 2 | 前・後 | 合宿研修を通して、英語のコミュニケーション能力を身につける。 |
| 英語 301 | メディアの英語I | 2 | 1 - 1 | 3 | 前 | 最新の時事問題に使われている英語を学習する。 |
| 英語 302 | メディアの英語Ⅱ | 2 | 1 – 1 | 3 | 後 | TV、ラジオの英語が聞き取れるように訓練する。 |
| 英語 305 | 英語通訳演習 | 2 | 2 - 0 | $3 \sim 4$ | 後 | 同時・逐次通訳等の演習を行う。 |
| 英語 307 | ビジネス英語演習 | 2 | 2-0 | $3\sim 4$ | 前・後 | ビジネスでよく用いられる英語表現について学習 し、使いこなせるようにする。 |
| 英語 308 | 観光英語演習 | 2 | 2-0 | $3 \sim 4$ | 前・後 | 沖縄やその他地域の情報について、観光を中心と して発信できる能力を養う。 |
| 英語 311 | 上級英語演習(Intensive R eading & Writing) | 2 | 1 – 1 | 3 | 前 | グローバルおよびローカルな問題に関する英文を 精読し、自分の意見を論理的な英文で書く練習を する。 |
| 英語 321 | 英文和訳演習 | 2 | 1 — 1 | 3 | 前 | 英文和訳の基礎的なテクニックを訓練する。 |
| 英語 322 | 和文英訳演習 | 2 | 1 - 1 | 3 | 後 | 和文英訳の基礎的なテクニックを訓練する。 |
| 英語 331 | 口頭英語表現 I (Verbal Arts I) | 2 | 1 – 1 | 3 | 前 | パブリックスピーキング、ディベート、朗読、スキットパフォーマンスなどの実践を通して、英語の口頭表現力および論理的な思考能力を高める。 |
| 英語 332 | 口頭英語表現Ⅱ (Verbal ArtsⅡ) | 2 | 1 — 1 | 3 | 後 | 「口頭英語表現I」の続き。 |
| 英語 347 | イギリス文学演習 I | 2 | 1 — 1 | $2\sim4$ | 前 | イギリス文学における主要作品を取り上げ、その 研究方法を学ぶ。 |
| 英語 348 | イギリス文学演習Ⅱ | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 後 | 「イギリス文学演習I」の続き。 |
| 英語 349 | イギリス文化論 | 2 | 1 — 1 | $2\sim 4$ | 前・後 | イギリスの文学、思想、言語など、イギリス文化 の諸相を研究する。 |
| 英語 355 | アメリカ文学演習 I | 2 | 1 – 1 | $2\sim 4$ | 前 | アメリカ文学における主要作品を取り上げ、その 研究方法を学ぶ。 |
| 英語 356 | アメリカ文学演習Ⅱ | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 後 | 「アメリカ文学演習I」の続き。 |
| 英語 357 | アメリカ文化論 | 2 | 1 — 1 | $2\sim4$ | 前・後 | アメリカの文学、思想、言語など、アメリカ文化 の諸相を研究する。 |
| 英語 361 | 英米児童文学 | 2 | 1 — 1 | $2\sim 4$ | 前・後 | 英米児童文学の代表的作品を取り上げ、その研究 方法を学ぶ。 |
| 英語 371 | 英語学演習I | 2 | 1 — 1 | $2 \sim 4$ | 前 | 英語学の様々なトピックについて学ぶ。 |
| 英語 372 | 英語学演習 Ⅱ | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 後 | 「英語学演習Ⅰ」の続き。 |
| 英語 373 | 言語学演習 I | 2 | 1 – 1 | $2\sim 4$ | 前 | 理論言語系、社会言語学、言語に関わる分野の様々なトピックについて学ぶ。 |
| 英語 374 | 言語学演習Ⅱ | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 後 | 「言語学演習Ⅰ」の続き。 |
| 英語 381 | コミュニケーション学演習 I | 2 | 1 — 1 | $2\sim 4$ | 前 | 英語を中心としたコミュニケーション学の様々な トピックについて学ぶ。 |
| | | | | | | |

英語文化講座 (夜間主)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位数 | 週時間 | 受講 年次 | 学期 | 授 業 内 容 |
|--------|---|-----|--------------|------------|-----|---|
| 英語 382 | コミュニケーション学演習 II | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 後 | 「コミュニケーション学演習Ⅰ」の続き。 |
| 英語 387 | 地域語概論 | 2 | 1 - 1 | 2~4 | 前・後 | 言語の普遍性というグローバルな視点から特定地 域の言語のしくみを概説し英語による発信もでき るようにする。 |
| 英語 391 | 応用言語学演習I | 2 | 1 – 1 | $2\sim4$ | 前 | 英語を中心とした応用言語学の様々なトピックに ついて学ぶ。 |
| 英語 392 | 応用言語学演習Ⅱ | 2 | 1 - 1 | $2\sim4$ | 後 | 「応用言語学演習Ⅰ」の続き。 |
| 英語 393 | 応用言語学演習Ⅲ | 2 | 1 — 1 | $2\sim4$ | 前 | 「応用言語学演習Ⅱ」の続き。 |
| 英語 401 | 高等英語セミナー I (Advanced English I) | 2 | 1 – 1 | 4 | 前 | 個人あるいはグループでリサーチしたものを発表し、討論する。英語によるビジネスプレゼンテーション等の技術を訓練する。 |
| 英語 402 | 高等英語セミナー II (Advanced English II) | 2 | 1 — 1 | 4 | 後 | 「高等英語セミナーI」の続き。 |
| 英語 410 | 異文化実地研修 A | 2 | 2-4 | 3~4 | 前・後 | 英語圏諸国の大学等において行われるサマースクールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・歴史・文化等に関する履修するとともに、異文化理解を含める。 |
| 英語 420 | 異文化実地研修B | 2 | 2-4 | 3~4 | 前・後 | 英語圏諸国の大学等において行われるサマースクールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・歴史・文化等に関する履修するとともに、異文化 理解を含める。 |
| 英語 441 | イギリス文学研究 I | 2 | 0 - 2 | $3\sim 4$ | 前 | イギリス文学における重要なテーマについて研究 する。 |
| 英語 442 | イギリス文学研究Ⅱ | 2 | 0-2 | $3 \sim 4$ | 後 | 「イギリス文学研究I」の続き。 |
| 英語 451 | アメリカ文学研究I | 2 | 0 - 2 | $3\sim 4$ | 前 | アメリカ文学における重要なテーマについて研究する。 |
| 英語 452 | アメリカ文学研究Ⅱ | 2 | 0-2 | $3\sim4$ | 後 | 「アメリカ文学研究I」の続き。 |
| 英語 461 | 英米文学特殊講義 I | 2 | 2-0 | $3 \sim 4$ | 前 | 英米の文学や言語文化における特定のテーマに関する講義を行う。 |
| 英語 462 | 英米文学特殊講義Ⅱ | 2 | 2 - 0 | $3 \sim 4$ | | 「英米文学特殊講義Ⅰ」の続き。 |
| 英語 471 | 言語コミュニケーション研究 I | 2 | 1 — 1 | $3 \sim 4$ | 前 | 英語を中心とした言語コミュニケーション分野の 特定のテーマについて学ぶ。 |
| 英語 472 | 言語コミュニケーション研 究Ⅱ | 2 | 1 — 1 | $3 \sim 4$ | 後 | 「言語コミュニケーション研究I」の続き。 |
| 英語 481 | 言語コミュニケーション特殊講義 I | 2 | 1 — 1 | 3~4 | 前 | 英語を中心とした言語コミュニケーション分野の 特定のテーマについて講義を行う。 |
| 英語 482 | 言語コミュニケーション特 殊講義Ⅱ | 2 | 1 — 1 | $3 \sim 4$ | 後 | 「言語コミュニケーション特殊講義Ⅰ」の続き。 |
| 英語 500 | 卒業論文 | 4 | 0-4 | 4 | 通年 | 特定のトピックについて研究し、卒業論文を執筆する。 |
| 英語 501 | 英語資格試験演習 I (Preparation for TOEFL/T OEIC I) | 1 | 0-2 | 1 | 前 | 客観的な英語能力の指標となるTOEFLおよびTOEIC の試験内容について、学習方略を含めた問題演習 を行う。 |
| 英語 502 | 英語資格試験演習 II (Preparation for TOEFL/T OEIC II) | 1 | 0 - 2 | 3 | 後 | 「英語資格試験演習 I 」の内容を受け、実際のTO EFL/TOEICで英語専攻学生にふさわしいレベルの英語力を育成する・「英語資格試験演習 I 」を履修済みのこと。 |

履修コースと専攻課程の対応表

国際言語文化学科

| | | | | 履 | | 修 | | コ | | _ | 7 | ス | | | | | |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--------|----|----|---------|
| | | | | 昼 | | | | 間 | | | Ë | È | | | | | 夜間主 |
| | 琉 | 琉 | 中 | 朝 | 琉 | 日 | 中 | 琉 | 日 | 中 | 総 | 英 | 日 | ド | フ | ス | 英 |
| | 球 | 球 | 琉 | 鮮 | 球 | 本 | 国 | 球 | 本 | 国 | 合 | 語 | 本 | イ | ラ | ~ | 語 |
| | 史 | 民 | 関 | 文 | 文 | 文 | 文 | 語 | 語 | 語 | | 文 | • | ツ | ン | イ | 文 |
| | | 俗 | 係 | 学 | 学 | 学 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 化 | 国 | 言 | スー | ン | 化 |
| | | 学 | 史 | | | | | | | | | | 際 | 語 | 言 | 言 | |
| | | | | | | | | | | | | | 事情 | 文化 | 語 | 語 | |
| 専攻課程 | | | | | | | | | | | | | 门月 | 化 A | 文化 | 文化 | |
| | | | | | | | | | | | | | | В | A | 16 | |
| | | | | | | | | | | | | | | ו | В | | |
| 琉球アジア文化 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |
| · | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 英語文化 | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | \circ |
| ヨーロッパ文化 | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | |

2 履修コース別履修要件

琉球史コース・必修科目

| -518443450 | 7 7 10 11 H | | | | | | | | | | |
|------------|-------------|----|----|----|----|--------|---------|----|----|----|----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 琉史 111 | 琉球史概論 I | 2 | 1 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 琉史 112 | 琉球史概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| 琉史500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

琉球史コース・選択 (コース・コア) 科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|-----------|----|----------|----|----|--------|--------------|----|----|----|----|
| 琉史 311 | 琉球史基礎演習I | 2 | 3 | 前 | | 琉史 211 | 琉球史史料講読I | 2 | 2 | 前 | |
| 琉史312 | 琉球史基礎演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 琉史 212 | 琉球史史料講読Ⅱ | 2 | 2 | 後 | |
| 琉史313 | 琉球史基礎演習Ⅲ | 2 | 3 | 前 | | 琉史 213 | 琉球史史料講読Ⅲ | 2 | 3 | 前 | |
| 琉史314 | 琉球史基礎演習IV | 2 | 3 | 後 | | 琉史 214 | 琉球史史料講読IV | 2 | 3 | 後 | |
| 琉史 321 | 琉球史演習I | 2 | 4 | 前 | | 琉史 215 | 琉球史史料講読V | 2 | 2 | 前 | |
| 琉史322 | 琉球史演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | 琉史 216 | 琉球史史料講読VI | 2 | 2 | 後 | |
| 琉史 323 | 琉球史演習Ⅲ | 2 | 4 | 前 | | 琉史 217 | 琉球史史料講読Ⅶ | 2 | 3 | 前 | |
| 琉史324 | 琉球史演習IV | 2 | 4 | 後 | | 琉史 218 | 琉球史史料講読Ⅷ | 2 | 3 | 後 | |
| 琉史 411 | 琉球史研究I | 2 | $2\sim3$ | 前 | | 琉史 491 | 歴史伝承史料調査実習 I | 2 | 2 | 前 | |
| 琉史 412 | 琉球史研究Ⅱ | 2 | $2\sim3$ | 後 | | 琉史 492 | 歴史伝承史料調査実習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | |
| 琉史 413 | 琉球史研究Ⅲ | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 琉史414 | 琉球史研究IV | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| 琉史 415 | 琉球史研究V | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 琉史416 | 琉球史研究VI | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| 琉史417 | 琉球史研究VII | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 琉史 418 | 琉球史研究Ⅷ | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位以上履修すること。ただし、琉球史基礎演習、琉球史演習8単位を含むこと。 注2)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は、選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。

琉球史コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|------------|-----|----------|-----|----|------|------------|-------------|----|----|----|
| | コース関連A群 | | | | | | コース関連B群 | | | | |
| | 歴史民俗領域の科目い | ずれて | *\psi 16 | 単位以 | | | 琉球アジア文化専攻の | ₹ 14 | | | |
| | 上 | | | | | | 単位以上 | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

- 注1)コース関連A群には、琉球民俗学概論 $I \cdot II 4$ 単位、または中琉関係史概論 $I \cdot II 4$ 単位を含むこと。
- 注2) コース関連B群には、琉球アジア専攻が提供する概論 I・Ⅱのいずれか4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

琉球民俗学コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|-----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 琉民 111 | 琉球民俗学概論 I | 2 | 1 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 琉民 112 | 琉球民俗学概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| 琉民500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

琉球民俗学コース・選択(コース・コア)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|-------------|----|-----|-----|----|--------|-----------|----|-----|----|----|
| 琉民 211 | 琉球民俗学野外調査 I | 2 | 2~3 | 前•後 | | 琉民 411 | 琉球民俗学研究I | 2 | 2~4 | 前 | |
| 琉民212 | 琉球民俗学野外調査Ⅱ | 2 | 2~3 | 前•後 | | 琉民 412 | 琉球民俗学研究Ⅱ | 2 | 2~4 | 後 | |
| 琉民 311 | 琉球民俗学基礎演習I | 2 | 3 | 前 | | 琉民 413 | 琉球民俗学研究Ⅲ | 2 | 2~4 | 前 | |
| 琉民312 | 琉球民俗学基礎演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 琉民 414 | 琉球民俗学研究IV | 2 | 2~4 | 後 | |
| 琉民313 | 琉球民俗学基礎演習Ⅲ | 2 | 3 | 前 | | 琉民 415 | 琉球民俗学研究V | 2 | 2~4 | 前 | |
| 琉民314 | 琉球民俗学基礎演習IV | 2 | 3 | 後 | | 琉民 416 | 琉球民俗学研究VI | 2 | 2~4 | 後 | |
| 琉民321 | 琉球民俗学演習I | 2 | 4 | 前 | | 琉民 417 | 琉球民俗学研究Ⅶ | 2 | 2~4 | 前 | |
| 琉民322 | 琉球民俗学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | 琉民 418 | 琉球民俗学研究Ⅷ | 2 | 2~4 | 後 | |
| 琉民323 | 琉球民俗学演習Ⅲ | 2 | 4 | 前 | | | | | | | |
| 琉民324 | 琉球民俗学演習IV | 2 | 4 | 後 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

- 注1) 以上の選択科目(コース・コア科目)から 12 単位以上を履修すること。ただし、琉球民俗学野外調査・琉球民俗学基礎演習から8単位を含むこと。
- 注2) 以上の選択科目 (コース・コア科目) から 12 単位を超過した分は選択科目 (コース関連科目A群) に振り替えることができる。

琉球民俗学コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|------------|-----|------|------|----|------|-------------|------|------------------|-----|----|
| | コース関連科目A群 | | | | | | コース関連科目B群 | | | | |
| | 歴史民俗領域の科目の | いずれ | でも 1 | 6 単位 | | | 琉球アジア文化専攻の科 | 目のいず | " れでも | 14単 | |
| | 以上 | | | | | | 位以上 | | | | |

- 注1) コース関連科目A群には、琉球史概論 $I \cdot \Pi 4$ 単位、または中琉関係史概論 $I \cdot \Pi 4$ 単位を含むこと。
- 注2) コース関連科目B群には、琉球アジア文化専攻が提供する概論Ⅰ・Ⅱ4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

中琉関係史コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|-----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 中琉 111 | 中琉関係史概論 I | 2 | 1 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 中琉 112 | 中琉関係史概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| 中琉 500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

中琉関係史コース・選択(コース・コア)科目

| 1 71-12471-2 | · · · · · · | | | | | 1 | ı | | | | |
|--------------|-------------|----|----------|----|----|--------|-------------|----|----|----|----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
| 中琉 311 | 中琉関係史基礎演習 I | 2 | 3 | 前 | | 中琉 211 | 中琉関係史史料講読 I | 2 | 2 | 前 | |
| 中琉 312 | 中琉関係史基礎演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 中琉 212 | 中琉関係史史料講読Ⅱ | 2 | 2 | 後 | |
| 中琉 313 | 中琉関係史基礎演習Ⅲ | 2 | 3 | 前 | | 中琉 213 | 中琉関係史史料講読Ⅲ | 2 | 3 | 前 | |
| 中琉 314 | 中琉関係史基礎演習IV | 2 | 3 | 後 | | 中琉 214 | 中琉関係史史料講読IV | 2 | 3 | 後 | |
| 中琉 321 | 中琉関係史演習 I | 2 | 4 | 前 | | 中琉 491 | 中琉関係史料調査実習I | 2 | 2 | 前 | |
| 中琉 322 | 中琉関係史演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | 中琉 492 | 中琉関係史料調査実習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | |
| 中琉 323 | 中琉関係史演習Ⅲ | 2 | 4 | 前 | | | | | | | |
| 中琉 324 | 中琉関係史演習IV | 2 | 4 | 後 | | | | | | | |
| 中琉 411 | 中琉関係史研究 I | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 中琉 412 | 中琉関係史研究Ⅱ | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| 中琉 413 | 中琉関係史研究Ⅲ | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 中琉 414 | 中琉関係史研究IV | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| 中琉 415 | 中琉関係史研究V | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 中琉 416 | 中琉関係史研究VI | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| 中琉 417 | 中琉関係史研究VII | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 中琉 418 | 中琉関係史研究Ⅷ | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位以上履修すること。ただし、中琉関係史基礎演習、中琉関係史演習8単位を含むこと。

注2)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は、選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。

中琉関係史コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|------------|-----|---------|------|----|------|----------------|-----|-------|----|
| | | | | | | | 単位 | | | |
| | コース関連A群 | | | | | | コース関連B群 | | | |
| | 歴史民俗領域の科目い | ずれて | °₺ 16 ो | 单位以上 | | | 琉球アジア文化専攻の科目のい | ずれで | to 14 | |
| | | | | | | | 単位以上 | | | |
| | | | | | | | | | | |

注 1) コース関連A群には、琉球史概論 $I \cdot II 4$ 単位、または琉球民俗学概論 $I \cdot II 4$ 単位を含むこと。

注2) コース関連B群には、琉球アジア専攻が提供する概論 I・Ⅱのいずれか4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

琉球文学コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 琉文 111 | 琉球文学概論 I | 2 | 1 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 琉文 112 | 琉球文学概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| 琉文500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 逓 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

琉球文学コース・選択(コース・コア)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|------------|----|-----|----|----|--------|------------|----|-----|----|----|
| 琉文 211 | 琉球文学講読 I | 2 | 2~3 | 前 | | 琉文 323 | 琉球文学演習Ⅲ | 2 | 4 | 前 | |
| 琉文212 | 琉球文学講読Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | 琉文 324 | 琉球文学演習IV | 2 | 4 | 後 | |
| 琉文213 | 琉球文学講読Ⅲ | 2 | 2~3 | 前 | | 琉文 411 | 琉球文学特講 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 琉文214 | 琉球文学講読IV | 2 | 2~3 | 後 | | 琉文 412 | 琉球文学特講Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 琉文 311 | 琉球文学基礎演習I | 2 | 3 | 前 | | 琉文 413 | 琉球文学特講Ⅲ | 2 | 2~3 | 前 | |
| 琉文312 | 琉球文学基礎演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 琉文 414 | 琉球文学特講IV | 2 | 2~3 | 後 | |
| 琉文313 | 琉球文学基礎演習Ⅲ | 2 | 3 | 前 | | 琉文 491 | 琉球文学野外調査 I | 2 | 2~4 | 前 | |
| 琉文314 | 琉球文学基礎演習IV | 2 | 3 | 後 | | 琉文 492 | 琉球文学野外調査Ⅱ | 2 | 2~4 | 後 | |
| 琉文321 | 琉球文学演習 I | 2 | 4 | 前 | | | | | | | |
| 琉文322 | 琉球文学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

- 注1) 以上の選択科目(コース・コア科目)から 12 単位以上を履修すること。ただし、琉球文学基礎演習・琉球文学演習8単位を含むこと。
- 注2) 以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。

琉球文学コース・選択 (コース関連) 科目

| | | 1XE/ 11 | Н | | | | | | | | |
|------|------------|--------------|------|-----|----|------|-------------|------|-----|-------------|----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
| | コース関連科目A群 | | | | | | コース関連科目B群 | | | | |
| | 文学領域の科目のいす | ゛ れでも | 16単位 | 立以上 | | | 琉球アジア文化専攻の利 | 斗目のい | ずれで | t 14 | |
| | | | | | | | 単位以上 | | | | |

- 注1) コース関連科目A群には、日本文学概論 $I \cdot II 4$ 単位、または中国文学概論 $I \cdot II 4$ 単位を含むこと。
- 注2) コース関連科目B群には、琉球アジア文化専攻が提供する概論 $I \cdot II$ のいずれか4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

日本文学コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 日文 111 | 日本文学概論 I | 2 | 1 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 日文 112 | 日本文学概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| 日文500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 逓 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

日本文学コース・選択(コース・コア)科目

| 11744 | 107 1 | . , | 1111 | | | | | | | | |
|--------|---------------|-----|------|----|----|--------|-------------|----|-----|----|----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
| 日文 211 | 日本古典文学講読 I | 2 | 2~3 | 前 | | 目文 321 | 日本古典文学演習 I | 2 | 4 | 前 | |
| 日文212 | 日本古典文学講読Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | 日文 322 | 日本古典文学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | |
| 日文213 | 日本古典文学講読Ⅲ | 2 | 2~3 | 前 | | 目文 323 | 日本近現代文学演習 I | 2 | 4 | 前 | |
| 日文214 | 日本古典文学講読IV | 2 | 2~3 | 後 | | 目文 324 | 日本近現代文学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | |
| 日文221 | 日本近現代文学講読 I | 2 | 2~3 | 前 | | 目文 325 | 近現代沖縄文学演習I | 2 | 4 | 前 | |
| 日文222 | 日本近現代文学講読Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | 月文 326 | 近現代沖縄文学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | |
| 日文223 | 日本近現代文学講読Ⅲ | 2 | 2~3 | 前 | | 日文 331 | 書道 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 日文224 | 日本近現代文学講読IV | 2 | 2~3 | 後 | | 日文 332 | 書道Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 日文231 | 近現代沖縄文学講読 I | 2 | 2~3 | 前 | | 日文 341 | 日本文学野外実習 I | 2 | 2~4 | 前 | |
| 日文232 | 近現代沖縄文学講読Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | 日文 342 | 日本文学野外実習Ⅱ | 2 | 2~4 | 後 | |
| 日文241 | 日本文学史 I | 2 | 2~3 | 前 | | 日文 411 | 日本文学特講I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 日文242 | 日本文学史Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | 目文 412 | 日本文学特講Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 日文 311 | 日本古典文学基礎演習 I | 2 | 3 | 前 | | 日文 413 | 日本文学特講Ⅲ | 2 | 2~3 | 前 | |
| 日文312 | 日本古典文学基礎寅習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 日文 414 | 日本文学特講IV | 2 | 2~3 | 後 | |
| 日文313 | 日本近現代文学基礎演習I | 2 | 3 | 前 | | 日文 415 | 日本文学特講V | 2 | 2~3 | 前 | |
| 日文314 | 日本近現代文学基礎演習II | 2 | 3 | 後 | | 月文 416 | 日本文学特講VI | 2 | 2~3 | 後 | |
| | | | | | | 日文 431 | 近現代沖縄文学特講I | 2 | 2~3 | 前 | |
| | | | | | | 日文 432 | 近現代沖縄文学特講Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

- 注1) 以上の選択科目(コース・コア科目)から 12 単位以上を履修すること。ただし、日本古典文学基礎演習・日本古典文学演習から8単位、あるいは日本近現代文学基礎演習・日本近現代文学演習・近現代沖縄文学演習から8単位を含むこと。
- 注2) 以上の選択科目 (コース・コア科目) から 12 単位を超過した分は選択科目 (コース関連科目A群) に振り替えることができる。

日本文学コース・選択 (コース関連) 科目

| 1.124 | 70,000 | 3~·· | | | | | | | | | |
|-------|------------|------|------|-----|----|------|-------------|------|-----|------|----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
| | コース関連科目A群 | | | | | | コース関連科目B群 | | | | |
| | 文学領域の科目のいす | "れでも | 16単位 | 立以上 | | | 琉球アジア文化専攻の利 | 斗目のい | ずれで | t 14 | |
| | | | | | | | 単位以上 | | | | |

- 注 1) コース関連科目A群には、琉球文学概論 $I \cdot II 4$ 単位、または中国文学概論 $I \cdot II 4$ 単位を含むこと。
- 注2) コース関連科目B群には、琉球アジア文化専攻が提供する概論 I・Ⅱのいずれか4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

中国文学コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 中文 111 | 中国文学概論 I | 2 | 1 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 中文 112 | 中国文学概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| 中文500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

中国文学コース・選択(コース・コア)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|-------------|----|----------|----|----|--------|-------------|----|----------|----|----|
| 中文 311 | 中国文学基礎演習I | 2 | 3 | 前 | | 中文 211 | 中国古典文学講読 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 中文312 | 中国文学基礎演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 中文 212 | 中国古典文学講読Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 中文313 | 中国文学基礎演習Ⅲ | 2 | 3 | 前 | | 中文 213 | 中国近現代文学講読 [| 2 | $2\sim3$ | 前 | |
| 中文314 | 中国文学基礎演習IV | 2 | 3 | 後 | | 中文 214 | 中国近現代文学講読Ⅱ | 2 | $2\sim3$ | 後 | |
| 中文321 | 中国文学演習 I | 2 | 4 | 前 | | 中文 491 | 中国文学野外実習I | 2 | 3~4 | 前 | |
| 中文322 | 中国文学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | 中文 492 | 中国文学野外実習Ⅱ | 2 | 3~4 | 後 | |
| 中文323 | 中国文学演習Ⅲ | 2 | 4 | 前 | | | | | | | |
| 中文324 | 中国文学演習IV | 2 | 4 | 後 | | | | | | | |
| 中文 411 | 中国古典文学特講 I | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 中文412 | 中国古典文学特講Ⅱ | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| 中文413 | 中国古典文学特講Ⅲ | 2 | $3\sim4$ | 前 | | | | | | | |
| 中文414 | 中国古典文学特講IV | 2 | $3\sim4$ | 後 | | | | | | | |
| 中文 421 | 中国近現代文学特講I | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 中文422 | 中国近現代文学特講Ⅱ | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| 中文 423 | 中国近現代文学特講Ⅲ | 2 | $3\sim4$ | 前 | | | | | | | |
| 中文 424 | 中国近現代文学特講IV | 2 | $3\sim4$ | 後 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

- 注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位以上履修すること。ただし、中国文学基礎演習、中国文学演習8単位を含むこと。
- 注2)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は、選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。

中国文学コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|-----------------------|-------|-------|----|----|------|-------------------------------|------|-----|-------------|----|
| | コース関連A群 文学領域の科目いずれ | いでも 1 | 6 単位」 | 以上 | | | コース関連B群 琉球アジア文化専攻の 単位以上 | 科目のい | ずれで | t 14 | |

- 注1) コース関連A群には、琉球文学概論 I・Ⅱ4単位、または日本文学概論 I・Ⅱ4単位を含むこと。
- 注2) コース関連B群には、琉球アジア専攻が提供する概論 I・Ⅱのいずれか4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

琉球語学コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 琉語 111 | 琉球語学概論 I | 2 | 1 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 琉語 112 | 琉球語学概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| 琉語 500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

琉球語学コース・選択(コース・コア)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|------------|----|-----|----|----|--------|-------------|----|-----|----|----|
| 琉語 311 | 琉球語学基礎演習 I | 2 | 3 | 前 | | 琉語 221 | 音声学 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 琉語 312 | 琉球語学基礎演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 琉語 222 | 音声学Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 琉語 321 | 琉球語学演習 I | 2 | 4 | 前 | | 琉語 351 | 言語理学美媽雅I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 琉語 322 | 琉球語学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | 琉語 352 | 言語地理学美地關查II | 2 | 2~3 | 後 | |
| 琉語 411 | 琉球語学特講 I | 2 | 2~3 | 前 | | 琉語 421 | 琉球語学野外調查I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 琉語 412 | 琉球語学特講Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | 琉語 422 | 琉球語学野外調査II | 2 | 2~3 | 後 | |
| 琉語 413 | 琉球語学特講Ⅲ | 2 | 2~3 | 前 | | 琉語 423 | 琉球語学野外調查III | 2 | 2~3 | 前 | |
| 琉語 414 | 琉球語学特講IV | 2 | 2~3 | 後 | | 琉語 424 | 琉球評学野外調查IV | 2 | 2~3 | 後 | |
| 琉語 415 | 琉球語学特講V | 2 | 2~3 | 前 | | | | | | | |
| 琉語 416 | 琉球語学特講VI | 2 | 2~3 | 後 | | | | | | | |

注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から 12 単位以上を履修すること。ただし、琉球語学基礎演習4単位、琉球語学演習4単位 以上を含むこと。

注 2)以上の選択科目(コース・コア科目)から 12 単位以上を超過した分は選択科目(コース関連科目 A 群)に振り替えることができる。

琉球語学コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|------------|------------------|-----|-----|----|------|-----------|------|------|-------|----|
| | コース関連科目A群 | | | | | | コース関連科目B群 | | | | |
| | 言語領域の科目のいす | " れでも | 16単 | 立以上 | | | 琉球アジア文化専攻 | の科目の | のいずれ | でも 14 | |
| | | | | | | | 単位以上 | | | | |

- 注 1) コース関連科目A群には、日本語学概論 $I \cdot II 4$ 単位、または中国語学概論 $I \cdot II 4$ 単位を含むこと。
- 注2) コース関連科目B群には、琉球アジア文化専攻が提供する概論 I・Ⅱのいずれか4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

日本語学コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 日語 111 | 日本語学概論 I | 2 | 1 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 日語 112 | 日本語学概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| 日語 500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

日本語学コース・選択(コース・コア)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|------------|----|-----------|----|----|--------|-----------|----|-----|----|----|
| 日語 121 | 日本語文法論 I | 2 | 2~3 | 前 | | 日語 411 | 日本語学特講 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 日語 122 | 日本語文法論Ⅱ | 2 | $2\sim 3$ | 後 | | 日語 412 | 日本語学特講Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 日語 131 | 古典日本語概論 I | 2 | $2\sim 3$ | 前 | | 日語 421 | 日本語史 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 日語 132 | 古典日本語概論Ⅱ | 2 | $2\sim 3$ | 後 | | 日語 422 | 日本語史Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 日語 211 | 言語学外書講読 I | 2 | 3~4 | 前 | | 日語 431 | 日本語教授法 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 日語212 | 言語学外書講読Ⅱ | 2 | 3~4 | 後 | | 日語 432 | 日本語教授法Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 日語 311 | 日本語学基礎演習 I | 2 | 3 | 前 | | 日語 441 | 日本語教材研究 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 日語312 | 日本語学基礎演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 日語 442 | 日本語教材研究Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 日語 321 | 日本語学演習 I | 2 | 4 | 前 | | | | | | | |
| 日語 322 | 日本語学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | | | | | | |
| 日語 331 | 日本語教育学概論 I | 2 | 2 | 前 | | | | | | | |
| 日語 332 | 日本語教育学概論Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | | | | | | |
| 日語 341 | 日本語教育実習 I | 2 | 4 | 前 | | | | | | | |
| 日語 342 | 日本語教育実習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | | | | | | |
| 日語 351 | 日本事情 | 2 | 3 | 前 | | | | | | | |

注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から 12 単位以上を履修すること。ただし、日本語学基礎演習 4 単位、日本語学演習 4 単位 以上を含むこと。

注2)以上の選択科目(コース・コア科目)から 12 単位以上を超過した分は選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。

日本語学コース・選択(コース関連)科目

| □·I H⊟ 1 | ~ ~~ / | 3~ <u>-</u> 7 | | | | | | | | | |
|----------|------------|---------------|-----|-----|----|------|------------|------|------|-------|----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
| | コース関連科目A群 | | | | | | コース関連科目B群 | | | | |
| | 言語領域の科目のいす | "れでも | 16単 | 立以上 | | | 琉球アジア文化専攻の | の科目の | のいずれ | でも 14 | |
| | | | | | | | 単位以上 | | | | |

- 注1)コース関連科目A群には、琉球語学概論 I ・ II 4 単位、または中国語学概論 I ・ II 4 単位を含むこと。
- 注2) コース関連科目B群には、琉球アジア文化専攻が提供する概論 $I \cdot II$ のいずれか4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

中国語学コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 中語 111 | 中国語学概論 I | 2 | 2 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 中語 112 | 中国語学概論Ⅱ | 2 | 2 | 後 | |
| 中語 500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

中国語学コース・選択 (コース・コア) 科目

| 1 1 1 1 1 1 | - /, <u>\&</u> /\ (- /, | - / / | 110 | | | | | | | | |
|-------------|------------------------------|-------|----------|----|----|--------|----------|----|----------|----|----|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
| 中語 311 | 中国語学基礎演習 I | 2 | 3 | 前 | | 中語 425 | 中国語史 I | 2 | $2\sim3$ | 前 | |
| 中語 312 | 中国語学基礎演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 中語 426 | 中国語史Ⅱ | 2 | $2\sim3$ | 後 | |
| 中語 313 | 中国語学演習I | 2 | 4 | 前 | | 中語 427 | 中国語史Ⅲ | 2 | $3\sim4$ | 前 | |
| 中語 314 | 中国語学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | 中語 428 | 中国語史IV | 2 | $3\sim4$ | 後 | |
| 中語 321 | 中国語 LL 演習 I | 2 | 2 | 前 | | 中語 431 | 中国語学講読 I | 2 | $2\sim3$ | 前 | |
| 中語 322 | 中国語 LL 演習 Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 中語 432 | 中国語学講読Ⅱ | 2 | $2\sim3$ | 後 | |
| 中語 411 | 中国語学特講I | 2 | $2\sim3$ | 前 | | 中語 433 | 中国語学講読Ⅲ | 2 | $3\sim4$ | 前 | |
| 中語 412 | 中国語学特講Ⅱ | 2 | $2\sim3$ | 後 | | 中語 434 | 中国語学講読IV | 2 | $3\sim4$ | 後 | |
| 中語 413 | 中国語学特講Ⅲ | 2 | $3\sim4$ | 前 | | 中語 490 | 海外文化研修 | 2 | $2\sim3$ | 前後 | |
| 中語 414 | 中国語学特講IV | 2 | $3\sim4$ | 後 | | | | | | | |
| 中語 421 | 中国語文法論 I | 2 | $2\sim3$ | 前 | | | | | | | |
| 中語 422 | 中国語文法論Ⅱ | 2 | $2\sim3$ | 後 | | | | | | | |
| 中語 423 | 中国語文法論Ⅲ | 2 | $3\sim4$ | 前 | | | | | | | |
| 中語 424 | 中国語文法論IV | 2 | $3\sim4$ | 後 | | | | | | | |

注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から 12 単位以上履修すること。ただし、中国語学基礎演習、中国語学演習 8 単位を含むこと。

注2)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は、選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。

中国語学コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|------------|------|-------|----|----|------|------------|------|-----|-------------|----|
| | コース関連A群 | | | | | | コース関連B群 | | | | |
| | 言語領域の科目いずれ | にでも1 | 6 単位」 | 以上 | | | 琉球アジア文化専攻の | 科目のい | ずれで | b 14 | |
| | | | | | | | 単位以上 | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

- 注1) コース関連A群には、琉球語学概論 $I \cdot \Pi 4$ 単位、または日本語学概論 $I \cdot \Pi 4$ 単位を含むこと。
- 注2) コース関連B群には、琉球アジア専攻が提供する概論 I・Ⅱのいずれか4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

朝鮮文学コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 朝文 111 | 朝鮮文学概論 I | 2 | 1 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 朝文 112 | 朝鮮文学概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| | | | | | | 朝文 500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | |

朝鮮文学コース・選択(コース・コア)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|-----------|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|-----|
| 朝文 311 | 朝鮮文学基礎演習I | 2 | 3 | 前 | | 朝文 211 | 朝鮮文学講読 I | 2 | 2 | 前 | |
| 朝文312 | 朝鮮文学基礎演習Ⅱ | 2 | 3 | 後 | | 朝文 212 | 朝鮮文学講読Ⅱ | 2 | 2 | 後 | |
| 朝文321 | 朝鮮文学演習 I | 2 | 4 | 前 | | 朝文 213 | 朝鮮文学講読Ⅲ | 2 | 3 | 前 | |
| 朝文322 | 朝鮮文学演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | 朝文 214 | 朝鮮文学講読IV | 2 | 3 | 後 | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | 1 | l | | | l | l | | 1 1 |

注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位以上履修すること。ただし、朝鮮文学基礎演習、朝鮮文学演習8単位を含むこと。

注2)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は、選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。

朝鮮文学コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 単位 年次 学 | | 学期 | 備考 | |
|------|-----------------------|-----|-------|----|----|------|-------------------------------|------|-----|-------------|--|
| | コース関連A群 文学領域の科目いずか | でも1 | 6 単位」 | 以上 | | | コース関連B群 琉球アジア文化専攻の 単位以上 | 科目のい | ずれで | ₺ 12 | |

- 注1)コース関連A群には、琉球文学概論、日本文学概論、中国文学概論のいずれかの概論 $I \cdot II 4$ 単位を含むこと。
- 注2) コース関連B群には、琉球アジア専攻が提供する概論 I・Ⅱのいずれか4単位を含むこと(領域内の概論も可)。

総合履修コース・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--------|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|----|
| 琉ア 101 | 基礎演習 I | 2 | 1 | 前 | | 琉ア 321 | 総合履修演習 I | 2 | 4 | 前 | |
| 琉ア 102 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 琉ア 322 | 総合履修演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | |
| 琉ア 500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

- 注1)総合履修コースの卒業論文には、主査のほかに副査を1人以上つけることとする。副査は、他学科、他専攻の教員でも可能だが、そのばあい、主査となる教員(指導教員)と相談のうえ、決定すること。
- 注2)総合履修演習Ⅰ、Ⅱは主査となる教員の提供する演習科目を履修すること。

総合履修コース・選択(コース・コア)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|-----------|----|-----------|----|----|--------|----------|----|-----------|----|----|
| 日語 111 | 琉球史概論 I | 2 | 1~2 | 前 | | 琉語 111 | 琉球語学概論 I | 2 | 1~2 | 前 | |
| 日語 112 | 琉球史概論Ⅱ | 2 | $1\sim 2$ | 後 | | 琉語 112 | 琉球語学概論Ⅱ | 2 | 1~2 | 後 | |
| 琉民 111 | 琉球民俗学概論 I | 2 | $1\sim 2$ | 前 | | 中語 111 | 中国語学概論 I | 2 | 1~2 | 前 | |
| 琉民 112 | 琉球民俗学概論Ⅱ | 2 | $1\sim 2$ | 後 | | 中語 112 | 中国語学概論Ⅱ | 2 | $1\sim 2$ | 後 | |
| 中琉 111 | 中琉関係史概論 I | 2 | $1\sim 2$ | 前 | | 日語 111 | 日本語学概論 I | 2 | $1\sim 2$ | 前 | |
| 中琉 112 | 中琉関係史概論Ⅱ | 2 | $1\sim 2$ | 後 | | 日語 112 | 日本語学概論Ⅱ | 2 | $1\sim 2$ | 後 | |
| 中文 111 | 中国文学概論 I | 2 | $1\sim 2$ | 前 | | 日文 111 | 日本文学概論 I | 2 | $1\sim 2$ | 前 | |
| 中文 112 | 中国文学概論Ⅱ | 2 | $1\sim 2$ | 後 | | 日文 112 | 日本文学概論Ⅱ | 2 | $1\sim 2$ | 後 | |
| 琉文 111 | 琉球文学概論 I | 2 | $1\sim 2$ | 前 | | 朝文 111 | 朝鮮文学概論 I | 2 | $1\sim 2$ | 前 | |
| 琉文 112 | 琉球文学概論Ⅱ | 2 | $1\sim 2$ | 後 | | 朝文 112 | 朝鮮文学概論Ⅱ | 2 | $1\sim 2$ | 後 | |
| | | | | | | | | | | | |

- 注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位以上を履修すること。
- 注2) 卒業論文の主査となる教員の提供する概論科目 I・Ⅱ 4単位、および、副査となる教員の提供(もしくは指定)する科目4単位を含むこと。副査が琉球アジア文化専攻以外のばあい、その教員の所属する専攻、学科の科目をコース・コア科目として認定することができる。

総合履修コース・選択(コース関連)科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 単位 年次 学期 | | | 備考 | |
|--------------|-----------|------|-----|-----|----|------|---------------|------|------|-------|--|
| | コース関連科目A群 | | | | | | コース関連科目B群 | | | | |
| | 琉球アジア文化専巧 | 女の科目 | のうち | 、いず | | | 主査および副査の | 教員の持 | 指定する | 科目 14 | |
| れでも 16 単位以上、 | | | | | | | 単位以上 | | | | |

注1) コース関連科目A群には、卒業論文の主査となる教員の提供する科目8単位以上を履修すること。なお、その8単位には基礎演習科目4単位(たとえば、琉球史基礎演習 I・II、琉球民俗学基礎演習 I・II、あるいは、日本文学基礎演習 I・II、日本語学基礎演習 I・II、あるいは、中国語学基礎演習 I・II、中国文学基礎演習 I・II、中琉関係史基礎演習 I・II、琉球文学基礎演習 I・II、朝鮮文学基礎演習 I・IIなど)が含まれる。

英語文化コース (必修科目)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備 | 考 | 科目番 | 号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 期 | 備 | 考 |
|----------------|---|----|-----|-----|---|---|------|-----|-------------------------------------|----|-----|-----|---|---|
| 英言 101 | 基礎演習 (Study Skills) | 1 | 1 | 前 | | | 英言 2 | 242 | アメリカ文学概論 | 2 | 2 | 前 | | |
| 英言 111 | リーディング I (Reading I) | 1 | 1 | 前 | | | 英言 2 | 271 | 言語コミュニケーショ ン概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | | |
| 英言 112 | リーディング Ⅱ (Reading Ⅱ) | 1 | 1 | 後 | | | 英言 2 | 272 | 言語コミュニケーション概論Ⅲ | 2 | 2 | 前 | | |
| 英言 121 | 英文法演習(English Grammar & | 2 | 1 | 前 | | | | | メディアの英語 I 上級英語演習 | 2 | 3 | 前前 | | |
| 古言 131 | Composition) 英語の発音とリスニン | 1 | 1 | 後 | | | | | (Intensive Reading & Writing) | | | | | |
| 英 吉 131 | グ(English Pronunciation & | 1 | 1 | 1/2 | | | 英言 3 | 331 | 口頭英語表現 I (Verbal Arts I) | 2 | 3 | 前 | | |
| | Listening Comprehension) | | | | | | 英言 4 | 101 | 高等英語セミナー I (Advanced English I) | 2 | 4 | 前 | | |
| 英言 141 | 英米文学概論 | 2 | 1 | 前 | | | 英言 4 | 102 | 高等英語セミナーⅡ | 2 | 4 | 後 | | |
| 英言 171 | 言語コミュニケーショ ン概論 I | 2 | 1 | 前 | | | | | (Advanced English II) 英語資格試験演習 I | - | - | | | |
| 英言 201 | 異文化理解 | 2 | 2 | 後 | | | | | | 1 | 1 | 前 | | |
| 英言 213 | リーディングⅢ (ReadingⅢ) | 1 | 2 | 前 | | | 英言 5 | 502 | 英語資格試験演習 Ⅱ | 1 | 3 | 後 | | |
| 英言 221 | ライティング I (Writing I) | 1 | 2 | 前 | | | | | | | | | | |
| 英言 222 | ライティングⅡ (WritingⅡ) | 1 | 2 | 後 | | | | | | | | | | |
| 英言 231 | オーラルコミュニケー ション I (Oral Communication I) | 1 | 2 | 前 | | | | | | | | | | |
| 英言 232 | オーラルコミュニケー ションⅡ(Oral CommunicationⅡ) | 1 | 2 | 後 | | | | | | | | | | |
| 英言 241 | イギリス文学概論 | 2 | 1 | 後 | | | | | | | | | | |

英語文化コース・選択 (コース・コア科目)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学 | 備 老 | 科目番号 | · 授業科目 | 単位 | 年 次 | 学期 | 備考 |
|--------|---------------|----|-----------------------|---------|-----|--------------|---------------------------------------|--|---|-------|----|
| | 学外実地研修 | 2 | $1 \sim 4$ | | | | 文化言語学 | 2 | $2 \sim 4$ | 前・後 | 3 |
| | メディア英語演習 | 2 | $2 \sim 4$ | | | | 5 言語障害とリハビリ | 2 | $2\sim4$ | 前・後 | |
| 英言 341 | | 2 | $2 \sim 4$ | | | | 5 英語評価法演習 | 2 | $2 \sim 4$ | 前・後 | |
| | ルネサンス文学 | 2 | $2 \sim 4$ | | | | 7 英語教育学演習 I | 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| | 17・18世紀イギリス文学 | 2 | $2 \sim 4$ | | | | 英語科教育実践研究 [| 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| | ロマン派文学 | 2 | $2 \sim 4$ | | | | | 2 | $2 \sim 4$ | | |
| | ヴィクトリア朝文学 | 2 | $2 \sim 4$ | | | | 月日のが安品ハイル 演員 異文化実地研修 A | 2 | $\begin{vmatrix} 2 & 4 \\ 3 \sim 4 \end{vmatrix}$ | 前・後 | |
| | | 2 | $2 \sim 4$ $2 \sim 4$ | | | | | $\begin{bmatrix} 2 \\ 2 \end{bmatrix}$ | $3 \sim 4$ | | |
| | 現代イギリス文学 | | | | | |)異文化実地研修B | | | 前・後 | |
| | イギリス文化論 | 2 | $2 \sim 4$ | | | | イギリス文学研究 I | 2 | $3 \sim 4$ | 前 | |
| | 初期アメリカ文学 | 2 | $2 \sim 4$ | | | | 2 イギリス文学研究Ⅱ | 2 | $3 \sim 4$ | 後 | |
| | 19世紀アメリカ文学 | 2 | $2\sim 4$ | | | | アメリカ文学研究Ⅰ | 2 | $3 \sim 4$ | 前 | |
| | 20世紀アメリカ文学 | 2 | $2 \sim 4$ | | | | 2 アメリカ文学研究Ⅱ | 2 | $3 \sim 4$ | 後 | |
| 英言 354 | 現代アメリカ文学 | 2 | $2 \sim 4$ | | | 英言 461 | 英米文学特殊講義 I | 2 | $3 \sim 4$ | 前 | |
| 英言 357 | アメリカ文化論 | 2 | $2 \sim 4$ | 前・後 | 2 | 英言 462 | 2 英米文学特殊講義 Ⅱ | 2 | $3 \sim 4$ | 後 | |
| 英言 361 | 英米児童文学 | 2 | $2\sim 4$ | 前・後 | È | 英言 463 | 比較文学演習 | 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| 英言 362 | 文学・文化理論入門 | 2 | $2\sim4$ | 前・後 | | 英言 473 | 英語圏の言語政策 | 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| 英言 375 | 英語の意味解釈 | 2 | $2\sim 4$ | 前・後 | È | 英言 474 | 日英語比較研究 | 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| 英言 376 | 英語の歴史 | 2 | $2\sim4$ | 前・後 | Ė | 英言 481 | 言語コミュニケーション特殊講義 I | 2 | $3 \sim 4$ | 前 | |
| 英言 377 | 英語の音声構造 | 2 | $2\sim4$ | 前・後 | Ė | 基章 489 | 2 言語コミュニケーショ | 2 | $3 \sim 4$ | 後 | |
| 英言 378 | 英語の語構造 | 2 | $2\sim4$ | 前・後 | 2 | X 102 | ン特殊講義Ⅱ | | 0 4 | | |
| 英言 379 | 英語の文構造 | 2 | $2\sim 4$ | 前・後 | Ė | 英言 483 | 異文化コミュニケーション演習 | 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| 英言 383 | 異文化コミュニケーション論 | 2 | $2\sim 4$ | 前・後 | 2 | ±⇒ 40: | コン領自 社会文化要因と外国語 | 2 | $3 \sim 4$ | 前 . 然 | |
| #⇒ 204 | 7,7,5 | 0 | 0 - 4 | ± % | | 兴日 49 | 社会文化安因と外国語 学習 | | 3,64 | 前・後 | |
| | ことばと社会 | 2 | $2 \sim 4$ | | | 英言 492 | ことばの理解と記憶 | 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| | 談話の構造 | 2 | $2\sim 4$ | | | 英言 493 | 特定言語研究 | 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| | 英語の多様性と文化 | 2 | $2\sim 4$ | | | 英言 497 | ブ 英語教育学演習Ⅱ | 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| | 地域語概論 | 2 | $2 \sim 4$ | | | 英言 498 | 英語科教育実践研究 Ⅱ | 2 | $3 \sim 4$ | 前・後 | |
| 英言 393 | ことばの獲得研究 | 2 | $2\sim4$ | 前・後 | | 英言 500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | |
| | | | | | | | | | | | |

注1)以上のコース・コア科目から11科目(卒業論文履修の場合には9科目)22単位以上履修すること。 注2)以上のコース・コア科目から11科目(卒業論文履修の場合には9科目)22単位を超過した分は、自由科目に振り替 えることができる。

英語文化履修コース (コース関連科目)

| 科目番号 | 授業科目 | 単 位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--------|----------------------------|-----|-----|-----|----|
| 英言 302 | メディアの英語Ⅱ | 2 | 3 | 後 | |
| 英言 321 | 英文和訳演習 | 2 | 3 | 前 | |
| 英言 322 | 和文英訳演習 | 2 | 3 | 後 | |
| 英言 332 | 口頭英語表現Ⅱ (Verbal Arts Ⅱ) | 2 | 3 | 後 | |

- 注1)以上のコース関連科目から1科目2単位以上履修すること。
- 注2)以上のコース関連科目から1科目2単位を超過した分は自由科目に振り替えることができる。

日本・国際事情履修コース(必修科目)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単 位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--|--|---|--|-----------|----|
| 国際 101 日国 111 日国 112 日国 202 日国 221 日国 222 日国 231 日国 232 日国 500 | 基礎演習 I 日本語文章表現 I 日本語文章表現 II 基礎演習 II 日本語作品講読 I 日本語作品講読 II 日本文化 I 日本文化 II 卒業論文 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 | 1 1 1 1 2 2 2 2 2 4 | 前前後後前後前後年 | |

日本・国際事情履修コース (コース・コア科目)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単 位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--|---|---|---|-------------|----|
| 日語 111 日語 112 日国 323 日国 324 日国 333 日国 344 日国 344 日国 441 日国 443 | 日本語学概論 I 日本語学概論 II 日本語演習 II 日本語演習 II 日本文化特別研究 I 日本文化特別研究 II 琉球文化特別研究 I 琉球文化特別研究 I 琉球文化特別研究 I 電話対照研究 国際事情 I 国際事情 II | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 1 1 3 3 3 3 3 3 4 4 4 | 前後前後前後前後前前後 | |

- 注1)以上のコース・コア科目から6科目12単位以上履修すること。
- 注2)以上のコース・コア科目から6科目12単位を超過した分はコース関連科目 A群に振り替えることができる。

日本・国際事情履修コース(コース関連科目A群)

| 科目番号 | 授業科目 | 単 位 | 年 次 | 学期 | 備考 |
|--|--|---|---|---------------|----|
| 欧文 100 英言 171 英言 271 英言 383 英言 384 英言 386 英言 474 | ヨーロッパ文化論 言語コミュニケーション概論Ⅱ 言語コミュニケーション概論Ⅲ 異文化コミュニケーション概論Ⅲ 異文化コミュニケーション論 ことばと社会 英語の多様性と文化 日英語比較研究 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 後後前後・・・・後後後後後 | |

- 注1)以上のコース関連科目A群から5科目10単位以上履修すること。
- 注2)以上のコース関連科目A群から5科目10単位を超過した分はコース関連 科目B群に振り替えることができる。

日本・国際事情履修コース(コース関連科目B群)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単 位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--|--|---|---|------------------|----|
| 英日日 111 日 112 中中琉琉民民語語史史言言 112 琉琉珠史 111 琉琉珠史 111 琉珠英 349 | 英米文学概論 I 日本文学概論 I 日本文学概機論 II 中琉関係係学概機論 I 中琉球民俗学概論 I 琉球語学概論 I 琉球語学概論 I 琉球更概論 I 琉球更概論 I 琉球文世概論 I 琉球文世概論 I 琉球文世概論 A イギリス文化論 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 後前後前後前後前後前後前後前 後 | / |
| 英言 242 英言 357 | アメリカ文学概論 アメリカ文化論 | 2 2 | $\begin{array}{c} 2 \\ 3 \sim 4 \end{array}$ | 後 前 · 後 | |

注1)以上のコース関連科目B群から5科目10単位以上履修すること。 注2)以上のコース関連科目B群から5科目10単位を超過した分は自由科目に 振り替えることができる。

ドイツ言語文化コースA・必修科目

| 科目番号 | 授 | 業 | 科 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 | 業 | 科 | 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--|----------|--------------------------|------------|-----------|-----------------------|--------|----|--|---|----|-----------|---|-----------------------|-----------------------|-------|----|
| 欧文 101 独文 111 独文 112 独文 202 独文 211 独文 212 | 基初初基ドドイン | バイツ バイツ 【習Ⅱ ア語会 | 語文》 話 I | 2 2 2 2 2 | 1 1 2 2 2 | 前前後後前後 | | 独文 215 独文 216 独文 453 独文 454 独文 500 | | 題ゼ | 現演 ミ I | • | 2 2 2 2 4 | 2 2 4 4 4 | 前後前後年 | |

ドイツ言語文化コースB (教職コース)・必修科目

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--|---|---------------------------------|---------------------------------|---------|----|--|--|----------------------------|---------------------------------|---------|----|
| 欧文 101 独文 111 英言 131 英言 121 英言 111 英言 112 独文 202 | 基礎演習 I 初級ドイツ語文法 I 英語の発音とリスニング 英文法演習 リーディング I リーディング I 基礎演習 II | 2 2 1 2 1 1 2 | 1 1 1 1 1 1 2 | 前前後前前後後 | | 英言 213 英言 221 英言 222 独文 211 独文 215 独文 453 独文 500 | リーディングⅢ ライティング I ライディング II ドイツ語会話 I ドイツ語表現演習 I 特殊問題ゼミ I 卒業論文 | 1 1 2 2 2 4 | 2 2 2 2 2 4 4 | 前前後前前前年 | |

ドイツ言語文化コースA/B・専攻共通科目

| 科目番号 | 授 | 業 | 科 | 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | | | |
|------------------|---|---|---|---|-----|------------|----|----|--|--|--|
| 欧文 102 欧文 104 | | | | | 2 2 | 1~2 1~2 | 後後 | | | | |

注) 1科目2単位以上履修すること。

ドイツ言語文化コースA/B・選択科目(コース・コア科目)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単 位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|---|---|--|--|----------------|----|---|---|---|---|--------------|----|
| 欧文 100 欧文 200 独文 224 独文文 242 独文文 311 独文文 312 独文文 313 独文文 315 独文文 316 独文文 317 | ョーロ研究入門 ドイツの発実と ドイツのでのである。 ドイツのでは、 ドインのでは、 にはなる。 にはな。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはな。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 になる。 にはな。 にはなる。 にはな。 にはな。 にはなる。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな | 2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 後前前後前後前後前後前後前後 | | 独 321 独 22 独 22 独 22 2331 2333 335 336 337 338 341 342 442 442 | ドイツ語文学演習Ⅰ ドイツ語文学演習Ⅱ ドイツ語学概論 ドイツ語学演習Ⅱ ドイツ語学演習Ⅱ ドイツ語学演習Ⅱ ドイツ語学特演B ドイツ言語文化演習Ⅱ ドイツ言語文化演習Ⅲ ドイツ言語文化演習Ⅲ | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 前後後前前後前後前後前後 | |

- 注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位以上履修すること。
- 注2) 以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。
- 注3) ヨーロッパ文化論を履修するのがのぞましい

ドイツ言語文化コースA/B・選択科目(コース関連科目)

| 科目番号 | 授 | 業 | 科 | | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 | 業 | 科 | B | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|---|-----|-----|---------------------|----|------|-----|----|------|--------------------|----|-----|---|------|------|------------|----|
| | l | ュッパ | 文化記 | A群 講座、亨 も12単位 | | 匕講座∅ |)提供 | | | コーフ 国際言 8 単位 | 語文 | 化学和 | | 共科目の | りいずれ | いでも | |

フランス言語文化・コースA・必修科目

| 科目番号 | 授 | 業 | 科 | | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 | 業 | 科 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--|--------|---|----------------|---|----------------------------|------------------------------|--|----|--|--------|-------------------|------------|-----------------------|----------------------|-------|----|
| 欧文 101 仏文 200 仏文 201 仏文 221 仏文 225 仏文 231 | 基基フフ実フ | 習Ⅱ マス ス ス ラ フ ラ ン ス フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ | 会話 文法 ス語 | I | 2 2 2 2 2 2 | 1 2 2 2 2~3 2 | 前後前前前 後 後 後 後 後 後 後 後 後 後 後 後 後 後 後 後 後 | | 仏文 311 仏文 401 仏文 481 仏文 482 仏文 500 | フラン特殊問 | /ス語 問題演 問題演 | 表現》 習 I | 2 2 2 2 4 | 3~4 3~4 4 4 | 前前前後年 | |

注) フランス語会話 I は、フランス語会話 II・Ⅲ・Ⅳ (仏文202・301・302) に代えることができる。

フランス言語文化・コースA・専攻共通科目

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | | | |
|------|------------------------------|-----|------------|----|----|--|--|--|
| | ヨーロッパ文学入門 ヨーロッパ言語研究入 門 | 2 2 | 1~2 1~2 | 後後 | | | | |

注) 1科目2単位以上履修すること。

フランス言語文化・コースA・選択科目(コース・コア科目)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--|--|---|---|---|---------|--|---|---|--|-----------|---------|
| 欧文 100 欧文 200 仏文 101 仏文 102 仏文 202 仏文 213 仏文 214 仏文 215 | 国 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 1 1~4 1 1 2 2~4 2~4 2~4 | 後, 前後後, 後後, 後 | JIII 49 | 仏文 261 仏文 301 仏文 302 仏文 312 仏文 313 仏文 314 仏文 315 仏文 316 | 比較文学 フランス語会話III フランス語会話IV フランス語講読II フランス語講読II フランス語講読IV フランス語講読IV フランス語講読V | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 2~4 3 3 3~4 3~4 3~4 2~4 3~4 | ·前後後前後前後 | IIII ~¬ |
| 仏文 216 仏文 222 仏文 223 仏文 226 仏文 231 仏文 240 仏文 241 仏文 242 仏文 251 | フランス文化研究IV フランス語 II フランス語語 II フランス 文学 実務フランス文学と 海外文化研修 フランスの社会 I フランスの社会 I レ較言語学 | 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 | 2~4 2 2~3 2~3 2 2~4 2~4 2~4 2~4 | in 後 in | | 仏文 317 仏文 318 仏文 321 仏文 401 仏文 402 仏文 421 仏文 461 仏文 471 | フランス語講読VII フランス語講読VIII 広告のフランス語II フランス語表現法 II フランス語表現法 II フランス語学特殊講義 フランス語実践研修 日仏翻訳・通訳入門 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 3~4 3~4 3~4 3~4 3~4 2~4 2~4 2~4 | 前後前後前後前前前 | |

- 注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位以上履修すること。
- 注2) 以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は選択科目(コース関連科目 A群)に振り替えることができる。
- 注3) ヨーロッパ文化論を履修するのがのぞましい

フランス言語文化コースA・選択科目(コース関連科目)

| 科目番号 | 授 | 業 | 科 | | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 | 業 | 科 | B | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|---|-----|-----|---------------------|----|------|-----|----|------|--------------------|----|-----|---|------|------|------------|----|
| | l | ュッパ | 文化記 | A群 講座、亨 も12単位 | | 匕講座∅ |)提供 | | | コーフ 国際言 8 単位 | 語文 | 化学和 | | 共科目の | りいずれ | いでも | |

フランス言語文化・コースB (教職コース)・必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--|---|----------------------------|----------------------------|---------|----|--|---|--------------------------------------|---|---------|----|
| 欧文 101 英言 131 英言 121 英言 111 英言 112 英言 213 英言 221 | 基礎演習 I 英語の発音とリス=ング 英文法演習 リーディング I リーディング II リーディング II リーディング II | 2 1 2 1 1 1 | 1 1 1 1 2 2 | 前後前前後前前 | | 英言 222 仏文 200 仏文 201 仏文 221 仏文 231 仏文 311 仏文 500 | ライティングⅡ 基礎演習Ⅱ フランス語会話Ⅰ フランス語文法Ⅰ フランス文学史 フランス語講読Ⅰ 卒業論文 | 1 2 2 2 2 2 2 4 | $ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 後後前後前前通 | |

注) フランス語会話 I は、フランス語会話 II・Ⅲ・Ⅳ (仏文202・301・302) に代えることができる。

フランス言語文化・コースB (教職コース)・専攻共通科目

| 科目番号 | 授業 | 科 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | | | |
|------------------|----|---|-----|------------|----|----|--|--|--|
| 欧文 102 欧文 104 | | | 2 2 | 1~2 1~2 | 後後 | | | | |

注) 1科目2単位以上履修すること。

フランス言語文化・コースB (教職コース)・選択科目 (コース・コア科目)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|-------------|----|------------|-----|----|--------|------------|----|--------------|-----|----|
| 欧文 100 | ヨーロッパ文化論 | 2 | 1~4 | 後 | | 仏文 301 | フランス語会話Ⅲ | 2 | 3 | 前 | |
| 欧文 200 | EU研究入門 | 2 | $1 \sim 4$ | 前·後 | | 仏文 302 | フランス語会話IV | 2 | 3 | 後 | |
| 仏文 101 | 初級フランス語文法 I | 2 | 1 | 前 | | 仏文 312 | フランス語講読Ⅱ | 2 | 3 ∼ 4 | 後 | |
| 仏文 102 | 初級フランス語文法Ⅱ | 2 | 1 | 後 | | 仏文 313 | フランス語講読Ⅲ | 2 | 3 ∼ 4 | 前 | |
| 仏文 202 | フランス語会話Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 仏文 314 | フランス語講読Ⅳ | 2 | 3 ∼ 4 | 後 | |
| 仏文 213 | フランス文化研究 I | 2 | 2~4 | 前・後 | | 仏文 315 | フランス語講読V | 2 | 2~4 | 前 | |
| 仏文 214 | フランス文化研究Ⅱ | 2 | 2~4 | 前・後 | | 仏文 316 | フランス語講読VI | 2 | 3 ∼ 4 | 後 | |
| 仏文 215 | フランス文化研究Ⅲ | 2 | 2~4 | 前・後 | | 仏文 317 | フランス語講読Ⅶ | 2 | 3 ∼ 4 | 前 | |
| 仏文 216 | フランス文化研究IV | 2 | $2\sim 4$ | 前・後 | | 仏文 318 | フランス語講読Ⅷ | 2 | 3 ∼ 4 | 後 | |
| 仏文 222 | フランス語文法Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 仏文 321 | 広告のフランス語I | 2 | 3 ∼ 4 | 前 | |
| 仏文 223 | フランス語作文 | 2 | 2~3 | 前・後 | | 仏文 322 | 広告のフランス語Ⅱ | 2 | 3 ∼ 4 | 後 | |
| 仏文 225 | 実務フランス語I | 2 | 2~3 | 前・後 | | 仏文 401 | フランス語表現法I | 2 | 3 ∼ 4 | 前 | |
| 仏文 226 | 実務フランス語Ⅱ | 2 | 2~3 | 前・後 | | 仏文 402 | フランス語表現法Ⅱ | 2 | 3 ∼ 4 | 後 | |
| 仏文 240 | 海外文化研修 | 4 | $2\sim 4$ | 前 | | 仏文 421 | フランス語学特殊講義 | 2 | $2\sim4$ | 前・後 | |
| 仏文 241 | フランスの社会 I | 2 | 2~4 | 前 | | 仏文 461 | フランス語実践研修 | 2 | 2~4 | 前・後 | |
| 仏文 242 | フランスの社会Ⅱ | 2 | 2~4 | 後 | | 仏文 471 | 日仏翻訳・通訳入門 | 2 | 2~4 | 前・後 | |
| 仏文 251 | 比較言語学 | 2 | 2~4 | 前・後 | | 仏文 481 | 特殊問題演習I | 2 | 4 | 前 | |
| 仏文 261 | 比較文学 | 2 | 2~4 | 前・後 | | 仏文 482 | 特殊問題演習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | |

- 注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位以上履修すること。
- 注2)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。
- 注3) ヨーロッパ文化論を履修するのがのぞましい。

フランス言語文化・コースB (教職コース)・選択科目 (コース関連科目)

| 科目番号 | 授 | 業 | 科 | | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 | 業 | 科 | | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|---|-----|----|---------------------|----|------|-----|----|------|--------------------|----|----|------------|-------|------|------------|----|
| | | コッパ | 文化 | A群 講座、亨 も12単位 | | 匕講座∅ | ○提供 | | | コーフ 国際言 8 単位 | 語文 | 化学 | B群 科の提信 | 共科目 6 | りいずれ | いでも | |

スペイン言語文化コース・必修科目

| 科目番号 | 授業 | 科 | 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--|---|-------------------|-----|---------------------------------|----------------------------|---------|----|--|---|--------------------------------------|---------------------------------|---------|----|
| 欧文 101 英言 131 英言 121 英言 111 英言 112 英言 213 西文 202 | 基礎演習 英語の法演で 英ツーデディン リーデディン リーディン 基礎演習」 | 音とリスニ グ | シク゛ | 2 1 2 1 1 1 2 | 1 1 1 1 2 2 | 前後前前後前後 | | 英言 221 英言 222 西文 393 西文 396 西文 484 西文 487 西文 500 | ライティング I ライティング II スペイン文学概論 地域研究特殊講義 スペイン語講読Ⅲ スペイン語表現法 I 卒業論文 | 1 1 2 2 2 2 2 4 | 2 2 3 3 4 4 4 | 前後前後前前年 | |

スペイン言語文化コース・専攻共通科目

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | | | |
|------|------------------------------|----|------------|----|----|--|--|--|
| | ヨーロッパ文学入門 ヨーロッパ言語研究入 門 | | 1~2 1~2 | 後後 | | | | |

注) 1科目2単位以上履修すること。

スペイン言語文化コース・選択科目(コース・コア科目)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--|---|-------------------|--|---------------|----|--|---|---|--|------------|----|
| 欧文 100 欧文 200 西文 271 西文 272 西文 282 西文 291 西文 292 西文 375 西文 376 西文 377 | ョーロッパ文化論 E U 研究入門 スペイン語会話 I スペイン語語請託 I スペインの社会と文化 ラテンアメリカの社会 と文化 スペイン語実践研修 I スペイン研修 | 2 2 2 2 2 2 2 4 4 | $1 \sim 4$ $1 \sim 4$ 2 2 3 2 2 3 3 $2 \sim 4$ | 後可は前後前前以後前後前後 | | 西文 383 西文 385 西文 386 西文 392 西文 394 西文 485 西文 488 西文 493 西文 494 | スペイン語講読 II スペイン語作文 I スペイン語作文 II スペイン文学特殊講義 スペイン語学概論 学外実地研修 スペイン語講読 IV スペイン語表現法 II 特殊問題ゼミ II | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | $ \begin{array}{ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 後前後後後前後後前後 | |

- 注1)以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位以上履修すること。
- 注2) 以上の選択科目(コース・コア科目)から12単位を超過した分は選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。
- 注3) ヨーロッパ文化論を履修するのがのぞましい。

スペイン言語文化コース・選択科目(コース関連科目)

| 科目番号 | 授 | 業 | 科 | B | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 | 業 | 科 | Ħ | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|------|---|------------|-----|--------------------|----|----|----|----|------|--------------------|----|-----|---|------|------|-----|----|
| | | ュッパ B科学 | 文化記 | A群 講座、導 の提供和 | | | | | | コープ 国際言 8 単位 | 語文 | 化学和 | | 共科目の | のいずオ | っでも | |

英語文化(夜間主)コース(必修科目)

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|--|----|----|----|----|--------|--|----|----|----|----|
| 英語 101 | 基礎演習 (Study Skills) | 1 | 1 | 前 | | 英語 242 | アメリカ文学概論 | 2 | 2 | 前 | |
| 英語 111 | リーディング I (Reading I) | 1 | 1 | 前 | | 英語 271 | 言語コミュニケーショ ン概論Ⅱ | 2 | 1 | 後 | |
| 英語 112 | リーディング Ⅱ (Reading Ⅱ) | 1 | 1 | 後 | | 英語 272 | 言語コミュニケーショ ン概論Ⅲ | 2 | 2 | 前 | |
| 英語 121 | 英文法演習 | 2 | 1 | 後 | | 英語 301 | メディアの英語 I | 2 | 3 | 前 | |
| | (English Grammar & Composition) | | | | | 英語 311 | 上級英語演習 (Intensive Reading & Writing) | 2 | 3 | 前 | |
| 英語 131 | 英語の発音とリスニング(English Pronuncia tion & Listening Com prehension) | 1 | 1 | 前 | | 英語 331 | 口頭英語表現 I (Verbal Arts I) | 2 | 3 | 前 | |
| 英語 141 | 英米文学概論 | 2 | 1 | 前 | | 英語 401 | 高等英語セミナー I (Advanced English I) | 2 | 4 | 前 | |
| 英語 171 | 言語コミュニケーション概論 I | 2 | 1 | 前 | | 英語 402 | 高等英語セミナーⅡ (Advanced EnglishⅡ) | 2 | 4 | 後 | |
| 英語 201 | 異文化理解 | 2 | 2 | 前 | | 英語 501 | 英語資格試験演習I | 1 | 1 | 前 | |
| 英語 213 | リーディングⅢ (Reading Ⅲ) | 1 | 2 | 前 | | 英語 502 | 英語資格試験演習Ⅱ | 1 | 3 | 後 | |
| 英語 221 | ライティング I (Writing I) | 1 | 2 | 前 | | | | | | | |
| 英語 222 | ライティングⅡ (WritingⅡ) | 1 | 2 | 後 | | | | | | | |
| 英語 231 | オーラルコミュニケーション I (Oral Com I) | 1 | 2 | 前 | | | | | | | |
| 英語 232 | オーラルコミュニケー ションⅡ(Oral ComⅡ) | 1 | 2 | 後 | | | | | | | |
| 英語 241 | イギリス文学概論 | 2 | 1 | 後 | | | | | | | |

英語文化(夜間主)コース・選択(コース・コア科目)

| 科目番号 | | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授 業 科 目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|---------------------|----|-----|-----|----|--------|-----------------------|----|--------------|-----|----|
| | | | | | 畑与 | | | | | | 畑石 |
| 英語 280 | 学外実地研修 | 2 | 1~4 | 前·後 | | 英語 391 | 応用言語学演習I | 2 | 2~4 | 前 | |
| 英語 305 | 英語通訳演習 | 2 | 2~4 | 前 | | 英語 392 | 応用言語学演習Ⅱ | 2 | 2~4 | 後 | |
| 英語 307 | ビジネス英語演習 | 2 | 2~4 | 前·後 | | 英語 393 | 応用言語学演習Ⅲ | 2 | 2~4 | 前 | |
| 英語 308 | 観光英語演習 | 2 | 2~4 | 前·後 | | 英語 410 | 異文化実地研修A | 2 | 3~4 | 前·後 | |
| 英語 347 | イギリス文学演習I | 2 | 2~4 | 前 | | 英語 420 | 異文化実地研修B | 2 | 3~4 | 前·後 | |
| 英語 348 | イギリス文学演習Ⅱ | 2 | 2~4 | 後 | | 英語 441 | イギリス文学研究I | 2 | 3~4 | 前 | |
| 英語 349 | イギリス文化論 | 2 | 2~4 | 前·後 | | 英語 442 | イギリス文学研究Ⅱ | 2 | 3~4 | 後 | |
| 英語 355 | アメリカ文学演習Ⅰ | 2 | 2~4 | 前 | | 英語 451 | アメリカ文学研究I | 2 | 3~4 | 前 | |
| 英語 356 | アメリカ文学演習Ⅱ | 2 | 2~4 | 後 | | 英語 452 | アメリカ文学研究Ⅱ | 2 | 3~4 | 後 | |
| 英語 357 | アメリカ文化論 | 2 | 2~4 | 前·後 | | 英語 461 | 英米文学特殊講義I | 2 | 3~4 | 前 | |
| 英語 361 | 英米児童文学 | 2 | 2~4 | 前・後 | | 英語 462 | 英米文学特殊講義Ⅱ | 2 | 3 ∼ 4 | 後 | |
| 英語 371 | 英語学演習 I | 2 | 2~4 | 前 | | 英語 471 | 言語コミュニケーショ ン研究 I | 2 | 3~4 | 前 | |
| 英語 372 | 英語学演習 Ⅱ | 2 | 2~4 | 後 | | 英語 472 | 言語コミュニケーショ | 2 | 3~4 | 後 | |
| 英語 373 | 言語学演習 I | 2 | 2~4 | 前 | | 央帝 412 | 言語コミューケーション研究Ⅱ | 2 | 3~4 | 1安 | |
| 英語 374 | 言語学演習Ⅱ | 2 | 2~4 | 後 | | 英語 481 | 言語コミュニケーショ ン特殊講義 I | 2 | 3~4 | 前 | |
| 英語 381 | コミュニケーション学 演習 I | 2 | 2~4 | 前 | | 英語 482 | 言語コミュニケーション特殊講義Ⅱ | 2 | 3~4 | 後 | |
| 英語 382 | コミュニケーション学 演習 II | 2 | 2~4 | 後 | | 英語 500 | 卒業論文 | 4 | 4 | 通年 | |
| 英語 387 | 地域語概論 | 2 | 2~4 | 前・後 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

- 注1)以上のコース・コア科目から11科目(卒業論文履修の場合には9科目)22単位以上履修すること。 注2)以上のコース・コア科目から11科目(卒業論文履修の場合には9科目)22単位を超過した分は、自由科目に振り替 えることができる。

英語文化履修コース(コース関連科目)

| 科目番号 | 授 業 科 目 | 単 位 | 年 次 | 学 期 | 備考 |
|--------|----------------------------|-----|-----|-----|----|
| 英語 302 | メディアの英語Ⅱ | 2 | 3 | 後 | |
| 英語 321 | 英文和訳演習 | 2 | 3 | 前 | |
| 英語 322 | 和文英訳演習 | 2 | 3 | 後 | |
| 英語 332 | 口頭英語表現Ⅱ (Verbal Arts Ⅱ) | 2 | 3 | 後 | |

- 注1)以上のコース関連科目から1科目2単位以上履修すること。
- 注2) 以上のコース関連科目から1科目2単位を超過した分は、自由科目に振り替えることができる。

国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻・卒業要件

| | | | | 歴史 | 史民俗创 | 頁域 | | 文学 | 領域 | | Ī | 言語領域 | 戉 | |
|------|-------|---------|----|-----|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 履修コース | | | 琉球史 | 琉球民俗学 | 中琉関係史 | 朝鮮文学 | 琉球文学 | 日本文学 | 中国文学 | 琉球語学 | 日本語学 | 中国語学 | 総合履修 |
| | 必 | 基礎演習 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 必修科目 | 卒業論文 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 専門 | | コース必修 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 専門教育 | 選 | コースコア | | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| | 選択科目 | コース関連 | A群 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| | Ħ | | B群 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| | 自由和 | 科目 | | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| | | 小計 | | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 |
| | 健康道 | 軍動系科目 | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 教 | 人文系科目 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 教養科目 | 社会系科目 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 共 | | 自然系科目 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 共通教育 | 総合 | • 琉大特色科 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 育 | 基 | 情報関係科目 | ■ | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 基幹科目 | 第1外国語 | | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | | 第2外国語 | | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | | 小計 | | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| | | 総単位数 | | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 |

※人文系科目~情報関係科目;上記を含む 22 単位以上(高年次総合2 単位、情報科学演習2 単位及び琉大特 色科目2 単位を含む)。

- 注1) コース関連科目は、A群とB群に分かれている。それぞれのうちわけについては履修コース毎に異なるので、注意すること。
- 注2) 共通教育の総合・琉大特色科目は、高学年次用科目2単位及び琉大特色科目2単位を必ず含むこと。
- 注3) 共通教育の情報関係科目は情報科学演習2単位を必ず含むこと。
- 注4) 共通教育科目から 10 単位まで自由科目に換算することができる。

- 注5) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。
- 注6) 「演習 I・Ⅱ」は、その担当教員が提供する「(専門) 基礎演習 I・Ⅱ」を履修済みでなければ、履修登録することができない。
- 注7)総合履修コースの卒論指導教員(主査)が提供する「総合履修演習 $I \cdot \Pi$ 」は、その主査が提供する他の履修コースの「演習 $I \cdot \Pi$ 」と重複して履修することはできない。
- 注8) コース関連科目A群から16単位を超過した分は、コース関連科目B群に振り替えることができる。
- 注9) コース関連科目A群B群全体から30単位を超過した分は、自由科目に振り替えることができる。
- 注10) 履修コース別外国語習得要件は以下の通りである。

中琉関係史・中国文学・中国語学

- ①中琉関係史履修コースにおいては「中国語基礎 $I \cdot II$ 」又は「朝鮮語基礎 $I \cdot II$ 」又は「ヴェトナム語 基礎 $I \cdot II$ 」のいずれかのうち8単位を、中国文学履修コース、中国語学履修コースにおいては「中国 語基礎 $I \cdot II$ 」の8単位を第一外国語として履修すること。
- ②第二外国語に関しては、第一外国語として選んだ言語以外の言語から8単位を履修すること。

琉球史、琉球民俗学、琉球文学、日本文学、琉球語学、日本語学、総合

- ①上記履修コースにおいては中国語、朝鮮語、ヴェトナム語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、英語 のうち8単位を第一外国語として履修すること。
- ②第二外国語に関しては、第一外国語として選んだ言語以外の言語から8単位を履修すること。

朝鮮文学

- ①朝鮮文学履修コースにおいては「朝鮮語基礎 I・Ⅱ」の8単位を第一外国語として履修すること。
- ②第二外国語に関しては、第一外国語として選んだ言語以外の言語から8単位を履修すること。

国際言語文化学科

英語文化専攻、ヨーロッパ文化専攻・卒業要件

| | | 文化等效,当"百万· | · X | 履 | 修 | 十未: | _ | ス |
|----------------|----|---------------|-----|---------------|-------------|-----|-----|-----|
| | | | 2 | <u> </u> 昆 | 間 | - | È | 夜間主 |
| |] | 丞 分 | 英 | 日本 | ドイ | フラ | スペ | 英 |
| | | | 語 | 玉 | ツ 言 | ンス | イン | 語 |
| | | | 文 | 際事 | · 語 文 | 言語 | 言語 | 文 |
| | | | 化 | · 情 | 化 | 文化 | 文化 | 化 |
| | | | | | АВ | ΑB | , 0 | |
| | 必 | 基 礎 演 習 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 1 |
| 専 | | 卒 業 論 文 | _ | 4 | 4 | 4 | 4 | _ |
| 門 | 修 | コース必修科目 | 36 | 12 | 16 | 16 | 16 | 36 |
| 11 | 選 | 専攻共通科目 | | | 2 | 2 | 2 | |
| 教 | | コース・コア科目 | 22 | 14 | 12 | 12 | 12 | 22 |
| 育 | 択 | コース関連科目 | 2 | 20 | 20 | 20 | 20 | 2 |
| 育 | | 自 由 科 目 | 23 | 30 | 26 | 26 | 26 | 23 |
| | | 小 計 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 |
| | 健月 | 東運動系科目 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 教 | 養科目 | | | | | | |
| 共 | | 人文系科目 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| \ - | | 社会系科目 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 通 | | 自然系科目 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 教 | | | | | | | | |
| | | 合・琉大特色科目 | _ | _ | _ | _ | | 2 |
| 育 | 基 | 幹 科 目 | | | | | | |
| | | 第1外国語 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | | 第2外国語 | 8 | 4 | 8 | 8 | 8 | 4 |
| | | 情報関係科目 | 2 | 2 | _ | _ | _ | 2 |
| | | 小計単位数 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| | Á | 総 単 位 数 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 |

注1:コース関連科目は、A群とB群に分かれる。それぞれの内訳については各履修コース毎に異なるので、

注意すること。

注2:英語文化、ヨーロッパ文化、英語文化(夜間主)の共通教育外国語に関する注意を参照のこと。

注3:共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育

等履修基準表」 を参照すること。

注4:各履修コース毎の注意点は下記の通りである。

英語文化(昼間主)履修コース

- ①第一外国語は英語とし、「大学英語」、「英語講読演習中級」及び選択科目から一科目の8単位を履修すること。
- ②第二外国語に関しては、「インテンシブドイツ語 I、II」、「インテンシブフランス語 I、II」、「インテンシブスペイン語 I、II」、「中国語基礎 I、II」のうちから一つの言語を選択して 8 単位履修すること。
- ③人社等卒業単位として人文系から4単位、社会系から4単位、自然系から4単位、情報関係から情報科学演習2単位計14単位を含んで、人文、社会、自然、総合、琉大特色、情報 関係から総計で22単位以上を履修すること。
- ④40単位を超える共通教育科目の中から10単位まで自由科目に換算することができる。
- ⑤選択科目を超過した分、及び法文学部、他の学部が提供する科目から23単位を自由科目とすることができる。
- ⑥夜間主コース提供科目から40単位(共通教育科目・専門科目を問わない)まで履修することができる。但し、夜間 主英語文化履修コースの必修科目を本履修コースの必修科目として履修することは原則として認めない。
- ⑦教職科目に関しては、40単位を超過して夜間主コースより履修することができる。
- ⑧夜間主英語文化コース提供のすべての選択科目を本履修コースの選択科目として履修することができる。

日本・国際事情履修コース

- ①第一外国語は日本語とし、「日本語ⅢA」、「日本語ⅢB」、「日本語ⅢC」及び「日本語ⅣA」の8単位を履修すること。この8単位の他に、更に「日本語ⅣB」、「日本語ⅣC」、「日本語V」及び「日本語Ⅵ」を自由科目として履修すること。
- ②第二外国語に関しては、「大学英語」、「ドイツ語入門 I、 Π 」、「フランス語入門 I、 Π 」、「スペイン語入門 I、 Π 」、「基礎中国語 I、 Π 」、「基礎朝鮮語 I、 Π 」のうちから一つの言語を選択して履修すること。
- ③共通教育科目の中から10単位まで自由科目に換算することができる。
- ④選択科目を超過した分、及び法文学部、他の学部が提供する科目から30単位を自由科目とすることができる。
- ⑤夜間主提供科目から40単位まで履修することができる。

ドイツ言語文化・フランス言語文化・スペイン言語文化履修コース

- ①ドイツ言語文化履修コースにおいては「インテンシブドイツ語 I、 Π 」を、フランス言語文化履修コースにおいては「インテンシブフランス語 I、 Π 」を、スペイン言語文化履修コースにおいては「インテンシブスペイン語 I、 Π 」を第一外国語として 8 単位履修すること。
- ②第二外国語に関しては、英語を選択する場合、「大学英語」、「英語講読演習中級」、及び選択科目から一科目の8単位を履修すること。ドイツ語、フランス語、スペイン語のいずれからか選択する場合、同一言語から8単位履修すること。
- ③共通教育科目の中から10単位まで自由科目に換算することができる。
- ④選択科目(コースコア科目)から12単位を超過した分は選択科目(コース関連科目A群)に振り替えることができる。

また、コース関連科目A群を超過した分は、コース関連科目B群に振り替えることができる。

- ⑤選択科目を超過した分、及び法文学部、他の学部が提供する科目から26単位を自由科目とすることができる。
- ⑥夜間主提供科目から40単位まで履修することができる。

英語文化(夜間主)履修コース

- ①第一外国語は英語とし、「大学英語」、「英語講読演習中級」及び選択科目から一科目の8単位を履修すること。
- ②第二外国語に関しては、「ドイツ語入門 I、II、III、III、III、III、III、III、III、III、III、III、III、III、III、III、III 、III 、IIII 、III 、III 、III 、III 、III 、III 、III 、III 、III
- ③人社等卒業単位として人文系から4単位、社会系から4単位、自然系から4単位、情報関係から情報科学演習2単位計14単位を含んで、人文、社会、自然、総合、琉大特色、情報関係から総計で22単位以上を履修すること。
- ④40単位を超える共通教育科目の中から10単位まで自由科目に換算することができる。
- ⑤選択科目を超過した分、及び法文学部、他の学部が提供する科目から23単位を自由科目とすることができる。
- ⑥昼間主コースで提供された科目から40単位(共通教育科目・専門科目を問わない)までを履修することができる。 但し、昼間主英語文化履修コースの必修科目を本履修コースの必修科目として履修することは原則として認めない。
- ⑦教職科目に関しては、40単位を超過して昼間主コースより履修することができる。
- ⑧昼間主英語文化履修コースのすべての選択科目を本履修コースの選択科目として履修することができる。

英米文化人材育成プロジェクト

英語文化専攻(昼間主)、英語文化専攻(夜間主)においては、英米文化に関わる専門人材育成のために、履修・学習方法、進路について集中的に指導を行う体制を整えている。

履修形態:必修科目については、英語文化コース(昼間主)、英語文化コース(夜間主)と同じ。コース・コア科目については、指導教員の指導を受けながら英米文化に関する専門科目を集中的に履修する。

指導体制:各年次ごとに指導教員がおかれ、履修方法について定期的な指導を行うだけでなく、学習方法、進路について随時相談に応ずる。それぞれの専門分野の教員も指導教員と連携し、学生の学習状況に対応する。

言語コミュニケーション人材育成プロジェクト

英語文化専攻(昼間主)、英語文化専攻(夜間主)においては、言語学、応用言語学、コミュニケーション学、言語文化一般に関わる専門人材育成のために、履修・学習方法、進路について集中的に指導を行う体制を整えている。

履修形態:必修科目については、英語文化コース(昼間主)、英語文化コース(夜間主)と同じ。コース・コア 科目については、指導教員の指導を受けながら言語コミュニケーション研究に関する専門科目を 集中的に履修する。

指導体制:各年次ごとに指導教員がおかれ、履修方法について定期的な指導を行うだけでなく、学習方法、進路について随時相談に応ずる。それぞれの専門分野の教員も指導教員と連携し、学生の学習状況に対応する。

英語教員育成プロジェクト

英語文化専攻(昼間主)、英語文化専攻(夜間主)においては、将来、英語教員を志す学生のために、履修・学習 方法、進路について集中的に指導を行う体制を整えている。

履修形態:必修科目については、英語文化コース(昼間主)、英語文化コース(夜間主)と同じ。 コース・コア科目、および自由科目については、指導教員の指導を受けながら、英語教育、教職に関す る専門科目を集中的に履修する。

指導体制:各年次ごとに指導教員がおかれ、履修方法について定期的な指導を行うだけでなく、学習方法、進路について随時相談に応ずる。それぞれの専門分野の教員も指導教員と連携し、学生の学習状況に対応する。

1. 社会福祉士とは

「社会福祉士及び介護福祉士法」(1987年制定)により創設された相談援助に関わる福祉専門職の国家資格である。 この資格は、「社会福祉士の名称を用いて、専門知識や技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことを業と」(法2条)するものである。

社会福祉士は、社会福祉行政機関・施設・連絡調整団体あるいはシルバー産業等の専門的な相談援助において、その活躍が期待されている。

2. 資格取得方法

社会福祉士の資格を取得するためには、まず国家試験の受験資格を得た後に、国家試験に合格し、厚生省備付けの社会福祉士登録簿に登録しなければならない。

1 受験資格要件

本学において社会福祉士試験の受験資格を得ようとするものは、「社会福祉士及び介護福祉士法」第7条第1号に基づき、厚生大臣が指定した社会福祉に関する科目(以下、「指定科目」という)を修めて卒業すること(もしくは卒業見込みであること)が必要である。

琉球大学において「指定科目」を修めるためには、次の表に示す科目を履修し単位を取得しなければならない。

| 指定科目 | 琉球大 | こ学が提供する授業科 | · 目 |
|---|----------------------------|---|-------------|
| | 科目番号 | 授業科目 | 単位 |
| 現代社会と福祉 | 福祉 201 福祉 202 | 社会福祉原論 I 社会福祉原論 II | 2 2 |
| 高齢者に対する支援と介護保険制度 | 福祉 357 福祉 306 | 高齢者福祉論 介護概論 | 2 2 |
| 障害者に対する支援と障害者自立支 援制度 | 福祉 255 | 障害者福祉論 | 2 |
| 児童や家庭に対する支援と児童・家 庭福祉制度 | 福祉 206 福祉 208 | 児童福祉論 I 児童福祉論 II | 2 2 |
| 低所得者に対する支援と生活保護制度 | 福祉 304 | 公的扶助論 | 2 |
| 地域福祉理論と方法 | 福祉 365 | 地域福祉の理論と方法 | 2 |
| (人体の構造と機能及び疾病、社会理論と社会システム 心理学理論と | 福祉 367 | 医学概論 | 2 |
| 理論と社会システム、心理学理論と 心理的支援のうち1科目。 但し3科目とも国家試験科目) | 社会 102 (医学概論は 2単位以上を | 社会学原論 I 社会学原論 II あるいは社会学原論 I・Ⅱより 選択すること。但し、社会学 は、I・Ⅱの両方を選択するこ | 学原論を |
| 社会保障 | 福祉 408 | 社会保障論 | 4 |
| 社会調査の基礎 | 社会 201 | 社会調査法 I | 2 |
| 福祉行財政と福祉計画 | 福祉 356 | 福祉行財政と福祉計画 | 2 |
| 福祉サービスの組織と経営 | 福祉 257 | 社会福祉運営組織論 | 2 |
| 保健医療サービス | 福祉 389 | 保健医療概論 | 2 |
| (就労支援サービス、権利擁護と成 年後見制度、厚生保護制度のうち1 科目。但し3科目とも国家試験科 目) | 福祉 355 | 就労支援サービス | 2 |
| 相談援助の理論と方法 | 福祉 204 福祉 205 福祉 206 | ソーシャルケースワーク I ソーシャルケースワーク II ソーシャルグループワーク | 2 2 2 |

| 指定科目 | 琉 球 大 | 学が提供する授業科 | 目 |
|-------------|--------|--------------------|----|
| | 科目番号 | 授業科目 | 単位 |
| 相談援助の基盤と専門職 | 福祉 359 | ソーシャルワーク論 I | 2 |
| | 福祉 360 | ソーシャルワーク論 I | 2 |
| 相談援助演習 | 福祉 253 | 相談援助演習 I | 2 |
| | 福祉 364 | 相談援助演習Ⅱ | 2 |
| | 福祉 365 | 相談援助演習Ⅲ | 2 |
| 相談援助実習指導 | 福祉 368 | 相談援助実習指導I | 1 |
| | 福祉 369 | 相談援助実習指導Ⅱ | 2 |
| | 福祉 375 | 相談援助実習指導Ⅲ | 2 |
| 相談援助実習 | 福祉 361 | 相談援助実習I | 2 |
| | 福祉 362 | 相談援助実習Ⅱ | 2 |
| | | | |

2 国家試験について

国家試験は、受験申し込み受付期間は前年の9月から約1カ月間で、毎年1月に県内を含む全国各地で実施されている。

詳しい問い合わせについては、次の試験センターにて行うこと。

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1 - 5 - 6 SEMPOS ビル 4 階

(財) 社会福祉振興・試験センター (03-3486-7521)

日本語教育副専攻

1. 授業科目表

| 21. 12.10.1 | | 2271287 |)ma-baa | |))(1FB | |
|-------------|------------|---------|---------|------|---------|--------|
| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 週時間 | 受講年次 | 学期 | 授業内容 |
| 文日 101 | 日本語学概説 I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | (注1) |
| 文日 102 | 日本語学概説Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | (注2) |
| 文日 111 | 日本語教育学概説 I | 2 | 2-0 | 2 | 前 | (注3) |
| 文日 112 | 日本語教育学概説Ⅱ | 2 | 2-0 | 2 | 後 | (注 4) |
| 文日 301 | 日本語学特講 | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | (注5) |
| 文日 303 | 日本語史 | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | (注6) |
| 文日 305 | 日本事情 | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | (注7) |
| 文日 307 | 日本語教材研究 I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | (注8) |
| 文日 308 | 日本語教材研究Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | (注9) |
| 文日 401 | 日本語教授法 I | 2 | 2-0 | 2~3 | 前 | (注10) |
| 文日 402 | 日本語教授法Ⅱ | 2 | 2-0 | 2~3 | 後 | (注 11) |
| 文日 403 | 日本語教育演習 | 2 | 0-2 | 4 | 後 | (注 12) |

- (注1)「日語 111 日本語学概論 I」で読み替える。
- (注2)「日語 112 日本語学概論Ⅱ」で読み替える。
- (注3)「日語331日本語教育学概論I」で読み替える。
- (注4)「日語 332 日本語教育学概論Ⅱ」で読み替える。
- (注 5) 「日語 411 日本語学特講 I 」 「日語 421 日本語史 I 」 「琉語 221 音声学 I 」 で読み替える。
- (注6)「日語 412 日本語学特講Ⅱ」「日語 422 日本語史Ⅱ」「琉語 222 音声学Ⅱ」で読み替える。
- (注7)「日語351日本事情」で読み替える。
- (注8)「日語 441 日本語教材研究 I」で読み替える。
- (注9)「日語 442 日本語教材研究Ⅱ」で読み替える。
- (注 10) 「日語 431 日本語教授法 I」で読み替える。
- (注11)「日語432日本語教授法Ⅱ」で読み替える。
- (注 12) 「日語 341 日本語教育実習 I」 「日語 342 日本語教育実習 I」 で読み替える。

2. 履修要件

必修科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|------------|----|-----|----|----|--------|-----------|----|-----|----|----|
| 文日 101 | 日本語学概説 I | 2 | 2~3 | 前 | | 文日 305 | 日本事情 | 2 | 2~3 | 前 | |
| 文日 102 | 日本語学概説Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | 文日 307 | 日本語教材研究 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 文日 111 | 日本語教育学概説 I | 2 | 2 | 前 | | 文日 308 | 日本語教材研究Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 文目 112 | 日本語教育学概説Ⅱ | 2 | 2 | 後 | | 文日 401 | 日本語教授法 I | 2 | 2~3 | 前 | |
| 文目 301 | 日本語学特講 | 2 | 2~3 | 前 | | 文日 402 | 日本語教授法Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | |
| 文日 303 | 日本語史 | 2 | 2~3 | 後 | | 文日 403 | 日本語教育演習 | 2 | 4 | 後 | |

選択科目

| 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位 | 年次 | 学期 | 備考 |
|--------|----------|----|-----|----|----|--------|-----------------|----|-----|----|----|
| 琉語 221 | 音声学 I | 2 | 2~3 | 前 | | 英言 171 | 言語コミュニケーション概論 I | 2 | 1 | 後 | |
| 琉語 222 | 音声学Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | 英言 383 | 異文化コミュニケーション論 | 2 | 3~4 | 前後 | |
| 中語 111 | 中国語学概論 I | 2 | 2~3 | 前 | | 英言 385 | 談話の構造 | 2 | 3~4 | 前後 | |
| 中語 112 | 中国語学概論Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | | | | | | |
| 日語 121 | 日本語文法論 I | 2 | 2~3 | 前 | | | | | | | |
| 日語 122 | 日本語文法論Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | | | | | | |
| 日語 342 | 日本語教育実習Ⅱ | 2 | 4 | 後 | | | | | | | |
| 日語 421 | 日本語史 I | 2 | 2~3 | 前 | | | | | | | |
| 日語 422 | 日本語史Ⅱ | 2 | 2~3 | 後 | | | | | | | |

注1)以上の選択科目から2科目4単位以上を履修すること。